

一般社団法人日本数式処理学会 L^AT_EX スタイルファイル jssacformat.sty v10.1

Tomokatsu SAITO
saito@jssac.org

2021/03/05

Abstract

jssacformat.sty は、総会議事録、理事会議事録、定款、規定、申請書などの一般社団法人日本数式処理学会において利用する書面を整形するためのスタイルファイルである jssacformat.sty は一般社団法人日本数式処理学会において必要とする様々な書式の形式を統一するためのスタイルファイルであるこのスタイルファイルは、規則、議案書、議事録、手続き書面のひな形になっている。

1 はじめに

jssacformat.sty はで利用される、定款、規則、議案書、議事録（社員総会、理事会、各種委員会）、申請書式、著作権放棄などの記述のためのスタイルファイルである

書類等を作成するための様々なマクロが提供されている。このスタイルファイルは jssac.sty の同時利用を前提として作成されている

jssacformat.ins, jssacformat.dtx の著作権は、一般社団法人日本数式処理学会に帰属する

1.1 必要なスタイルファイル

jssacformat.sty の利用にあたって前提となる必須なスタイルファイルは、jssac.sty, longtable.sty, lscape.sty, ifthen.sty である

1.2 ヘッダ

jssacformat.sty のヘッダ部分である。簡単な利用法、Copyright など、最低限必要な注意事項が記載されている

1 〈*jssacformat〉

```

2 %%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%
3 % LateX2e Style File for Jssac format style
4 %      published by Japan Society for Symbolic and Algebraic Computation
5 %
6 % jssacformat.sty Copyright (C) 2014
7 % Japan Society for Symbolic and Algebraic Computation
8 %      by Tomokatsu Saito saito@jssac.org
9 %
10 %% Usage::
11 %%      \documentclass{jarticle}
12 %%      \usepackage[Options]{jssac}
13 %%      \usepackage{jssacformat}
14 %% Option setting
15 %%      Sty, NoSty
16 %%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%%
17 \NeedsTeXFormat{LaTeX2e}[1995/12/01]
18 \ProvidesPackage{jssacformat}[2021/03/05 v10.1 jssacformat package]

```

1.3 パッケージの読み込み

```

19 \RequirePackage{longtable}%
20 \RequirePackage{lscape}%
21 \RequirePackage{ifthen}%

```

jssacformat.sty において必要としているパッケージを読み込むパッケージは選択的ではなく必ず読み込むものである。

1.4 オプション引数

積極的にこのスタイルファイルを利用するか否かの設定のための if 文 `\ifSty` を定義している。通常は利用することはない。`\ifSty` は nameuse 社団形式の書類であるか否かを保存する if 文である。`\ifSty` は書式が学会書式である。`\NoSty` は書式が学会書式ではないことを表している。

```

22 \newif\ifSty%
23 \DeclareOption{Sty}{\Stytrue}
24 \DeclareOption{NoSty}{\Styfalse}%

```

1.5 オプション宣言の終了

オプションの終了処理である

```

25 \ProcessOptions\relax%

```

2 汎用マクロ

jssacformat.sty にかかわらない \LaTeX , \TeX で利用される一般的なマクロである。

2.1 \@namedef の拡張マクロ

`\@namegdef` `\@namedef`, `\@nameuse` と同様なマクロの定義である。L^AT_EX には `\@namedef` と `\@namexdef` が定義されている。このマクロはの拡張として `\@namegdef`, `\@namexdef`, `\@nameedef` `\@nameedef`, `\@namecp`, `\@namenewcount`, `\@namenewif`, `\@namelet` を定義する。

```
\@namenewcount 26 \def\@namegdef#1{\expandafter\gdef\csname #1\endcsname}%
\@namecp        27 \def\@namexdef#1{\expandafter\xdef\csname #1\endcsname}%
\@namenewif     28 \def\@nameedef#1{\expandafter\edef\csname #1\endcsname}%
\@namelet       29 \def\@namecp#1#2{\expandafter\let\csname #1%
                 30 \expandafter\endcsname\csname #2\endcsname}%
                 31 \def\@namenewcount#1{\expandafter\newcount\csname #1\endcsname}%
                 32 \def\@namenewif#1{\expandafter\newif\csname #1\endcsname}%
                 33 \def\@namelet#1#2{\expandafter\let\csname #1%
                 34 \expandafter\endcsname\csname #2\endcsname}%
```

注) このマクロ群は, T_EX の展開を制御している。そのためマクロの引数としてさらに展開制御しているマクロを使用した場合その動作は保証されない。

特にマクロ名に UTF-8 の文字コードを使う場合 (日本語マクロ名を想定している) dtx では直接利用できないため `\csname`, `\endcsname` を利用して設定している。この時にマクロの展開の制御のため `\expandafter` を利用する。

2.2 リストの作成

`\List` L^AT_EX においてリスト構造を簡便に利用するためのマクロである。カンマ区切りの文字列からマクロを同室する。

第 1 引数のカンマ区切りの文字列をを整形して第 2 引数で設定したマクロ名称に保存する。また第 3 引数の counter 名に対してリストの長さを設定する。counter 名が未定義の場合は新たに大域的な名称を定義する。@name 関連のコマンドはネストして使うと不都合があるためここでは利用しない場所がある。

```
35 \def\List#1#2#3{%リスト, 整形先リスト名, 個数カウンター
36   \@tempcnta=0%
37   \let\tmplist\empty%
38   \SWtrue%
39   \@for\T:=#1\do{%
40     \advance\@tempcnta by 1%
41     \ifSW\xdef\tmplist{\T}%
42     \else\xdef\tmplist{\tmplist,\mbox{\T}}%
43     \fi%
44     \SWfalse%
45   }%
46   \@nameuse{#3}=\@tempcnta%
47   %\let\@nameuse{#2}=\tmplist%
48   \expandafter\let\csname #2\endcsname\tmplist%
49 }%
```

2.3 四則演算等

TEXのプリミティブで設定されている整数演算をマクロの形式にするマクロはreturn機能がないため引数形式で戻す。引数はカウンタレジスタであることを仮定している。また整数カウンタレジスタは宣言されているものを仮定している。また全ての引数は文字列で指定する。

2.3.1 和を求めるマクロ

`\SUM` 第1引数に設定した文字列に設定した文字列で指定したカウンタレジスタに第2,3引数の値を加えたものを設定する。 $\#1 = \#2 + \#3$

```
50 \def\SUM#1#2#3{%
51   \@tempcnta=\@nameuse{#2}%
52   \advance\@tempcnta by \@nameuse{#3}%
53   \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
54 }
```

2.3.2 差を求めるマクロ

`\SUB` 第1引数に設定した文字列のカウンタレジスタに第2の値から3引数の値を引いた $\#1 = \#2 - \#3$

```
55 \def\SUB#1#2#3{%
56   \@tempcnta=\@nameuse{#2}%
57   \advance\@tempcnta by -\@nameuse{#3}%
58   \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
59 }%
```

2.3.3 積を求めるマクロ

`\MUL` 第1引数に設定した文字列のカウンタレジスタに第2の値と3引数の積を設定する。 $\#1 = \#2 * \#3$

```
60 \def\MUL#1#2#3{%
61   \@tempcnta=\@nameuse{#2}%
62   \multiply\@tempcnta by \@nameuse{#3}%
63   \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
64 }%
```

2.3.4 商を求めるマクロ

`\DIV` 第2引数の値を第3引数で割った小を第1引数に設定する。結果は切り捨てである。 $\#1 = \#2 / \#3$

```
65 \def\DIV#1#2#3{%
66   \@tempcnta=\@nameuse{#2}%
67   \@tempcntb=\@nameuse{#3}%

```

```

68 \divide\@tempcnta by \@tempcntb%
69 \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
70 }%

```

2.3.5 商と余りを求めるマクロ

`\DIVR` 第 3 引数の値を第 4 引数で割った小を第 1 引数に設定する. 第 2 引数に余りを設定する. $\#1 = \#3 / \#4$ 余り $\#2$

```

71 \def\DIVR#1#2#3#4{%
72 \@tempcnta=\@nameuse{#3}%
73 \@tempcntb=\@nameuse{#4}%
74 \divide\@tempcnta\@tempcntb%
75 \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
76 \multiply\@tempcnta\@tempcntb%
77 \@tempcntb=\@nameuse{#3}%
78 \advance\@tempcntb by -\@tempcnta%
79 \@nameuse{#2}=\@tempcntb%
80 }%

```

2.3.6 積算するマクロ

`\SUMUP` 第 1 引数の値に第 2 引数の値を加える $\#1 += \#2$

```

81 \def\SUMUP#1#2{%
82 \@tempcnta=\@nameuse{#1}%
83 \@tempcntb=\@nameuse{#2}%
84 \advance\@tempcnta\@tempcntb%
85 \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
86 }%

```

2.3.7 3 項和

`TSum` カウンタ引数名称をを 4 つ取り, 3 つのカウンタの値の和を第 1 引数が示すカウンタに加えてセットするマクロである.

```

87 \def\TSum#1#2#3#4{%
88 \@tempcnta=\@nameuse{#2}%
89 \advance\@tempcnta\@nameuse{#3}%
90 \advance\@tempcnta\@nameuse{#4}%
91 \@nameuse{#1}=\@tempcnta%
92 }%

```

2.3.8 過半数等の計算

`\Majority` `\Majority` は文字列引数を 2 つ取り, 第 2 引数が表すカウンタレジスタの値の過半数を第 1 引数で設定されたカウンタレジスタに設定する.

```

93 \def\Majority#1#2{%

```

```

94 \@nameuse{#1}=\@nameuse{#2}%
95 \divide \@nameuse{#1} by 2%
96 \advance \@nameuse{#1} by 1%
97 }%

```

2.4 に印を合字

\印 に印の組み合わせ文字を出力する

```

98 \@namedef{印}{\LARGE\textcircled{\large 印}}}%

```

2.5 カリグラ体と金銀の色の設定

\call レターヘッドを作るためのカリグラ体の文字の設定

```

99 \font\call callig15 scaled 1550%
100 %\definecolor{gold}{rgb}{.88,.63,0}
101 %\definecolor{silver}{rgb}{.74,.63,.77}

```

3 jssacformat の初期化

3.1 jssac.sty で定義されているマクロの初期化

\art jssac.sty で定義している関数の初期化をする.

```

\title 102 \ifNoTitle%
103 \else%
\author 104 \art{}%
105 \title{}%
106 \author{}%
107 \fi%

```

3.2 if の定義・初期化

jssacformat.sty の動作状態を変化させるため、内部で必要とする if 文の定義とその初期値である.

3.2.1 議事録・議案書に関連する if 文

```

\ifACT 特に議事録・議案書に関する項目である.
\ifLetter 108 \newif\ifACT\ACTtrue%
109 \newif\ifLetter\Letterfalse%
\ifPeriod 110 \newif\ifPeriod\Periodtrue%
\ifFreeze 111 \newif\ifFreeze\Freezefalse%
\ifPropose 112 \newif\ifChair\Chairfalse%%
113 \newif\ifPropose\Proposefalse%
\ifChair 114 \newif\ifPresident\Presidenttrue%
\ifPresident 115 \newif\ifOld\Oldfalse%
116 \newif\ifOver\Overfalse%
\ifOld

```

if 名	意味	初期値	意味	設定マクロ
\ifACT	議事録か否	true	議事録	\ 議案書,\ 議事録
\ifLetter	書面会議か実会議	false	実会議	\ 書面会議,\ 実会議
\ifPeriod	定時会議か臨時会	true	定时会	\ 定时会,\ 臨時会
\ifFreeze	議決の凍結	false	停止せず	\ 議決停止
\ifChair	議長が確定している	ture		
\ifPresident	議長が何らかの事由により欠けている	ture	\ 会長非存在	
\ifOld	一般社団になる前か	false	社団化以後	
\ifOver	タイトルを上書きするか否か	false	\ 会議名称	

Table 1: 議事録・議案書関連

3.2.2 議事録・議案書以外の if 文

\ifPre				
\ifLIST				
\ifPDS				
\ifSW				
if 名	意味	初期値	設定マクロ	
\ifPre	選任が前か後か	false	\ 事前承諾,\ 事後承諾	
\ifLIST	依頼状が役員リストか	true		
\ifPDS	リスト印刷スペース	false	\ 押印,\ 押印短縮	
\ifSW	作業用の \if である	値は保証しない		

Table 2: その他の if 文

```

117 \newif\ifPre\Prefalse%
118 \newif\ifPDS\PDSfalse%
119 \newif\ifLIST\LISTtrue%
120 \newif\ifSW\SWtrue%

```

3.3 カウンタレジスタの定義・初期値化

原則直接，真偽を設定せずに関数を定義しその関数により真偽を変化させるようにマクロが各々に定義されている。

1

¹T_EX と L_AT_EX において数値領域の宣言は異なっている。T_EX の宣言の \newcount は引数の名称のカウンタを作成する。

L_AT_EX の \newcounter は実際の定義はとすれば定義されるカウンタは \c@Cntr を T_EX で宣言するのと同様である。

3.3.1 jssacformat.sty における初期値

以下のカウンタ等は jssacformat.sty が動作するための初期値である。初期値は原則議事録記述の状態である。

また jssacformat.sty において内部で使い直接ユーザに設定させる構造になっていないカウンタ、マクロは@で始まるのが記述規則として適用している。状態等を表すカウンタレジスタ宣言

```
121 \let\@OverMeetingTitle=\relax%
122 \newcount\@MeetingType\@MeetingType=0%
123 \newcount\@Resolution\@Resolution=0%
124 \newcount\@Seat\@Seat=0%
125 \newcount\@Voting\@Voting=0%
126 \newcount\@Quorum\@Quorum=0%
127 \newcount\@aye\@aye=0%
128 \newcount\@absention\@absention=0%
129 \newcount\@against\@against=0%
```

主に総会議事録等に利用される総会議席関連レジスタ宣言

```
130 \newcount\@NoRSu\@NoRSu=0%
131 \newcount\@NoRQ\@NoRQ=0%
132 \newcount\@NoRP\@NoRP=0%
133 \newcount\@NoRG\@NoRG=0%
134 \newcount\@NoRN\@NoRN=0%
135 \newcount\@NoRD\@NoRD=0%
136 \newcount\@NoRy\@NoRy=0%
```

主に理事会議事録等に利用されるレジスタ宣言

```
137 \newcount\@NoDSu\@NoDSu=0%
138 \newcount\@NoDQ\@NoDQ=0%
139 \newcount\@NoDP\@NoDP=0%
140 \newcount\@NoDG\@NoDG=0%
141 \newcount\@NoDN\@NoDN=0%
```

主に理事会議事録等に利用される監事関連レジスタ宣言

```
142 \newcount\@NoASu\@NoASu=0%
143 \newcount\@NoAP\@NoAP=0%
144 \newcount\@NoAG\@NoAG=0%
145 \newcount\@NoAN\@NoAN=0%
```

様々な関連レジスタ宣言

```
146 \newcount\@NoJSu\@NoJSu=0%
147 \newcount\@NoJP\@NoJP=0%
148 \newcount\@NoJG\@NoJG=0%
149 \newcount\@NoJQ\@NoJQ=0%
150 \newcount\@NoCSu\@NoCSu=0%
151 \newcount\@NoOrd\@NoOrd=0%
152 \newbox\TBox%
```

カウンタ名	意味	初期値	設定マクロ
\@MeetingType	会議の種別	0	別表
\@Resolution	議決の種別	0	別表
\@Quorum	定足数	0	マクロ内部で利用
\@Seat	議席数	0	マクロ内部で利用
\@Voting	投票数	0	マクロ内部で利用
\@aye	賛成票の数	0	
\@absention	棄権票の数	0	
\@against	反対票の数	0	
\@NoRSu	代表会員定数	0	マクロ内部で利用
\@NoRQ	総会定足数	0	
\@NoRP	出席代表数	0	
\@NoRG	議場出席代表会員数	0	マクロ内部で利用
\@NoRN	OnLine 出席代表会員数	0	マクロ内部で利用
\@NoRy	委任状数	0	マクロ内部で利用
\@NoRD	書面評決数	0	マクロ内部で利用
\@NoDSu	理事定数	0	マクロ内部で利用
\@NoDQ	理事会定足数	0	
\@NoDP	出席理事数	0	マクロ内部で利用
\@NoDG	議場出席理事数	0	マクロ内部で利用
\@NoDN	Online 出席理事数	0	マクロ内部で利用
\@NoASu	監事定数	0	マクロ内部で利用
\@NoAP	出席監事数	0	マクロ内部で利用
\@NoAN	Online 出席監事数	0	マクロ内部で利用
\@NoJSu	常任委員定数	0	マクロ内部で利用
\@NoCSu	委員常任委員定数	0	
\@NoJP	委員数	0	マクロ内部で利用
\@NoJG	出席委員数	0	マクロ内部で利用
\@NoOrd	一般傍聴者数	0	\ 一般出席者数
\@NoJQ	常任委員会定足数	0	
\PNO	会員番号等	0	
\NO	リスト番号	0	

Table 3: カウンタレジスタの宣言

3.3.2 依頼状等の書面番号

`\番` 就任依頼状で利用する役員・委員などの番号を示している.

counter	名称	意味	初期値	設定方法
<code>\番</code>		依頼状の番号	–	

Table 4: 依頼状に必要なカウンタ宣言

```
153 \@namenewcount{番}\@nameuse{番}=0%
```

3.4 L^AT_EX 形式のカウンタ

`\Shou` 以下のカウンタは条文や定款の条数を表す L^AT_EX 形式のカウンタである. `\chapter`, `\section`
`\SubArtNum` など L^AT_EX の構造に密に組み込まれているカウンターは L^AT_EX の物を踏襲してい
`\Jyousuu` る. 命名規則は例外的に@から始まらない.

counter	名称	意味	初期値	設定方法
<code>\Shou</code>		定款の章数 L ^A T _E X 形式	0	
<code>\SubArtNum</code>		定款の条数 L ^A T _E X 形式	1	
<code>\Jyousuu</code>		条数 L ^A T _E X 形式	0	

Table 5: L^AT_EX によるカウンタ宣言

```
154 \newcounter{Shou}%
155 \setcounter{Shou}{0}%
156 \newcounter{SubArtNum}%
157 \setcounter{SubArtNum}{1}%
158 \newcounter{Jyousuu}%
```

3.5 リストの初期化

`\ListRP`
`\ListRG`
`\ListRN` マクロの中で利用するリスト処理のマクロである. リスト構造を表現するためマク
`\ListRD` ロの形式としている.
`\ListRy` 159 \xdef\ListRD{\empty}%
`\ListDP` 160 \xdef\ListRy{\empty}%
`\ListAP` 161 \xdef\ListRP{\empty}%
`\ListDN` 162 \xdef\ListRG{\empty}%
`\ListAN` 163 \xdef\ListRN{\empty}%
164 \xdef\ListDP{\empty}%
`\ListRP`
`\ListJP`
`\ListCP`
`\ListDG`
`\ListAG`

count 名称	意味	初期値	設定方法
\ListRP	代表会員リスト	0	内部
\ListRG	議場代表会員リスト	0	内部
\ListRN	Net 代表会員リスト	0	内部
\ListRD	書面評決リスト	0	
\ListRy	委任状リスト	0	
\ListDG	議場出席理事リスト	0	
\ListDP	出席理事リスト	0	
\ListDN	Online 出席理事リスト	0	
\ListAP	出席監事リスト	0	
\ListAG	議場出席監事リスト	0	
\ListAN	Online 出席監事リスト	0	
\ListJP	出席常任委員リスト	0	
\ListCP	出席委員リスト	0	

Table 6: リストを入れるマクロ

```

165 \xdef\ListAP{\empty}%
166 \xdef\ListDG{\empty}%
167 \xdef\ListAG{\empty}%
168 \xdef\ListJP{\empty}%
169 \xdef\ListCP{\empty}%

```

3.6 文字の巾・高さなど長さを定めるマクロ

3.6.1 日本語の巾の空白出力

\Zw 日本語の文字幅（日本語 $\mathrm{T}_{\mathrm{E}}\mathrm{X}$ は固定値となっている）の長さの空白を出力するマクロである

```

170 \def\Zw#1{\hspace*{#1zw}}%

```

3.6.2 文字 x の高さの空白出力

\Ex 英文字 x の高さ文の水平スペースを出力するマクロである

```

171 \def\Ex{x\hspace*{1ex}}%

```

3.7 組版に関わるマクロ

3.7.1 強く水平に空白を出力

\H1 水平方向へ伸びる空白を出力するマクロである。 \H との違いはより強く空白を出力

しようとする

```
172 \def\Hl{\hfill}%
```

3.7.2 伸びる空白を出力

\H 水平方向へ伸びる空白を出力するマクロである

```
173 \def\H{\hfil}%
```

3.7.3 \ifPDS による改行

\ifPDS が真の場合は 2 行改行、偽の場合は 1 行改行するマクロ

```
174 \def\Dskip{\ifPDS\mbox{}\mbox{}\else\mbox{}\fi}%
```

3.7.4 トンボにファイル名を出力

\RulesTitle トンボの空白部分にファイル名を印刷する

```
175 \def\RulesTitle{\FileName{\jobname}}%
```

3.7.5 \subsection の空白の再設定

\l@section \subsection の空白を再定義しているマクロである

```
176 \renewcommand*\l@section[2]{%
```

```
177 \begingroup\leavevmode\hspace{2em}\hfill #2\par\endgroup}%
```

3.7.6 レターヘッドの横巾の設定

\headleng レターヘッドのための長さ \headleng と savebox\HEAD を定める

```
\HEAD 178 \newdimen\headleng%
```

```
179 \headleng=0.98\textwidth%
```

```
180 \newsavebox{\HEAD}%
```

3.7.7 レターヘッド \HheadS

\headS \headS{\textcolor}{\colorbox}{\address}として使う

```
\ps@letterhead 181 \def\headS#1#2#3{%
```

```
\@oddthead 182 \sbox{\HEAD}{\vbox{%
```

```
183 \hbox to \textwidth {\textcolor{#1}{\hfill\call \ORGE\hspace{1zw}}}%
```

```
\@eventhead 184 \hbox to \textwidth {\hfill\colorbox{#2}{\hbox to \headleng {\hfill\tiny\it%
```

```
\@oddfoot 185 \textcolor{#3}{\ADDRESSAE\hspace{1zw}}}}}%
```

```
186 \headsep=5zh}%
```

```
\@evenfoot 187 %
```

```
188 \def\ps@letterhead{%
```

```
189 \def\@oddthead{\usebox{\HEAD}}%
```

```
190 \def\@eventhead{\usebox{\HEAD}}%
```

```

191 \def\@oddfoot{\hfil\copyright\space\@CopyrightYear\Ex\ORGE}%
192 \let\@evenfoot\@oddfoot}%

```

4 会議の諸元

4.1 会議の種類

jssacformat.sty が想定している会議としては、総会、理事会、常任委員会、一般委員会である。

4.1.1 全議員のリスト

\ 全代表会員	
\ 全理事	
\ 全監事	全代表会員、出席代表会員、議場代表会員、書面評決代表会員、委任状代表会員がある。これらのメンバーのリストとその人数を保存するマクロが必要である。カウンタ名により会議の定員を表す。
\ 全常任委員	
\ 全委員	
\ AllRList	全常任委員リストは全理事リスト、全監事リスト、全常任委員リストの合併である。
\ AllDList	
\ AllAList	
\ AllJList	
\ AllCList	

会議名称	メンバー	リスト名	カウンタ名
総会	全代表会員	\ AllRList	\ @NoRSu
理事会	全理事	\ AllDList	\ @NoDSu
	全監事	\ AllAList	\ @NoASu
常任委員会	全常任委員	\ AllCList	\ @NoCSu
委員会	全委員	\ AllCList	\ @NoCSu

Table 7: 全議員を表すリストと関連会議

会議を構成する全議員のリストを格納するマクロである。必要に応じてリストとして設定する。

マクロ名は \ 全代表会員, \ 全理事, \ 全監事, \ 全常任委員, \ 全委員である。

```

193 \newcount\@NoCM%
194 \@namedef{全代表会員}#1{\List{#1}{AllRList}{@NoRSu}}%
195 \@namedef{全理事}#1{\List{#1}{AllDList}{@NoDSu}}%
196 \@namedef{全監事}#1{\List{#1}{AllAList}{@NoASu}}%
197 \@namedef{全常任委員}#1{\List{#1}{AllCList}{@NoCSu}}%
198 \@namedef{全委員}#1{\List{#1}{AllCList}{@NoCSu}}%
199 \Majority{@NoCM}{@NoCSu}%

```

4.2 議員リスト

4.2.1 総会議員リスト

\ 議場代表会員
\Online 代表会員
\ 書面評決代表会員
\ 委任状代表会員

総会は、全代表会員で構成されている。会議に出席しているとみなされる議員は、議場代表会員、Online 代表会員、議決指示書による出席代表会員、委任状による出席に分かれる。総会における代表会員は、議場に在席している代表会員のほか、Online 出席代表会員、書面評決を提出している（書面評決代表会員）、委任状を提出している代表会員も出席となる。

旧来の \ 指示書は \ 書面評決代表会員、\ 委任状は \ 委任状代表会員として残してある。

名称	リスト名	人数	意味
全代表会員	\AllRList	\@NoRSu	代表会員のリストなど
出席代表会員	\ListRP	\@NoRP	会議出席代表会員
議場代表会員	\ListRG	\@NoRG	議場出席代表会員
Online 代表会員	\ListRN	\@NoRN	net による出席代表会員
書面評決代表会員	\ListRD	\@NoRD	議決指示書出席代表会員
委任状代表会員	\ListRy	\@NoRy	委任状提出代表会員

Table 8: 代表会員関連一覧

```
200 \@namedef{議場代表会員}#1{\List{#1}{ListRG}{@NoRG}}%
201 \@namedef{Online 代表会員}#1{\List{#1}{ListRN}{@NoRN}}%
202 \@namedef{書面評決代表会員}#1{\List{#1}{ListRD}{@NoRD}}%
203 \@namedef{委任状代表会員}#1{\List{#1}{ListRy}{@NoRy}}%
204 \@namecp{指示書}{書面評決代表会員}%
205 \@namecp{委任状}{委任状代表会員}%
```

4.2.2 代表会員リストの構成

代表会員リスト等は \ListRG、\ListRN、\ListRD、\ListRy により構成されている。その構成メンバーの数は第 1 引数により受け渡される。第 1 引数はカウンタレジスタである。

```
206 \gdef\@Representative{%
207   \ifLetter%
208   \else%実会議である
209     \Majority{@NoRQ}{@NoRSu}%
210     \let\@tmplist\empty%
211     \@tempcntb=0%
212     \ifnum\@NoRG>0%議場代表会員数
```

```

213 \SWtrue%
214 \@for\T:=\ListRG\do{%
215 \ifSW%
216 \xdef\@tmplist{\T}%
217 \else%
218 \xdef\@tmplist{\@tmplist,\mbox{\T}}%
219 \fi%
220 \SWfalse%
221 \advance\@tempcntb by 1%
222 }%
223 \fi%
224 \ifnum\@NoRN>0%Online 代表会員数
225 \@for\T:=\ListRN\do{%
226 \ifSW%
227 \xdef\@tmplist{\T}%
228 \else%
229 \xdef\@tmplist{\@tmplist,\mbox{\T}}%
230 \fi%
231 \SWfalse%
232 \advance\@tempcntb by 1%
233 }%
234 \fi%
235 \ifnum\@NoRD>0%書面評決代表会員数
236 \@for\T:=\ListRD\do{%
237 \ifSW%
238 \xdef\@tmplist{\T}%
239 \else%
240 \xdef\@tmplist{\@tmplist,\mbox{\T}}%
241 \fi%
242 \SWfalse%
243 \advance\@tempcntb by 1%
244 }%
245 \fi%
246 \ifnum\@NoRy>0%委任状代表会員数
247 \@for\T:=\ListRy\do{%
248 \ifSW%
249 \xdef\@tmplist{\T}%
250 \else%
251 \xdef\@tmplist{\@tmplist,\mbox{\T}}%
252 \fi%
253 \SWfalse%
254 \advance\@tempcntb by 1%
255 }%
256 \fi%
257 \let\ListRP=\@tmplist%
258 \@NoRP=\@tempcntb%
259 \fi%
260 }%

```

4.2.3 理事会リスト

\議場出席理事 理事リストにだれも掲載されていない場合は \empty が設定される. \ifChair が
ListDG true の場合 \@Chair は会長名がセットされる議長は \議長により設定される. 未定
\OnlineDirector 義の場合は理事リストの先頭をもって議長とする
議場出席理事は \ListDG で表現しその人数は \NoDG に保存される Online 出席理事
は \ListDN で表現しその人数は \NoDN に保存される
出席理事リストは \ListDP で表現しその人数は \@NoDP に保存される.

```
261 \@namedef{議場出席理事}#1{%
262   \def\@TMP{#1}%
263   \ifx\@TMP\empty%
264     \gdef\ListDG{\empty}\@NoDG=0%
265   \else%
266     \List{#1}{ListDG}{@NoDG}%
267   \fi}%
268 \@namedef{理事}#1{%
269   \def\@TMP{#1}%
270   \ifx\@TMP\empty%
271     \gdef\ListDP{\empty}\@NoDP=0%
272   \else%
273     \List{#1}{ListDP}{@NoDP}%
274   \fi%
275   \ifPresident%会長が議長である
276     \gdef\@Chair{\@President}%
277     \gdef\@PostName{\@nameuse{会長職}}%
278     \Chairtrue%
279   \else
280     \SWtrue%
281     \@for\T:=\ListDP\do{%
282       \ifSW%
283         \ifChair%議長は設定されている
284       \else%
285         \gdef\@PostName{\@nameuse{理事職}}%
286         \gdef\@Chair{\T}%
287         \Chairtrue%議長は確定
288       \fi%
289     \SWfalse%
290   \fi%
291 }%
292 \fi%
293 }%
```

4.2.4 監事リスト

\監事 議場出席監事は \ListAG で表現しその人数は \NoAG に保存される出席監事リスト
ListAP とは \ListAP で表現しその人数は \@NoAP に保存される. Online 監事リストとは

名称	リスト名	人数	内容
全常任委員	\@NoDSu	\AllJList	全理事, 全監事, 常任委員
理事常任委員	\AllDList	\@NoDSu	理事全員
監事常任委員	\AllAList	\@NADSu	監事全員
常任委員	\AllJList	\@NoJSu	全理事会任命常任委員
出席理事常任委員	\ListDP	\@NoDP	会議出席理事
出席監事常任委員	\ListAP	\@NoAP	会議出席監事
出席常任委員	\ListJG	\@NoJG	会議出席常任委員
総計常任委員	\ListJP	\@NoJP	総計常任委員

Table 9: 常任委員会エリア

\ListAN で表現しその人数は \@NoAN に保存される.

```

294 \@namedef{監事}#1{%
295   \def\@TMP{#1}%
296   \ifx\@TMP\empty%
297     \gdef\ListAP{\empty}\@NoAP=0%
298   \else%
299     \List{#1}{ListAP}{@NoAP}%
300   \fi%
301 }%

```

OnLine での理事・監事の参加者マクロ

```

302 \gdef\OnlineD#1{\List{#1}{ListDN}{@NoDN}}%
303 \gdef\OnlineA#1{\List{#1}{ListAN}{@NoAN}}%

```

4.2.5 常任委員会委員リスト

理事常任委員 常任委員会の構成メンバーは理事常任委員, 監事常任委員, 常任委員により構成され
監事常任委員 ている. 理事常任委員は理事リストと同じ物 (\AllDList, \@NoRSu \ListDP であ
常任委員 る. 監事常任委員は監事リストと同じである.
ListDP この場合も \ 理事常任委員のメンバーのリストは \ListDP に保存されその人数も
@NoDP \@NoDP に保存される
ListAP 304 \@namelet{理事常任委員}{理事}%
@NoAP 305 \@namelet{監事常任委員}{監事}%
ListJP 監事常任委員も通常の監事関連のエリア \ListAP, \@NoAP に保存される \ 常任委
@NoJP 員は「常任委員会設置規則」により理事会が選任した委員である. 委員リストは
\ListJP に保存されその人数は \@NoJP に保存される.
理事会により選任された常任委員

```

306 \@namedef{常任委員}#1{%
307   \def\@TMP{#1}%
308   \ifx\@TMP\empty%
309     \gdef\ListJP{\empty}%
310     \@NoJP=0%
311   \else%
312     \List{#1}{\ListJP}{\@NoJP}%
313   \fi%
314 }%

```

4.2.6 一般委員会委員リスト

委員 一般委員会は定款第 61 条に定められた委員会である。一般の委員はリストとして
ListCP \ListCP その人数は \@NoCP に格納される。

```

@NoCP 315 \newcount\@NoCP%
316 \@namedef{委員}#1{\List{#1}{\ListCP}{\@NoCP}}%

```

4.2.7 その他の出席者

```

317 \@namedef{一般出席者数}#1{\@NoOrd=#1}%

```

4.3 会議の定数

代表会員定数 会議の定数は通常は自動的に計算する。しかし、議員のリストを入力しない場合必
理事定数 要になる。

```

監事定数 318 \@namedef{代表会員定数}#1{\@NoRSu=#1}%
319 \@namedef{理事定数}#1{\@NoDSu=#1}%
常任委員定数 320 \@namedef{監事定数}#1{\@NoASu=#1}%
委員定数 321 \@namedef{常任委員定数}#1{\@NoJSu=#1}%
322 \@namedef{委員定数}#1{\@NoCSu=#1}%

```

会議に出席している議員等のデータである。会議の種類によっては許可されていないものもある。総会のみ、議場に在席している代表会員以外に書面評決を提出した代表会員、委任状を提出した代表会員が存在する。

理事リストの先頭が通常会長を記載する場所であり議長も \ifChair が偽でなければ先頭が議長とされる。

4.4 年月日の設定

\Date 日付を一般的 \@Date に保存するマクロである。年,月,日の3つの引数から \@Date
\@Date に年月日を設定するマクロである

```

323 \def\Date#1#2#3{\gdef\@Date{#1年#2月#3日}}%

```

このマクロでは次の様になっている。

名称	種別	リスト名	カウンタ名
総会	代表会員	\ListRG	\@NoRG
総会	議場代表会員	\ListRG	\@NoRG
総会	Online 出席代表会員	\ListRN	\@NoRN
総会	指示書	\ListRD	\@NoRD
総会	委任状	\ListRy	\@NoRy
理事会	理事	\ListDP	\@NoDP
理事会	議場理事	\ListDG	\@NoDG
理事会	OnlineDirector	\ListDN	\@NoDN
理事会	監事	\ListAP	\@NoAP
理事会	議場監事	\ListAG	\@NoAG
理事会	OnlineAudit	\ListAN	\@NoAP
常任委員会	常任委員	\ListJP	\@NoJP
	理事常任委員	\ListDP	\@NoDP
委員会	委員	\ListCP	\@NoCP

マクロ名	出力	定義マクロ
\ 提出日	\FilingDate, \@FilingDate	
\ 制定日	x 年 y 月 z 日 制定	
\ 改訂日	x 年 y 月 z 日 改訂	
\ 発行日	x 年 y 月 z 日	
\ 提案日	x 年 y 月 z 日	\@ProposeDate
\ 公示日		\@OYear, \@OMonth, \@ODay
\ 召集日		\@CYear, \@CMonth, \@CDay
\ 議決日		\@FYear, \@FMonth, \@FDate

4.4.1 提出日

\提出日 何らかの書面を学会に提出した日付を保存する.

```
324 \@namedef{提出日}#1#2#3{\gdef\FilingDate{#1 年#2 月#3 日}}%
```

\FilingDate \提出日から内部形式のマクロ \FilingDate, \@FilingDate を定義する. 構造は

\@FilingDate \Date と同じである. 書面に日付が 2 つ必要な場合に使う. 年, 月, 日の 3 つの引数から \@FilingDate に年月日を設定するマクロである

```
325 \def\FilingDate#1#2#3{\gdef\FilingDate{#1 年#2 月#3 日}}%
```

4.4.2 制定日の設定

\制定日 規則制定日を出力するマクロである. 構造は \Date と同じである

```
326 \@namedef{制定日}#1#2#3{%
327   \def\TMP{#1}%
328   \ifx\TMP\empty\year{}\date{}\else%
329     \year{#1}\date{#1 年#2 月#3 日 \Ex{制定}}\fi}%
```

\TDate 古い制定日 \TDate のため

```
330 \@namecp{TDate}{制定日}
```

4.4.3 改訂日の設定

\改訂日 規則改訂日を出力するマクロである. 構造は \Date と同じである

```
331 \@namedef{改訂日}#1#2#3{%
332   \def\TMP{#1}%
333   \ifx\TMP\empty\year \date \else\year{#1}\date{#1 年#2 月#3 日 \Ex 改訂}\fi}%
```

\RDate 古い改訂日 \RDate のため

```
334 \@namecp{RDate}{改訂日}%
```

4.4.4 提案日の設定

\提案日

```
335 \@namedef{提案日}#1#2#3{\def\@PYear{#1}\def\@PMonth{#2}\def\@PDate{#3}%
336   \gdef\@ProposeDate{\@PYear{年 \@PMonth{月 \@PDate{日}}}%
```

4.4.5 公示日の設定

\公示 書面に必要な公示日を設定するマクロであるこのマクロは \公示{年}{月}{日}のよう
\@Kokuji うに利用する. このマクロは, 第 1 引数のが空の場合は \@Kokuji を \empty に定
\@year 義し \@year のみを定義するそうでない場合は \@Kokuji を #1 年#2 月#3 日の形で
\公示日 定義し \@year を第 1 引数により定める

```
337 \def\KoujiBi{\ifx\@FDay\empty\else%
338   \TIL{公示日}{\@0Year 年 \@0Month 月 \@0Day 日}{12zw}{24zw}\fi}%
```

```

339 \@namedef{公示}#1#2#3{\def\TMP{#1}%
340   \ifx\TMP\empty\def\@Kokuji{}\year{}\else%
341   \def\@Kokuji{#1 年#2 月#3 日}\year{#1}\fi}%
342 \@namedef{公示日}#1#2#3{\gdef\@0Year{#1}\gdef\@0Month{#2}\gdef\@0Day{#3}}%

```

4.4.6 議決日の設定

\ 議決日 議案等の議決をした日を設定するマクロである。このマクロは通常は必要はないが
書面会議の場合は必要である。

```

343 \@namedef{議決日}#1#2#3{\gdef\@FYear{#1}\gdef\@FMonth{#2}\gdef\@FDay{#3}%
344   \gdef\@Year{#1}\gdef\@Month{#2}\gdef\@Day{#3}%
345   \gdef\@MeetingDate{#1 年#2 月#3 日}}%

```

4.4.7 書面発行日設定

\ 発行日

```

346 \@namedef{発行日}#1#2#3{\gdef\@Date{#1 年#2 月#3 日}}%

```

4.4.8 召集日

\ 召集日は、第 1 引数から順番に \@CYear, \@CMonth, \@CDay を定義するマクロで
ある

```

347 \@namedef{召集日}#1#2#3{\gdef\@CYear{#1}\gdef\@CMonth{#2}\gdef\@CDay{#3}}%

```

4.5 提案者の設定

\ 提案者 会議の議案を提案した者を定義するマクロである。このマクロは、当該会議の全議案を
\@Proposer 1 名が提案した場合に利用される。議案ごとの提案者は、\act, \subact, \subsubact
\@Rank のオプション引数により記述される。書面会議の場合は必須のデータである。
\@Bill マクロ \ 提案者の引数は職位、提案者氏名、議案名称である。 \ 召集者は職位、召集
\@ProposerDate 者氏名である。

```

348 \@namedef{提案者}#1#2#3{%
349   \Proposetrue%
350   \gdef\@Rank{#1}%
351   \gdef\@Proposer{#2}%
352   \gdef\@Bill{#3}}%
353 \@namedef{召集者}#1#2{\gdef\@ConvenorShoku{#1}\gdef\@ConvenorName{#2}}%

```

4.6 学会特有のマクロ

4.6.1 会員番号

\ 会員番号 会員番号を \@MemberNO に設定するマクロである、初期化は \@empty
\MemberNO

```

354 \@namedef{会員番号}#1{\gdef\MemberNO{#1}}%
355 \def\MemberNO{}%

```

4.6.2 連絡先住所

\連絡先住所 連絡のためのデータとして利用しているこのマクロは一般的な住所を格納するマクロである内部で \@ADDRESSC を定義する。もとは jssac.sty に存在したマクロである。jssac 書式の退会届で使われる。初期化は \empty である。

```

356 \@namedef{連絡先住所}#1{\gdef\@ADDRESSC{#1}}%
357 \def\@ADDRESSC{}%

```

4.6.3 連絡先電話

\連絡先電話 このマクロは一般的な電話を格納するマクロである内部で \@TEL を定義する。もとは jssac.sty に存在したマクロである。初期化は \empty である。

```

358 \@namedef{連絡先電話}#1{\gdef\@TEL{#1}}%
359 \def\@TEL{}%

```

4.6.4 メールアドレス

\Email メールアドレスを内部で利用するためにコントロールシーケンスと変換するマクロである。内部では \@EMAIL として保存されるもとは jssac.sty に存在したマクロである。初期化は \empty である。

```

360 \def\Email#1{\gdef\@EMAIL{#1}}%
361 \def\@EMAIL{}%

```

4.7 学会における役職名の設定

\学会職名 学会の役職名を設定するマクロである。初期化は \empty である。

```

\@PostName 362 \@namedef{学会職名}#1{\gdef\@PostName{#1}}%
363 \def\@PostName{}%
\会長職 364 \@namedef{会長職}{会長}%
\理事職 365 \@namedef{理事職}{理事}%
\監事職 366 \@namedef{監事職}{監事}%
\代表会員職 367 \@namedef{代表職}{社員}%
368 %\@namedef{代表会員職}{\@nameuse{代表職}}%

```

4.7.1 会長氏名の設定

\会長非存在 会長の氏名を設定するマクロである。初期化は \empty である。

```

\会長名 369 \@namedef{会長非存在}{\Presidenttrue}%
\@President 370 \@namedef{会長名}#1{\gdef\@President{#1}\Presidentfalse}%

```

4.7.2 書面発給者設定

`\発給者` 学会の書面を発行した者を定義するマクロである。初期化は `\empty` である。

`\@Issue` 371 `\@namedef{発給者}#1{\gdef\@Issue{#1}}%`
372 `\def\@Issue{}`%

4.7.3 召集者の設定

`\召集者` 会議を召集した者の学会役職・氏名などを設定する

373 `\def\Shoushuu{\ifx\@ConvenorName\empty\else%`
374 `\TIL{召集者}{\@ConvenorShoku \@ConvenorName}{12zw}{24zw}\fi}%`

4.8 期・年度の設定

4.8.1 \期の設定

`\期` 代表会員の任期による期数 $\text{floor}((\text{year} - 1990)/2)$ で計算される値を手動で設定するマクロである。

`\@KI` 375 `\@namedef{期}#1{\gdef\@KI{#1}}%`
376 `\def\@KI{}`%

4.9 \年度の設定

`\年度` 大会、総会などの年度による表記の設定

`\@Nendo` 377 `\@namedef{年度}#1{\gdef\@Nendo{#1}}%`
378 `\def\@Nendo{}`%

4.10 押印の設定

4.10.1 ダブルスペース押印

`\押印` 作成する書面の押印欄をダブルスペースにする。実際に押印する書面の場合に使われる。

379 `\@namedef{押印}{\PDStrue}%`

4.10.2 シングルスペース押印

`\押印短縮` 作成する書面の押印欄をシングルスペースにする。直接押印をする書類として利用するのではなく書面を印刷するなどに使う。

380 `\@namedef{押印短縮}{\PDSfalse}%`

4.11 secntformat の変更

`\nsection` `\section` などの機能を変更するマクロである. `\section` と `\subsection` のオリジナルを `\nsection` と `\nsubsection` に保存する

```
381 \let\nsection\section%
382 \let\nsubsection\subsection%
```

4.12 \section のオプション引数

`\section` `\section` の [] 引数により振り分けるよう再定義

```
383 \def\section{\@ifnextchar[{\idxsec}{\nsection}}%
```

4.13 \subsection のオプション引数

`\subsection` `\subsection` の [] 引数により振り分けるよう再定義

```
384 \def\subsection{\@ifnextchar[{\idxsubsec}{\nsubsection}}%
```

4.14 \section が idx を作成する

`\idxsec` `\section` を索引を作るように変更

```
385 \def\idxsec[#1]#2{\nsection{#2}\index{#1@#2}}%
```

4.15 \subsection が idx を作成する

`\idxsubsec` `\subsection` を索引を作るように変更

```
386 \def\idxsubsec[#1]#2{\nsubsection{#2}\index{#1@#2}}%
```

5 規則の記述

このスタイルファイルは, 一般社団法人日本数式処理学会の規程・規則の形式の統一のために作成された. 対象の規程類は

定款

規程 一般社団法人日本数式処理学会理事会が定款にのっとり制定する規定である. 想定している規則は,
会員規則, 名誉会員及び名誉会長に関する規則, 会誌規則, 会誌投稿規定, cjssac 発行要綱規則, 著作権規定, 広報委員会設置規則, 代表会員選出規定, 奨励賞規則, 特別研究会開催規則, 常任委員会設置規則
である.

5.1 規則記述用共通関数

5.1.1 規則の条項の頭部分の表記

```
\Article 条項の索引の読みがある場合とない場合に振り分ける
387 \def\Article{\@ifnextchar[{\Kou}{\NKou}}%

\Kou 索引の読みを付加する索引を作成する
388 \def\Kou[#1]#2{\vspace*{1ex}%
389 \refstepcounter{Jyousuu}%
390 {\par\bf 第 \arabic{Jyousuu}条 [#2]} \ \ \index{#1@#2}}%

\NKou 条項の索引の読みがある場合とない場合に振り分ける
391 \def\NKou#1{%
392 \refstepcounter{Jyousuu}{\par\bf 第 \arabic{Jyousuu}条 [#1]} \ \ }%

\prechaptername 章のタイトルの前部分を \empty にする.
393 \def\prechaptername{第}%

\postchaptername 章のタイトルの後ろ部分を \empty にする.
394 \def\postchaptername{章}%

\rules 条文の空白の再定義
395 \def\rules#1#2{%
396 \setcounter{Jyousuu}{0}%
397 \chapter{#1}%
398 \vspace*{-10mm}%
399 \hfill #2 \hfill\}\}
```

5.2 規程集のページ表記

```
\ps@ruleshead 規定集の頁ヘッド
400 \def\ps@ruleshead{%
401 \gdef\@evenhead{\thepage\Zw{2}\@nameuse{社団}\Zw{1}規則集 \hfill}%
402 \gdef\@oddhead{\hfill\Jssac\Zw{1}規則集 \Zw{2}\thepage}%

\@oddhead 奇数ページのヘッドを記述するマクロである.
403 \def\@oddhead{\hfill\JSSAC\@year\Ex\thepage}%

\@evenfoot フッタを空白にするマクロ
404 \def\@evenfoot{}\gdef\@oddfoot{}}%

\headclear ヘッダのクリア処理をおこなうマクロである.
405 \def\headclear{\gdef\ffname{relax}\def\@oddhead{}\let\@evenhead\@oddhead}%

\AllMain 個々のページのタイトル等
406 \def\AllMain{\gdef\@Rules{jobname}}%
```

5.3 定款のためのマクロ

学会定款を整形するためのマクロである定款の文章構造は, \Sec, \TArticle, \SubArt となっている. また章, 条に対応する. また個々の章, 条には索引に掲載される ” 表題の読み ” をオプションとして [] 付加することができるようになっている. 章の番号は, \Shou, 条文の番号は \Jyousuu で 1 増やさる.

5.3.1 定款のトップレベルの見出しの有無

[] により章の組版を選択する [] の中は索引の前半部分の@より前の部分である. 通常は読みを設定する \Tsec は読みがある場合, \Nsec は読みがない場合に使われる定款において第 XX 章と中央揃い \Larg で組版されるまた \section 相当でtoc, aux に記載される利用前にカウンタ \Shoul つ進められる

5.3.2 トップレベルの項目の見出しの有無

\Sec 読みの存在により振り分けるマクロである.
407 \def \Sec{ \ifnextchar { {\Tsec} {\Nsec} } %

5.3.3 トップレベルの見出しの読みが設定されている場合

\Tsec トップレベルの読みが設定されている場合の形式である.
408 \def \Tsec[#1]#2{%
409 \refstepcounter{Shou}%
410 \begin{center} \Large \bf 第 \arabic{Shou} 章 #2 \end{center} %
411 \addcontentsline{aux}{section}{\arabic{Shou}. #2} %
412 \addcontentsline{toc}{section}{\arabic{Shou}. #2} %
413 \index{#1@#2} %

5.3.4 トップレベルの見出しの読みが設定されていない場合

\Nsec トップレベルの読みが設定されていない場合の形式である. この場合読みは空白となる.
414 \def \Nsec#1{%
415 \refstepcounter{Shou}%
416 \begin{center} \Large \bf 第 \arabic{Shou} 章 #1 \end{center} %
417 \addcontentsline{aux}{section}{\arabic{Shou}. #1} %
418 \addcontentsline{toc}{section}{\arabic{Shou}. #1} %
419 \index{#1@} %

5.3.5 定款の 2nd レベルの項目設定

定款の奇術において 2 番目のレベルである \TArticle の見出しの有無により動作を変えるマクロである.

条文の整形である `\TArticle` に記載されている読みを加えた読み@タイトルをindex として処理する利用前にカウンタ `\Jyousuu` が 1 つ進められる

5.3.6 2nd レベルの項目の見出しの読みの有無

`\TArticle` `\TArticle` の有無により `\TKou` 読みが存在する場合と `\TNKou` 読みが存在しない場合に分けられる

```
420 \def\TArticle{\setcounter{SubArtNum}{1}\@ifnextchar[{\TKou}{\TNKou}}%
```

5.3.7 2nd レベルの項目の見出しの読みが設定されている

`\TKou` 条文の読みが設定されている場合の形式を定める.

```
421 \def\TKou[#1]#2{%
422   \refstepcounter{Jyousuu}%
423   {\medskip\large({\bf#2})\samepage\\*{\bf 第 \arabic{Jyousuu}条 %
424     \index{#1@#2}}}%
```

5.3.8 2nd レベルの見出しの項目の読みが設定されていない

`\TNKou` 条文の読みが設定されていない場合の形式を定める.

```
425 \def\TNKou#1{%
426   \refstepcounter{Jyousuu}%
427   {\medskip\large({\bf#1})\samepage\\*{\bf 第 \arabic{Jyousuu}条  }}%
```

5.3.9 定款の 3rd レベルの見出しの整形

`\SubArt` 条文の項を整形する. 但し項が 1 つの場合は 1 と表示しない `\SubArtNum` は \LaTeX のカウンターであるため直接数値を参照するために定義されている `\c@SubArtNum` を使う.

```
428 \def\SubArt{%
429   \refstepcounter{SubArtNum}%
430   \ifnum\c@SubArtNum>1\par   \arabic{SubArtNum}. \fi}%
```

5.4 一般的な規程の場合

一般的な規程の記述は, `\section`, `\Article` の 2 つの項目からできている一般的な \LaTeX 2e のコードは利用できる. また, `jssacformat.sty` に記載されてマクロを使うことは可能である.

6 議事録・議案書作成

議事録・議案書の作成に利用される汎用のマクロである.

このスタイルファイルでは議事録, 議案書のどちらかを作成するものである. そのための宣言マクロである.

6.1 議案書

\ 議案書 書面が議案書であることの宣言とその初期化である議案書データの記述に先立って宣言される必要がある.

```
431 \@namedef{議案書}{%
432   \ACTfalse%議案書である
433   \Letterfalse%実会議である
434   \Periodtrue%定時である
435 }%
```

6.2 議事録

\ 議事録 書面が議事録であることの宣言とその初期化である. 議事録データの記述に先立って宣言される必要がある.

```
436 \@namedef{議事録}{%
437   \let\@OverMeetingTitle=\relax%
438   \ACTtrue%議事録である
439   \Letterfalse%書面会議である
440   \Periodtrue%定時である
441 }%
```

7 議決形式の設定

\ifLetter 会議の形式は会議の構成メンバーが実際に集まり会議を行う \ 通常会議と書面により
\ 書面会議 り会議をおこなう \ 書面会議に分かれる. ここでいう書面には電磁的に交換される
\ 通常会議 メールも含まれる. 実際に集合して会議を行う場合も電磁的に画像などを即時に交換する電磁会議も含まれる.

総会, 理事会においては原則通常会議である.

```
442 \@namedef{書面会議}{\Lettertrue}%
443 \@namedef{通常会議}{\Letterfalse}%
```

\@Resolution により議決の形式は定められるが, 常任委員会の議決は \@Resolution=7 であるが実際の会議が電磁的手法による会議かは区別できない. よって書面会議か通常会議かを区別する if を定める.

定款, 法規に定められている書面会議は総会と理事会である. その他の会議は委員会の設置規則にしたがうが通常は書面会議は存在しない.

8 対象会議

`\@MeetingType` このスタイルファイルは、一般社団法人日本数式処理学会の会議の議事録・議案書の形式の統一のために作成された。対象の会議は、

社員総会 定款に定められた定時社員総会、臨時社員総会

理事会 定款に定められた定時理事会、臨時理事会

常任委員会 常任委員会設置規則により定められた会議

委員会 理事会により設置された通常の委員会

である。会議の対称を区別するため $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のカウンタ `\MeetingType` を宣言する。またインデクスなどで使われる会議種別の頭語 `\@MeetingTypeHead` も宣言される。総会、理事会、常任委員会は自動で設定されるが一般委員会は手動で設定する必要がある。また総会等も手動設定が優先される。

会議種別	MeetingType の値	頭語
総会	0	総
理事会	1	理
常任委員会	2	常
委員会	3	一般

Table 10: 会議種別の一覧

8.1 会議識別子の設定マクロ

`\会議識別子` 会議のインデックスの頭語に利用する文字列を設定する。このマクロを設定しない場合は個々の会議により定められた文字列が設定される。一般委員会の場合は積極的に設定をすることが必要である。

議事録の index を作成するときに、会議種別ごとの頭文字である。総会、理事会、常任委員会はそれぞれ「総」、「理」、「常」、「委」が設定される。

```
444 \@namedef{会議識別子}#1{\gdef\@OverMeetingTypeHead{#1}}%
```

8.2 会議通番の設定

`\RNo` 議事録に期と通し番号を設定するためのマクロである。このマクロによって `\@RNo` に期数が付加された形式で保存される

```
445 \def\RNo#1{\gdef\@RNo{\@KI#1}}%
```

8.3 議事録番号の設定

\IDX 議事録番号を設定するためのマクロである。このマクロは、\RNo と \期から自動生成されるため通常は利用することはない。しかし、\IDX 番号と設定すれば以後利用される

```
446 \def\@IDX{%
447 \def\IDX#1{\gdef\@IDX{#1}}%
```

8.4 会議対象の宣言

8.4.1 総会

\ 総会 総会の \@MeetingType は 0 である。

```
448 \@namedef{総会}{%
449 \@MeetingType=0%
450 \gdef\@MeetingTypeHead{総}%
451 }%
```

8.4.2 理事会

\ 理事会 理事会の \@MeetingType は 1 である。

```
452 \@namedef{理事会}{%
453 \@MeetingType=1%
454 \gdef\@MeetingTypeHead{理}%
455 }%
```

8.4.3 常任委員会

\ 常任委員会 常任委員会の \@MeetingType は 2 である。また議決は (\@Resolution の値) は 7 である。

```
456 \@namedef{常任委員会}{%
457 \@MeetingType=2%
458 \@Resolution=7%
459 \gdef\@MeetingTypeHead{常}%
460 }%
```

8.4.4 一般委員会

\ 一般委員会 一般の委員会の \@MeetingType は 3 である。

```
461 \@namedef{一般委員会}{%
462 \@MeetingType=3%
463 \gdef\@MeetingTypeHead{委}%
464 }%
```

9 開催時期による区別

9.1 定時会議・臨時会議

\定時会 会議が定時に開催されたものか、不定期に必要なに応じて開催される臨時会かの区別
\臨時会 である。区別は $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ の if 文の `\ifPeriod` により設定される。 `\Periodtrue` であれば、定時会議、 `\Periodfalse` であれば臨時会議である。定時会議は、総会、理事会のみである。その他の会議は常に会議と称する。

```
465 \@namedef{定時会}{\Periodtrue}%
```

```
466 \@namedef{臨時会}{\Periodfalse}%
```

10 議決の種類

議決は、法律、定款、規則によりそれぞれ定足数、議案の可決に必要な票数などが定められている。

通常は、会議の成立要件は総議決権の過半数の出席と出席者の過半数である一般社団法人・一般財団法人法 (法第 49 条 以下 法 と記載)

普通議決 法 49 条 1 項 社員総会の決議は、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席議員の過半数の賛成をもって議決とする

特別議決 総社員の過半数が出席し総社員の議決権の 3 分の 2 以上をもって行う法 49 条 2 社員の除名、監事の解任、損害賠償責任の一部免除、定款の変更、事業の全部の譲渡、解散、吸収合併契約の承認、吸収合併存続法人、新設合併契約の承認

加重議決 法第 49 条 2 項の補足、定款第 59 条 総代表会員の 4 分の 3 以上の決議

みなし議決 法第 49 条 2 項 社員全員の同意が必要である。監事の停止権がある

決議省略 理事会の議決である。法第 96 条理事全員の同意が必要である監事の停止権がある

代表会員選出議決 代表会員選出規定第 23 条、出席代議員の 3 分の 2 以上の賛成

名誉議決 名誉会員規則第 5, 14 条出席代議員の 3 分の 2 以上の賛成

常任委員会議決 常任委員会規則第 4 条 理事の過半数以上の賛成かつ議員の過半数以上の賛成を要する。監事の議事停止権もある。

この種別を保存数するデータ形式として $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のカウンタ `\@Resolution` を設定している。その値は以下のようになっている。

名称	\@Resolution の値	対応するマクロ名	コメント
普通議決	0	\ 普通議決	法定
特別議決	1	\ 特別議決	法定
加重議決	2	\ 加重議決	法定・定款
みなし議決	3	\ みなし議決	法定
決議省略	4	\ 決議省略	法定
代表会員選出議決	5	\ 代表議決	代表会員選出規定
名誉議決	6	\ 名誉議決	定款
常任委員会議決	7	\ 常任議決	常任委員会規則

10.1 普通議決

会議が総議員の過半数で会議が成立し、賛成が出席議員の過半数の場合議案が可決されるものを言う。しかし、議決種別の設定が 3,4,7 に設定されている場合、議決の種類は変更しない。

議決の種類が 3,4,7 以外の場合は、\@Resolution の値は 0 である。それ以外は変化させない。

\ 普通議決

```

467 \@namedef{普通議決}{%
468   \ifnum\@Resolution=3\@Resolution=0\fi%
469   \ifnum\@Resolution=4\@Resolution=0\fi%
470   \ifnum\@Resolution=7\@Resolution=0\fi%
471 }%
```

10.2 特別議決

\ 特別議決

社員総会の議決である。法定 49 条第 2 項に規定されている。該当する決議事項は以下である。

- 社員の除名 法 30
- 総会提出資料調査者、業務等調査者の選任 法 55 第 1,2 項
- 理事・監事の選任 法 63
- 理事の任期短縮 法 66
- 理事・監事・会計監査人の解任 法 70 第 1 項
- 理事の報酬額またはその定款規定 法 89
- 監事の報酬額またはその定款規定 法 105

- 会計監査人の出席を求める決議 法 109 第 2 項
- 理事、監事、会計監査人の責任の一部免除 法 113 第 1 項
- 責任免除理事への退職慰労金等支給の承認 法 113 第 4 項
- 計算書類の承認 法 126
- 基金の返還 法 141
- 定款の変更 法 146
- 事業の全部の譲渡 法 147
- 解散 法 148 第 3 項
- 継続 法 150
- 清算人の選任 法 209
- 合併契約書の承認 法 247 251 257
- 定款規定が無い場合の残余財産の帰属 法 239

\ 特別議決 該当する \@Resolution の値は 1 である。法 49 条 2 項に規定される議決である。出席した当該社員の議決権の過半数出席があり総社員の 3 分の 2 以上の賛成が必要である。

472 \@namedef{特別議決}{\@Resolution=1}%

10.3 加重議決

\ 加重議決 法定第 49 条 2 項と第 2 項に規定され散る定款において法定よりも多い議決数を要求できる規定である。定款では定款 59 条において 4 分の 3 以上の議決と定めている。

473 \@namedef{加重議決}{\@Resolution=2}%

10.4 みなし議決

\ みなし議決 みなし議決とは、理事または社員が、社員総会の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす規程である。

社員全員の書面による同意が必要である (法定第 58 条)

みなし議決により開催されたことを宣言するマクロである。該当する \@Resolution の値は 3 である。

10.5 決議省略

\決議省略 理事会の決議を省略できる規定である。ほぼ総会のみなし議決と同様である。法定第 96 条が根拠規程である。
全員の賛成と、監事の異議が申し立てられない事を議案の可決要件とする。
該当する \@Resolution の値は 4 である。書面会議であることを設定するマクロである。

```
474 \@namedef{みなし議決}{\@Resolution=3\Lettertrue}%総会の場合
475 \@namedef{決議省略}{\@Resolution=4}%理事会の場合
```

10.6 代表議決

\代表議決 代表会員選出規定 23 条、総会において代表会員を新たに選出するため出席代表会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

```
476 \@namedef{代表議決}{\@Resolution=5}%
```

10.7 名誉議決

\名誉議決 名誉会員及び名誉会長に関する規程:第 8 条、第 14 条により出席数は議員の過半数であるが、議案の成立に必要な議員数は出席議員の 2/3 以上である。名誉議事の \@Resolution は 6 である。

```
477 \@namedef{名誉議決}{\@Resolution=6}%
```

10.8 常任委員会議決

\常任議決 常任委員会議決は、代表委員会規則第 4 条により、理事の過半数の賛成と出席委員の過半数の賛成を必要とする。また監事の、次の理事会まで議決の効力を停止ができる、代表委員会規則第 5 条。

該当する \@Resolution の値は 7 である。

```
478 \@namedef{常任議決}{\@Resolution=7}%
```

11 定足数などの計算マクロ

評決結果 議事録の Body 部分で利用されるまくろで評決の結果の数値を記録する。数値は第 1 引数が賛成、第 2 引数が棄権、第 3 引数が反対の票数を記載する。

```
479 \@namedef{評決結果}#1#2#3{%
480   \@aye=#1%
481   \@absention=#2%
482   \@against=#3}%
```

常任委員会の評決を記述するマクロである。引数は委員賛成数委員棄権数委員反対
 常任委員会評決結果 数理事賛成数理事棄権数理事反対数である。

```

483 \newcount\@ayeB%
484 \newcount\@absentionB%
485 \newcount\@againstB%
486 \@namedef{常任委員会評決結果}#1#2#3#4#5#6{%
487   \@aye=#1%
488   \@absention=#2%
489   \@against=#3%
490   \@ayeB=#4%
491   \@absentionB=#5%
492   \@againstB=#6%
493 }%

```

監事の会議における議決の停止宣言を記述する。使われるのは、総会における「みなし議決」, 理事会における「決議省略」, 常任委員会におけるすべての議決で摘要される。

```

494 \@namedef{議決停止}{\Freezetrue}%

```

\ 会長名 本会の会長職の氏名を \@President に設定する議事録などの議長を担当する者を定義する。本システムでは特に議長を設定しない場合自動的に会長が議長となる。このマクロを実行すると議長が会長である。第 1 引数は議長の学会における肩書き (会長, 副会長, 理事, 代表会員, 委員長など) 第 2 引数は議長の氏名を設定する。

```

495 \@namedef{会長不在}{\Presidentfalse}%
496 \@namedef{会長名}#1{\Chairtrue\gdef\@President{#1}}%
497 \@namedef{議長}#1#2{%
498   \Chairtrue}%
499   \Presidentfalse%
500   \gdef\@PostName{#1}%
501   \gdef\@Chair{#2}}%

```

12 書記の設定

\ 書記 議事録などの記述を担当する者を定義する, 役職, 氏名の順で記述する。

```

\@ClerkPost 502 \@namedef{書記}#1#2{%
\@ClerkName 503   \def\@tmp{\empty}%
504   \ifx\@tmp#1\gdef\@ClerkPost{\empty}%
505   \else%
506     \gdef\@ClerkPost{#1}%
507   \fi%
508   \gdef\@ClerkName{#2}}%

```

会議を召集した者を記述するマクロである。 \ 召集者<役職><氏名>により利用される。

13 開催年度の設定

\開催年度 会議等の開催年度を設定する \ 年度は通常は目的年度である. \ 開催年度は何らかの会議の開催年度を設定す.

```
509 \@namedef{開催年度}#1{\gdef\@KYear{#1}}%
```

14 開催日の設定

\開催日 会議の開催年月日を設定するマクロである第 1 引数から順番に \@Year, \@Month, \@MeetingDate \@Day を定義する

```
\@Year 510 \@namedef{開催日}#1#2#3{%
```

```
\@Month 511 \gdef\@Year{#1}\gdef\@Month{#2}\gdef\@Day{#3}%
```

```
\@Month 512 \gdef\@MeetingDate{#1 年#2 月#3 日}}%
```

\@Day \開催日のコピーである. 過去の互換性のために残っている

```
\MeetingDate 513 \@namecp{MeetingDate}{開催日}%
```

```
514 %\def\MeetingDate#1#2#3{\@MeetingDate#1#2#3{
```

```
515 %
```

15 開始時刻の設定

\開始時刻 会議の開始時刻を設定するマクロである. \@Stime に時刻を設定する

```
\@Stime 516 \@namedef{開始時刻}#1{\def\@Stime{#1}}%
```

16 終了時刻

16.1 終了時刻の設定

\終了時刻 会議の終了時刻を設定するマクロである. \@Etime に時刻を設定する

```
\@Etime 517 \@namedef{終了時刻}#1{\def\@Etime{#1}}%
```

16.2 開催地等

\開催地 開催地を \@開催地に設定するマクロ

```
\@Location 518 \@namedef{開催地}#1{\def\@Location{#1}}%
```

16.3 開催地細分の設定

\開催地細 開催地細, 開催場所を設定するマクロである. \@Lot, \@Location に保存する.

\開催場所 519 \@namedef{開催地細}#1{\def\@Lot{#1}}%

\@Lot

\@Location

16.4 \@PrefB で利用されるマクロ

議事録等を記述する場合場所や出席者などを統一形式で記述するマクロである以下のマクロ群は、\@PrefB の内部で使用する印刷整形マクロである。

16.4.1 \TI

\TI 他のマクロと異なり\describe 環境の中で使われることを前提として作成されている。 \TI は 2 つの引数を持ち第 1 引数は表題をあらわし第 2 引数はその内容を第 3 引数はラベルの長さ、第 4 引数は本体の長さである。全体は \minipage 環境により表示する。

```
520 \def\TI#1#2#3#4{%
521   \makebox[#3]{\bf#1\hfill}%
522   \begin{minipage}[t]{#4}\bf#2\end{minipage}\linebreak}%
```

16.5 \TIL

第 1 引数は表題である。第 2 引数は \List 構造をもつマクロ名でそのリストを表示する。第 3 引数はラベルの長さ、第 4 引数は本体の長さである。全体は \minipage 環

\TIL 境により表示する。長さをチェックするために \savebox を使用する。

```
523 \def\TIL#1#2#3#4{%
524   \makebox[#3]{\bf#1\hfill}%
525   \Swtrue%
526   \edef\tmpA{\empty}%
527   \begin{minipage}[t]{#4}\bf%
528     \@for\T:=#2\do{%
529       \let\OldtmpA=\tmpA%
530       \ifx\tmpA\empty\edef\tmpA{\T}\else\edef\tmpA{\tmpA,\T}\fi%
531       \setbox\TBox=\hbox{\tmpA}%
532       \ifdim\wd\TBox>#4%
533         \hbox to #4{\OldtmpA\hfil}%
534         \edef\tmpA{\T}%
535       \fi%
536     }%
537     \ifx\tmpA\empty\else\hbox to #4{\tmpA\hfil}\fi
538   \end{minipage}\linebreak}%
539 \def\TIN#1#2#3#4{\makebox[#3]{\bf#1\hfill}%
540   \makebox[#4]{\bf#2{}名\hfill}\linebreak}%
```

16.5.1 日時の設定

KaisaiNichiji	DeescribeMacroGiketuBi 会議の開催日などを設定するマクロであり、\Kaisainichiji
KaisaiBi	は通常の開催方式の場合利用され、\KaisaiBi は書面会議の場合利用される。 \Basho
Basho	は、通常の実会議の場合利用される。 書面会議の場合は未定義である。 また
TeianBi	\@Location が \empty の場合はその項は表示されない。
KoujiBi	

開催日時・場所等

```
541 \def\KaisaiNichiji{\ifx\@Stime\empty%
542 \TI{開催日}{\@MeetingDate}{12zw}{24zw}\else%
543 \TI{開催日時}{\@MeetingDate\@Stime$\sim$\@Etime}{12zw}{24zw}\fi}%
544 \def\KaisaiBi{\TI{開催日}{\@MeetingDate}{12zw}{24zw}}%
545 \def\TeianBi{\TI{提案日}{\@ProposeDate}{12zw}{24zw}}%
546 \def\KoujiBi{\TI{公示日}{\@OYear}{年 \@OMonth}{月 \@ODay}{日}{12zw}{24zw}}%
547 \def\GiketuBi{\TI{議決日}{\@FYear}{年 \@FMonth}{月 \@FDay}{日}{12zw}{24zw}}%
548 \def\Basho{\ifx\@Location\empty\else%
549 \@ifundefined{@Lot}{\TI{開催場所}{\@Location}{12zw}{24zw}}{\%
550 \TI{開催場所}{\@Location\\@Lot}{12zw}{24zw}\fi}%
```

総代表職数

```
551 \def\NoAllMember{\ifnum\@NoRSu>0%
552 \TIN{総 \@nameuse{代表職}(代表会員) 数}{\the\@NoRSu}{12zw}{24zw}\fi}%
```

出席議員数

```
553 \def\NoMember{\ifnum\@NoRG>0%
554 \TIN{出席 \@nameuse{代表職}数}{\the\@NoRG}{12zw}{24zw}\fi}%
```

議場議員数・リスト

```
555 \def\NoGijo{\ifnum\@NoRSu>0%
556 \TIN{議場出席 \@nameuse{代表職}数}{\the\@NoRG}{12zw}{24zw}\fi}%
557 \def\Gijo{\ifnum\@NoRG>0%
558 \TIL{議場出席 \@nameuse{代表職}}{\ListRG}{12zw}{24zw}\fi}%
```

Online による出席議員数とそのリスト

```
559 \def\NoOnline{\ifnum\@NoRN>0%
560 \TIN{オンライン出席数 \@nameuse{代表職}数}{\the\@NoRN}{12zw}{24zw}\fi}%
561 \def\Online{\ifnum\@NoRN>0%
562 \TIL{オンライン出席 \@nameuse{代表職}}{\ListRN}{12zw}{24zw}\fi}%
```

議決指示書による出席

```
563 \def\Shiji{\ifnum\@NoRD>0%
564 \TIL{書面評決 \@nameuse{代表職}}{\ListRD}{12zw}{24zw}\fi}%
565 \def\NoShiji{\ifnum\@NoRD>0%
566 \TIN{書面評決 \@nameuse{代表職}数}{\the\@NoRD}{12zw}{24zw}\fi}%
```

委任状による出席

```
567 \def\NoDelegated{\ifnum\@NoRy>0%
568 \TIN{委任状数}{\the\@NoRy}{12zw}{24zw}\fi}%
569 \def\Delegated{\ifnum\@NoRy>0%
570 \TIL{委任状 \@nameuse{代表職}}{\ListRy}{12zw}{24zw}\fi}%
```

理事会用

出席理事数・出席理事リスト

```
571 \def\NoGijoDP{\ifnum\@NoDP>0%
572 \TIN{出席理事数}{\the\@NoDP}{12zw}{24zw}\fi}%
573 \def\GijoDP{\ifnum\@NoDP>0%
574 \TIL{出席理事}{\ListDP}{12zw}{24zw}\fi}%
```

議場理事数・議場理事リスト

```
575 \def\NoGijoDG{\ifnum\@NoDG>0%
576 \TIN{議場出席理事数}{\the\@NoDG}{12zw}{24zw}\fi}%
577 \def\GijoDG{\ifnum\@NoDG>0%
578 \TIL{議場出席理事}{\ListDG}{12zw}{24zw}\fi}%
```

OnlineDirector 数・OnlineDirector リスト

```
579 \def\NoGijoDN{\ifnum\@NoDN>0%
580 \TIN{Online 出席理事数}{\the\@NoDN}{12zw}{24zw}\fi}%
581 \def\GijoDN{\ifnum\@NoDN>0%
582 \TIL{Online 出席理事}{\ListDN}{12zw}{24zw}\fi}%
```

出席監事数・Online 監事リスト議場に出席している監事

```
583 \def\NoGijoAP{\ifnum\@NoAP>0%
584 \TIN{出席監事数}{\the\@NoAP}{12zw}{24zw}\fi}%
585 \def\GijoAP{\ifnum\@NoAP>0%
586 \TIL{出席監事}{\ListAP}{12zw}{24zw}\fi}%
```

議場監事数・議場監事リスト

```
587 \def\NoGijoAG{\ifnum\@NoAG>0%
588 \TIN{議場出席監事数}{\the\@NoAG}{12zw}{24zw}\fi}%
589 \def\GijoAG{\ifnum\@NoAG>0%
590 \TIL{議場出席監事}{\ListAG}{12zw}{24zw}\fi}%
```

Online 出席監事数・Online 監事リスト

```
591 \def\NoGijoAN{\ifnum\@NoAN>0%
592 \TIN{Online 出席監事数}{\the\@NoAN}{12zw}{24zw}\fi}%
593 \def\GijoAN{\ifnum\@NoAN>0%
594 \TIL{Online 出席監事}{\ListAN}{12zw}{24zw}\fi}%
```

16.5.2 役員等の全リストとその人数

ZenR 会議の定数などの設定また法令等に定められた全議員に関する文言ために全議員の
ZenD リストは必要である.

```
ZenA 595 \def\ZenR{\@ifundefined{AllRLList}{}{\TIL{全代表会員}{\AllRLList}{12zw}{24zw}}}%
ZenJ 596 \def\ZenD{\TIL{全理事}{\AllDLList}{12zw}{24zw}}}%
597 \def\ZenA{\TIL{全監事}{\AllALList}{12zw}{24zw}}}%
ZenDJ 598 \def\ZenDJ{\TIL{全理事常任委員}{\AllDLList}{12zw}{24zw}}}%
ZenC 599 \def\ZenJ{\TIL{全常任委員}{\AllCLList}{12zw}{24zw}}}%
600 \def\ZenC{\TIL{全委員}{\AllCLList}{12zw}{24zw}}}%
```

TeisuR 理事, 監事, 代表会員, 常任委員, 委員の定数を表示するためのマクロである.

```
TeisuD 601 \def\TeisuR{\TIN{代表会員定数}{\the\@NoRSu}{12zw}{24zw}}}%
602 \def\TeisuD{\TIN{理事定数}{\the\@NoDSu}{12zw}{24zw}}}%
TeisuA 603 \def\TeisuA{\TIN{監事定数}{\the\@NoASu}{12zw}{24zw}}}%
TeisuJ 604 \def\TeisuDJ{\TIN{理事常任委員定数}{\the\@NoDSu}{12zw}{24zw}}}%
TeisuC 605 \def\TeisuAJ{\TIN{監事常任委員定数}{\the\@NoASu}{12zw}{24zw}}}%
606 \def\TeisuJ{\TIN{常任委員定数}{\the\@NoCSu}{12zw}{24zw}}}%
607 \def\TeisuC{\TIN{委員定数}{\the\@NoCSu}{12zw}{24zw}}}%
```

TeisokuR 定足数を求めて表示するマクロである.

TeisokuD 608 \def\TeisokuR{\TIN{総会定足数}{\the\@NoRQ}{12zw}{24zw}}%

TeisokuJ 609 \def\TeisokuD{\TIN{理事定足数}{\the\@NoDQ}{12zw}{24zw}}%

610 \def\TeisokuJ{%

TeisokuC 611 \TSum{\@NoJSu}{\@NoDSu}{\@NoASu}%

612 \Majority{\@Quorum}{\@NoJSu}%

613 \@NoJQ=\@Quorum%

614 \TIN{定足数}{\the\@NoJQ}{12zw}{24zw}}%

615 \def\TeisokuC{\TI{委員会定足数}{\the\@NoCM}{12zw}{24zw}}%

ShussekiRNo 会議に参加している議員等のリストである

Sijisho 616 \def\GijoR{\ifnum\@NoRP>0%

SijishoS 617 \TIL{出席代表会員数}{\ListRP}{12zw}{24zw}\fi}%

618 \def\GijoR{\ifnum\@NoRG>0%

Inin 619 \TIL{議場代表会員}{\ListRG}{12zw}{24zw}\fi}%

IninSu 620 \def\GijoRSu{\ifnum\@NoRG>0%

621 \TIN{議場代表会員数}{\the\@NoRG}{12zw}{24zw}\fi}%

622 \def\ShussekiRNo{\TIN{出席代表会員数}{\the\@NoRP}{12zw}{24zw}}%

623 \def\NGijoDJ{\ifnum\@NoDP>0%

624 \TIN{出席理事常任委員数}{\the\@NoDP}{12zw}{24zw}\fi}%

625 \def\GijoDJ{\ifnum\@NoDP>0%

626 \TIL{出席理事常任委員}{\ListDP}{12zw}{24zw}\fi}%

627 \def\NGijoAJ{\ifnum\@NoAP>0%

628 \TIN{出席監事常任委員数}{\the\@NoAP}{12zw}{24zw}\fi}%

629 \def\GijoAJ{\ifnum\@NoAP>0%

630 \TIL{出席監事常任委員}{\ListAP}{12zw}{24zw}\fi}%

631 \def\GijoJ{\ifnum\@NoJP>0%

632 \TIL{出席常任委員}{\ListJP}{12zw}{24zw}\fi}%

633 \def\NGijoJ{\ifnum\@NoJP>0%

634 \TIL{出席常任委員数}{\the\@NoJP}{12zw}{24zw}\fi}%

635 \def\GijoCSu{\ifnum\@NoCP>0%

636 \TI{出席委員数}{\the\@NoCP}{12zw}{24zw}\fi}%

637 \def\GijoC{\ifnum\@NoCP>0%

638 \TIL{出席委員}{\ListCP}{12zw}{24zw}\fi}%

639 % \end{macrocode}

640 %

641 % 議長, 書記の表示マクロ

642 % \begin{macrocode}

643 %\def\SGicho{\TI{総会議長}{\@Chair}{12zw}{24zw}}%

644 %\def\RGicho{\TI{理事会議長}{\@Chair}{12zw}{24zw}}%

645 %\def\Gicho{\TI{議長}{\@Chair}{12zw}{24zw}}%

646 % \end{macrocode}

647 %

648 % 議長を記述するマクロである.

649 % \begin{macrocode}

650 \def\Gicho{\TI{議長}{\@Chair}{12zw}{24zw}}%

651 % \end{macrocode}

652 %

653 % 議事録作成者を記述するマクロである.

654 % \begin{macrocode}

```

655 \def\Gijiroku{%
656   \ifx\ClerkPost\empty%
657     \TI{議事録作成者}{\@ClerkName}{12zw}{24zw}%
658   \else%
659     \TI{議事録作成者}{\@ClerkPost\Zw{1}\@ClerkName}{12zw}{24zw}%
660   \fi%
661 }%
662 % \end{macrocode}
663 %
664 % 一般会員（傍聴人）の数を記述するマクロである．
665 % \begin{macrocode}
666 \def\IppanSu{\ifnum\@NoOrd>0%
667   \TI{会員の出席者数}{\the\@NoOrd 名}{12zw}{24zw}\fi}%
668 % \end{macrocode}
669 %
670 % \subsubsection{前書部}
671 % \DescribeMacro{@MeeetingName}
672 % \cs{@MeetingName}は，議事録のタイトル，を確定するマクロである．
673 % 必要があれば関連する条文の引用などもおこなう．
674 % \begin{macrocode}
675 \def\@MeetingName{%
676   \ifOver%
677     %タイトルの変更あり
678     \gdef\@MeetingTitle{\@OverMeetingTitle}%
679     \gdef\@MeetingTypeHead{\@OverMeetingTypeHead}%
680   \fi%
681   \ifnum\@MeetingType=0%総会
682     \ifPeriod%定時総会
683       \gdef\@MeetingTitle{\@Year 年度定時社員総会}%
684       \gdef\LowNo{定款 35 条第 1 項}%
685     \else%臨時社員総会
686       \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate 臨時社員総会}%
687       \gdef\LowNo{定款 35 条第 2 項 1 号}%
688     \fi%
689   \fi%
690   \ifnum\@MeetingType=1%理事会
691     \ifPeriod%定時理事会
692       \gdef\@MeetingTitle{\@year 年 \@Month 月 定時理事会}%
693     \else%臨時理事会
694       \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate 臨時理事会}%
695     \fi%
696   \fi%
697   \ifnum\@MeetingType=2%常任委員会
698     \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate 常任委員会}%
699   \fi%
700   \ifnum\@MeetingType=3%一般委員会
701     \let\tmp\@MeetingTitle%
702     \gdef\@MeetingTitle{\tmp \@MeetingDate}%
703   \fi%
704 }%

```

前書き, 会議諸元, 会議構成, 会議開催などを設定するマクロである. \@MeetingName から前書きを記述する \@PrefA, 会議諸元を記述する \@PrefB, 前書き部分の結語を記述する \@PrefC が順次起動される. 各マクロは \@MeetingType により定義が分かれる. またマクロの先頭で書面会議か実会議かの機能が分離されている.

プログラムの構成は

1. 文章のタイトルを確定させるマクロ \@MeetingName
2. 文章の前書きは \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC の 3 部に分かれている.
 \@PrefA 会議の開催に関する記述
 \@PrefB 会議の開催場所などのデータ記述部
 \@PrefC 会議の役職の選任, 定足数の確認, 開催の辞
3. 議事録等の結語部分である \@TailA, \@TailB, \@Tail に分かれている.
4. \@TailA 会議の議決の種類を記述する
 \@TailB 会議の議決の記述である
 \@Tail 日時, 立会人の記名押印, 出席理事の記名押印機能である

16.6 会議の前書き, 結語を記述する

\@PrefA, \@PrefB, \@PrefC を定義しており実際利用するときに展開して利用される.

```
705 \def\@MeetingBody{%  
706   \ifnum\@MeetingType=0%総会  
707     \@Representative%  
708     \@GeneralMeeting%  
709   \fi%  
710   \ifnum\@MeetingType=1%理事会  
711     \@CountDirector%  
712     \@DirectorMeeting%  
713   \fi%  
714   \ifnum\@MeetingType=2%常任委員会  
715     \@StandingMeeting%  
716   \fi%  
717   \ifnum\@MeetingType=3%一般委員会  
718     \@Committee%  
719   \fi%  
720 }%
```

総会の議事録, 議案書の記述マクロである \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC が定義されている.

16.6.1 総会用

総会用 \@PrefA の定義である.

```
721 \def\GeneralMeeting{%
722   \gdef\@PrefA{%
723     \ifLetter%
724     \fi%
725     \ifPresident%会長存在
726       \@nameuse{社団}会長 \@President{}は理事会の決議に基づき%
727     \else%
728       \@nameuse{社団}は理事会の決議に基づき%
729     \fi%
730     \ifLetter%書面会議
731       \@ProposeDate{}に \@Rank\@Proposer{}が提案した下記の議案「\@Bill{}」%
732       をみなし議決として取り扱うことを \@0Year{}年 \@0Month{}月 \@0Day{}日%
733       公示した. また記録を作成するための書記として%
734       \@ClerkPost \@ClerkName{}を提案した.\%
735       当該提案につき社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の%
736       意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議が%
737       あったものとする (法定第 58 条).\%
738       \@FYear{}年 \@FMonth{}月 \@FDay{}日社員全員の同意が得られたため,%
739       書記 \@ClerkPost \@ClerkName{}により議事録を作成した.%
740     \begin{center}%
741       \begin{tabular}{c}
742         1.&&決議があったものとみなされた日&\@FYear{}年 \@FMonth{}月 \@FDay{}
日 \\\%
743         2.&&提案者 &\@Rank\Ex\@Proposer\\%
744         3.&&議事録作成者 &\@ClerkPost\Ex\@ClerkName\\%
745         4.&&議決権を有する総社員数 &\the\@NoRSu{}名 \\\%
746         &&&&議決権の数 &\the\@NoRSu{}個 \\\%
747       \end{tabular}%
748     \end{center}%
749     \else%実委員会
750     \ifPropose%理事会提案
751       \@ProposeDate{}に \@Rank\@Proposer{}が提案した下記の議案%
752       「\@Bill{}」を審議事項とする%
753     \fi%
754     \@MeetingTitle の召集を \@LowNo により公示した. \\\%
755     また、この社員総会は、一般社団法人法第 49 条第 2 項の規程を適用し%
756     社員は書面によって議決権を行使することができることとする.%
757   \fi%
758 }%
```

総会用 \@PrefB の定義内部は書面会議か実会議かにより機能が分かれている.

```
759 \gdef\@PrefB{%
760   \ifACT%議事録
761   \ifLetter%書面会議
762   \else%実会議
763     \gdef\@Lw{出席理事および出席監事が}
```

```

764      \KaisaiNichiji%開催日時
765      \Basho%開催場所
766      \NoAllMember%全社員数
767      \TeisokuR%定足数
768      \NoMember%出席社員数
769      \NoGijo%議場社員数
770      \Gijo%議場社員リスト
771      \NoOnline%オンライン出席社員数
772      \Online%オンライン出席社員リスト
773      \NoShiji%書面評決社員数
774      \Shiji%書面評決社員リスト
775      \NoDelegated%委任状社員数
776      \Delegated%委任状社員リスト
777      \NoGijoDP%出席理事数
778      \GijoDP%出席理事リスト
779      \NoGijoAP%出席監事数
780      \GijoAP%出席監事リスト
781      \Gicho%議長名
782      \Gijiroku%書記名
783      \fi%
784      \else%議案書
785      \ifLetter%書面会議
786      \gdef\@PrefB{}%
787      \else%実会議
788      \KaisaiNichiji%
789      \Basho%
790      \Shoushuu%
791      \KoujiBi%
792      \Gijiroku%
793      \fi%
794      \fi%
795      }%

```

総会用 \@PrefC の定義定義内部は書面会議か実会議かにより機能が分かれている。

```

796      \gdef\@PrefC{%
797      \ifACT%議事録
798      \ifLetter%
799      \@ProposeDate\Ex\@Rank\Ex\@Proposer\Ex{}が社員全員に対して%
800      上記社員総会の目的である事項について提案書を発し、%
801      当該提案及び報告につき、\@FYear{}年 \@FMonth{}月 \@FDay{}日までに%
802      社員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、%
803      「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 58 条第 1 項及び第 59 条に
804      %
805      基づき、当該提案を可決する旨の社員総会の決議及び報告事項の社員総会へ%
806      の報告があったものとみなされた。%
807      \begin{center}\LARGE%
808      議決事項%
809      \end{center}%
810      \else%実会議
      \subsubsection*{議長の選出}%

```

```

811 \ifPresident%会長はいる
812 \ifChair%議長は会長である
813 \@nameuse{社団}\Ex\@PostName\Ex\@Chair は、定款 37 条により%
814 \@MeetingTitle 議長に就任した。%
815 \else%議長は会長以外である
816 \@nameuse{社団}\Ex\@MeetingTitle の議長は定款 37 条%
817 の定めるところにより会長である。しかし、本日の会議には%
818 事故により欠席している。よって定款 37 条の規程により%
819 出席社員の中から選任することとした。%
820 \@PostName\Ex\@Chair は仮議長となり出席社員に諮ったところ%
821 満場一致で \@PostName\Ex\@Chair を議長とすることを決した。%
822 \fi%
823 \else%会長が非存在
824 \@nameuse{社団}\Ex\@MeetingTitle の議長は定款 37 条%
825 の定めるところにより会長である。%
826 しかし、事情により会長は不在である。よって定款 37 条の規程により%
827 出席社員の中から選任することとした。%
828 \@PostName\Ex\@Chair は仮議長となり出席社員に諮ったところ%
829 満場一致で \@PostName\Ex\@Chair を議長とすることを決した。%
830 \fi%
831 \subsubsection*{定足数の確認}%
832 \Majority{\@NoRQ}{\@NoRSu}%
833 総会開催に必要な社員（代表会員）の定足数は、定款 38 条に%
834 定められた代表会員数 \the\@NoRSu{}名の過半数 \the\@NoRQ{}名であり、
%
835 本会議の有効出席代表会員数は \the\@NoRP{}名で定足数を満たしている事
%
836 を確認した。%
837 \subsubsection*{書記の選任}%
838 一般社団法人法第 58 条第 1 項、第 59 条及び同法施行規則第 11 条第 4 項に
基づき、%
839 議事録を作成する者の選任をと諮ったところ満場一致で%
840 \@ClerkPost\@ClerkName が選任された。%
841 \subsubsection*{開会の宣言}%
842 \@nameuse{社団}\Ex\@PostName\Ex\@Chair は、定款 38 条により%
843 \@MeetingTitle 議長となり%
844 \@ifundefined{@Stime}{\@Stime}総会の開会を宣言した。%
845 \fi%
846 \else%議案書
847 \@nameuse{社団}\@MeetingTitle を下記により開催する。%
848 \fi%
849 }%
850 }%

```

理事会用の集計マクロ \CountDirector の定義である

1. 理事の定数 \@NoDSu より過半数 \@NoDQ を求める。
2. 出席理事数を \@NoDP = \@NoDG + \@NoDN より求める
3. 出席監事数を \@NoAP = \@NoAG + \@NoDN より求める

```

851 \gdef\@CountDirector{%
852 \Majority{\@NoDQ}{\@NoDSu}%
853 \@NoDP=\@NoDG%
854 \advance\@NoDP by \@NoDN%
855 \@NoAP=\@NoAG%%
856 \advance\@NoAP by \@NoAN%
857 }%

```

理事会用の \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC の定義である

```

858 \def\DirectorMeeting{%
859 \ifLetter%書面会議
860 \gdef\@PrefA{%
861 \ifPresident%会長存在
862 \@nameuse{社団}会長 \@President{}は理事会の決議に基づき%
863 \else%
864 \@nameuse{社団}は理事会の決議に基づき%
865 \fi%
866 \@ProposeDate{}に \@Rank\@Proposer{}が理事の全員及び監事の全員に%
867 対して, 理事会の決議の目的である事項「\@Bill{}」についての%
868 提案書を発した.%
869 }%
870 \gdef\@PrefB{%
871 \begin{center}%
872 \begin{tabular}{c1l}%
873 1.&議案の提案日&\@ProposeDate\\%
874 2.&提案者 &\@Rank\Ex\@Proposer\\%
875 3.&決議があったものとみなされた日&\@FYear{}年 \@FMonth{}月 \@FDay{}
日 \\%
876 4.&議事録作成者 &\@ClerkPost\Ex\@ClerkName\\%
877 5.&議決権を有する理事の総数 &\the\@NoDSu{}名 \\%
878 6.&監事の総数 &\the\@NoASu{}名 \\%
879 \end{tabular}%
880 \end{center}%
881 }%
882 \gdef\@PrefC{%
883 \else%実会議
884 \gdef\@PrefA{%
885 \@nameuse{社団}\@MeetingTitle を下記により開催%
886 \ifACT した \else する \fi .%
887 }%
888 \gdef\@PrefB{%
889 \KaisaiNichiji%
890 \Basho%
891 \TeisuD%
892 \TeisokuD%
893 \NoGijoDP%
894 \NoGijoDG%
895 \GijoDG%
896 \NoGijoDN%
897 \GijoDN%

```

```

898 \NoGijoAP%
899 %\GijoAP%
900 \NoGijoAG%
901 \GijoAG%
902 \NoGijoAG%
903 \GijoAG%
904 \NoGijoAN%
905 \GijoAN%
906 \Gicho%
907 \Gijiroku%
908 }%
909 \gdef\@PrefC{%
910 \ifLetter%書面会議
911 \else%実会議
912 \subsubsection*{議長の選出}%
913 \ifChair%議長は会長である%
914 \@nameuse{社団}\Ex\@PostName\Ex\@Chair は、定款 47 条%
915 により \@MeetingTitle 議長に就任した . %
916 \else%議長は会長以外である%
917 \@nameuse{社団}\Ex\@MeetingTitle の議長は定款 47 条%
918 の定めるところにより会長である . しかし、本日の会議には%
919 事情により欠席している . よって定款 47 条の規程により%
920 出席理事の中から選任することとした . %
921 \@PostName{}\Ex\@Chair{}は仮議長となり出席理事に諮ったところ%
922 満場一致で \@PostName\Ex\@Chair{}を議長とすることを決した . %
923 \fi%
924 \subsubsection*{定足数の確認}%
925 理事会開催に必要な理事の定足数は、定款 48 条に定められた理事定数%
926 \the\@NoDSu の過半数 \the\@NoDQ 名であり、本会議の出席理事数は%
927 \the\@NoDP 名で定足数を満たしている事を確認した . %
928 \subsubsection*{開会の宣言}%
929 \@nameuse{社団}\Ex\@PostName\Ex\@Chair は、定款 38 条%
930 により \@MeetingTitle 議長となり \@ifundefined{@Stime}{-}{\@Stime}%
931 総会の開会を宣言した . %
932 \fi%
933 }%
934 \fi%
935 }%

```

16.6.2 常任委員会用

常任委員会の \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC の定義である. 常任委員会の定数は \@NoJSu に保存される理事の定数は \@NoDSu に保存される監事の定数は \@NoASu に保存される委員の定数は \@NoJSu に保存される

理事の過半数は \@NoDM 委員全体の過半数は \@NoJP に保存される

出席理事過半数は \@NoJD

出席理事数は \@NoDP に保存出席監事数は \@NoAP に保存出席委員数は \@NoJP に保

存総計は \@NoJG に保存過半数は \@NoJM に保存

```
936 \def\StandingMeeting{%
937   \newcount\@NoJP\@NoJP=0%
938   \newcount\@NoJD\@NoJD=0%
939   \newcount\@NoJG\@NoJG=0%
940   \newcount\@NoDM\@NoDM=0%
941   \newcount\@NoCM\@NoCM=0%
942   \newcount\@NoCQ\@NoCM=0%
943   \newcount\@NoJM\@NoJM=0%
944   \Majority{\@NoDM}{\@NoDSu}%理事過半数%
945   \@NoJSu=\@NoDSu%
946   \advance \@NoJSu by \@NoASu%
947   \advance \@NoJSu by \@NoCSu%
948   \Majority{\@NoJP}{\@NoJSu}%委員過半数%
949   \@NoJG=\@NoDP%
950   \advance \@NoJG by \@NoAP%
951   \advance \@NoJG by \@NoJP%
952   \Majority{\@NoJM}{\@NoJG}%出席委員過半数
953   \Majority{\@NoJD}{\@NoDP}%出席理事過半数
954   \gdef\@PrefA{\Large\@ProposeDate\@nameuse{社団} \@Proposer は,%
955     常任委員会に対し下記議案を提出した.%
956     議長は、本議案に対し電磁的方法もしくは書面による%
957     議論、議決をもって行うことを可能とし、%
958     常任委員会議案として取り上げることを宣言した。}%
959   \gdef\@PrefB{\large%
960     \TeisuJ%常任委員定数
961     \TeisuAJ%監事常任委員定数
962     \TeisuDJ%理事常任委員定数
963     \NGijoJ%出席常任委員数
964     \GijoJ%出席常任委員リスト
965     \NGijoAJ%出席監事常任委員数
966     \GijoAJ%出席監事常任委員リスト
967     \NGijoDJ%出席理事常任委員数
968     \GijoDJ%出席理事常任委員リスト
969     \Gicho%議長
970     \Gijiroku%議事録作成者
971     \TeianBi%議案が提案された日
972     \GiketuBi%議決された日
973   }%
974   \gdef\@MeetingTypeHead{常}%
975   \gdef\@PrefC{\Large%
976     \subsubsection*{議長の選出}%
977     常任委員会設置規則にもとづき%
978     \ifChair%
979       委員長である会長 \@Chair が就任した.%
980     \else%
981       会長が就任するところであるが、都合により欠席している。よって%
982       副委員長である副会長 \@Chair が就任した.%
983     \fi%
```

```

984 \subsubsection*{書記の選出}%
985 議事録を作成する者の選任をとらったところ満場一致で%
986 \@ClerkPost\@ClerkName が選任された.%
987 \subsubsection*{定足数の確認}%
988 常任委員会開催に必要な委員の定足数は、設置規則第 4 条により定められた%
989 定数 \the\@NoJSu 名の過半数 \the\@NoJP 名である。本会議の出席委員数は%
990 \the\@NoJG 名である.%
991 \ifnum\@NoJG<\@NoJP%
992 委員の数が定足数に達していないので会議は未成立である.%
993 \else%
994 よって定足数を満たしていることを確認した%
995 \fi%
996 \subsubsection*{議決}%
997 常任委員会の議決は常任委員会設置規則により以下の 3 条件を満たすことが必要%
998 である.%
999 \begin{itemize}%
1000 \item 出席常任委員，出席理事常任委員，出席監事常任委員の過半数 \the\@NoJM 名
%
1001 以上の賛成がある.%
1002 \item 理事常任委員の過半数 \the\@NoDM 名以上の賛成がある.%
1003 \item また，監事により議決の効力の停止が宣言されたとない.%
1004 \end{itemize}%
1005
1006 監事のは議決の効力を停止の宣言がある場合は次に開かれる%
1007 理事会までその効力を停止される.%
1008 \subsubsection*{開会の宣言}%
1009 \@nameuse{社団}\Ex{}\@PostName\Ex\@Chair{}は，%
1010 常任委員会設置規則により \@MeetingTitle 議長となり%
1011 \@ifundefined{@Stime}{-}\@Stime{}常任委員会の開会を宣言した.%
1012 }%
1013 }%

```

16.6.3 一般委員会用

一般委員会の \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC の定義である。

```

1014 \def\Committee{%
1015 \gdef\@PrefA{%
1016 \@nameuse{社団}\Ex{}\@PostName\Ex\@Chair{}は，%
1017 \@ProposeDate{}に \@Rank\@Proposer{}が提案した下記の議案「\@Bill{}」を%
1018 電磁的方法もしくは書面による議論，議決を行うことを可能とすることを%
1019 宣言した.%
1020 また記録を作成するための書記として \@ClerkPost \@ClerkName{}を提案し
た.\}%
1021 \@MeetingTitle 設置規則により \@MeetingTitle 議長に就任した.%
1022 }
1023 \gdef\@PrefB{%
1024 \KaisaiBi%開催日
1025 \TeisuC%委員定数
1026 \TeisokuC%定足数

```

```

1027 \GijoCSu%出席委員数
1028 \GijoC%出席委員リスト
1029 \Gicho%議長
1030 }%
1031 \gdef\@PrefC{%
1032 \subsubsection*{議長の選出}%
1033 議長は \@PostName \@Chair が就任した.%
1034 \subsubsection*{定足数の確認}%
1035 \ifundefined{@NoP}{\newcount\@NoP}{}%
1036 \ifundefined{@NoJSu}{\newcount\@NoJSu}{}%
1037 \ifundefined{@NoQ}{\newcount\@NoQ}{}%
1038 \Majority{@Quorum}{@NoCP}\@NoQ=\@Quorum%
1039 委員会開催に必要な委員の定足数は、設置規則により定められた定数%
1040 \the\@NoCSu 名の過半数 \the\@NoQ 名である。本会議の出席委員数は%
1041 \the\@NoCP 名である.%
1042 \ifnum\@NoCP>\@Quorum よって定足数を満たしていることを確認した.%
1043 \else 委員の数が定足数に達していないので会議は未成立である.\fi%
1044 \subsubsection*{開会の宣言}%
1045 議長は \ifundefined{@Stime}{\@Stime}\@MeetingTitle%
1046 の開会を宣言した.%
1047 }%
1048 }%

```

16.6.4 議事録の定形文の上書きマクロ

議事録の書面を微細に調整するために個々の部品であるマクロを外部から上書きでいるようにしてある。

16.6.5 会議名称

会議の名称を設定するマクロである。総会、理事会、常任委員会では自動設定される。一般の委員会の場合は「委員会」の文字列を除いた名称を \委員会{\name}{\HeadWord} により設定する必要がある。総会、理事会、常任委員会において使用した場合は、この自動設定を上書きする。実態は \@MeetingTitle に設定する。また引数に空を設定した場合 \@MeetingTitle は定義されない。第2引数は \頭語の設定である。

```

\会議名称
\@MeetingTitle 1049 \@namedef{会議名称}#1#2{%
1050 \def\tmp{#1}%
\MeetingTitle 1051 \ifx\tmp\empty\else\gdef\@OverMeetingTitle{#1}\fi%
1052 \def\tmp{#2}%
1053 \ifx\tmp\empty\else\gdef\@OverMeetingTypeHead{#2}\fi%
1054 \@Overtrue%%
1055 }%

```

```

\ShowTitle 独自にタイトル \@title, 著者 \@author, 日付 \@date などを入力する機能, このマ
\ShowTitleN

```

クロは引数が文字列の場合 \ShowtitleN とマクロの場合 \ShowTitle がある。どちらも第 1 引数がタイトル, 第 2 引数が著者, 第 3 引数が日付となっている。

```

1056 \def\ShowTitle#1#2#3{%
1057   \begin{center}%
1058     \ifx#1\empty\else\huge#1\par\fi%
1059     \ifx#2\empty\else\Large%
1060       \lineskip .5em \begin{tabular}[t]{c}{#2}\end{tabular}\par\fi%
1061     \ifx#3\empty\else\Large#3\par\fi%
1062   \end{center}%
1063 }%
1064 \def\ShowTitleN#1#2#3{%
1065   \begin{center}%
1066     \def\tmp{#1}\ifx\tmp\empty\else\huge\@nameuse{#1}\par\fi%
1067     \def\tmp{#2}\ifx\tmp\empty\else\Large%
1068       \lineskip .5em \begin{tabular}[t]{c}\@nameuse{#2}\end{tabular}\par\fi%
1069     \def\tmp{#3}\ifx\tmp\empty\else\Large\@nameuse{#3}\par\fi%
1070   \end{center}%
1071 }%

```

16.6.6 議案・議事録のタイトル

会議名称を \MeetingTitle に保存するマクロである。第 1 引数は委員会名称であるが、常任委員会、理事会、総会は他の設定により判別できるので設定しなくても良い。どの場合であっても設定された第 1 引数は優先される。

16.7 議事録の大枠を決める

\MeetingRecode \MeetingRecode は議事録の前書き、結語を設定するマクロである。
 \MeetingRecode は、前書きのマクロと結語のマクロを設定する \@MeetingName と \@MeetingBody を呼ぶ。

16.7.1 タイトルの設定

- 議事録等のタイトルを設定する \@MeetingName
- 前書きの文章を設定する \@PrefA, \@PrefB, \@PrefC である
- 結語部分を設定する \TailA, \TailB, \Tail から構成されている。

\@MeetingName は、内部で \@MeetingTitle を呼び \@MeetingTitle に書類のタイトルを設定するマクロである。

```

1072 \def\MeetingRecode{%
1073   %議事録・議案書
1074   \ifLetter%
1075     \Large%

```

```

1076 \else%
1077 \normalsize%
1078 \fi%
1079 \@MeetingName%
1080 \@MeetingBody%
1081 \ifNoTitle%
1082 \vspace*{-10mm}%
1083 \else%
1084 \vspace*{-25mm}%
1085 \fi%
1086 \begin{center}\huge%
1087 \ifOver%
1088 \ifACT%
1089 \@MeetingTitle 議事録%
1090 %\gdef\@MeetingTitle{\@OverMeetingTitle}%
1091 \else%
1092 \@MeetingTitle 議案書%
1093 \fi%
1094 \else%
1095 \@nameuse{社団}\\%
1096 \ifACT%
1097 \@MeetingTitle 議事録%
1098 \else%
1099 \@MeetingTitle 議案書%
1100 \fi%
1101 \fi%
1102 \end{center}%
1103 \ifOver%
1104 {\flushright \hfill\@OverMeetingTypeHead\@RNo 号}%
1105 \else%
1106 {\flushright \hfill\@MeetingTypeHead\@RNo 号}%
1107 \fi%
1108 \begin{quote}\@PrefA\end{quote}%
1109 \begin{quote}\@PrefB\end{quote}%
1110 \begin{quote}\@PrefC\end{quote}%
1111 }%

```

16.7.2 議事録の前書き

議事録の定形ではない前書きを必要な場合利用されるマクロである。このマクロ \前書は定形の前書きを上書きする。

```

1112 \@namedef{前書}#1{\def\TMP{#1}\ifx\TMP\empty\else\gdef\@OverPref{#1}\fi}%

```

16.8 議案本体

議案・議事録の表題は \act, \subact, \subsubact によって記述される。また提案者の有無によりその動作が異なる。 \act, \subact, \subsubact は各々 \section,

\subsection, \susubsection に対応するオプションの[]により提案者が設定される

16.8.1 議案等のトップレベル \act

議案・決議・議事録等のトップレベルの項目である。表記を提案者の有無により表記の振り分け処理を行う。提案者がいない場合は \@actn, 提案者がいる場合は \@act である。振り分けは提案者を記述するオプションの[]の存在である。

16.8.2 オプションによる振り分け

```
\act
1113 \def\act{\@ifnextchar[\@act\@actn}%
```

16.8.3 提案者の無い議案

\@actn 提案者が記載されていないトップレベルの議案である

```
1114 \def\@actn#1{%
1115   \refstepcounter{section}%
1116   \par\vspace{2zh}%
1117   {\LARGE\noindent{}第 \arabic{section}号議案 \Zw{1}#1}%
1118   \addcontentsline{toc}{section}%
1119   {\protect{第 \thesection{号議案}\Zw{1}#1\Zw{1}}\dotfill}%
1120   \par\nopagebreak%
1121   \@nameuse{普通議決}%
1122   \Freezefalse}%
```

16.8.4 提案者のある議案

\@act []により提案者が設定されているトップレベルの議案を整形するマクロである

```
1123 \def\@act[#1]#2{%
1124   \refstepcounter{section}%
1125   \par\vspace{2zh}%
1126   {\LARGE\noindent{}{第 \arabic{section}号議案 \Zw{1}#2\hfill}%
1127   \normalfont\normalsize#1}}%
1128   \addcontentsline{toc}{section}%
1129   {\protect{第 \thesection{号議案}\Zw{1}#2\Zw{1}}\dotfill}%
1130   \par\nopagebreak%
1131   \@nameuse{普通議決}%
1132   \Freezefalse}%
```

16.8.5 議題の項目 \subact の設定

2nd レベルの議案の表記に利用するマクロである。

16.8.6 提案者の有無により振り分ける

`\@subact` 提案者の有無により `\@subactn` と `\@subact` に振り分けるマクロである

```
1133 \def\subact{\@ifnextchar[\@subact\@subactn}%
```

16.8.7 項目に提案者の無い議案

`\@subactn` 提案者が記述されていない 2nd レベルの議案を整形するマクロである

```
1134 \def\@subactn#1{%
1135   \refstepcounter{subsection}%
1136   \par\vspace{1zh}%
1137   {\Large\noindent{}\thesubsection\Zw{1}#1}%
1138   \par\nopagebreak}%
```

16.8.8 項目に提案者のある議案

`\@subact` 提案者が記述されている 2nd レベルの議案を整形するマクロである

```
1139 \def\@subact[#1]#2{%
1140   \refstepcounter{subsection}%
1141   \par\vspace{1zh}%
1142   {\Large\noindent{}\thesubsection\Zw{1}#2\hfill%
1143    \normalfont\normalsize#1}}%
1144   \par\nopagebreak}%
```

16.8.9 議案の最下位レベルの項目である `\subsubact` の設定

3rd レベルの議案の表記に利用するマクロである.

16.8.10 オプションにより切り替える

`\subsubact` 提案者の有無により `\@subsubactn` と `\@subsubact` に振り分けるマクロである

```
1145 \def\subsubact{\@ifnextchar[\@subsubact\@subsubactn}%
```

16.8.11 提案者の無い議案

`\@subsubactn` 提案者が記述されていない 3rd レベルの議案を整形するマクロである

```
1146 \def\@subsubactn#1{%
1147   \refstepcounter{subsubsection}%
1148   \par\vspace{1zh}%
1149   {\large\noindent{}\thesubsubsection\Zw{1}#1}%
1150   \par\nopagebreak}%
```

16.8.12 提案者のある議案

\@subsubact 提案者が記述されている 3rd レベルの議案を整形するマクロである

```
1151 \def\@subsubact[#1]#2{%
1152   \refstepcounter{subsubsection}%
1153   \par\vspace{1zh}%
1154   {\Large\noindent}{\thesubsubsection\Zw{1}#2\hfill%
1155     \normalfont\normalsize#1}}%
1156   \par\nopagebreak}%
```

16.9 議論の内容の記述環境

Decide 議決結果を記述する前に議論の内容を補足する記述する環境を定義する.

```
1157 \newenvironment{Decide}{\bgroup\DecideStart}{\egroup\DecideEnd}%
1158 \def\DecideStart{%
1159   \large%
1160   \ifLetter%
1161   \else%
1162     \par\noindent%
1163   \fi%
1164 }%
1165 \def\DecideEnd{%
1166   \ifLetter%
1167     \TailB%
1168   \else%
1169     \ifACT%議事録
1170       \par\large%
1171       本議案に対し慎重審議の後、議長 \@Chair は採決をおこなった.\%
1172       \TailA%
1173       \TailB%
1174     \else%議案書
1175       \mbox{}\TailA%
1176     \fi%
1177   \fi%
1178 }%

1179 \long\def\PostDecide#1{\mbox{}\TailA%#1}%
```

会議のの種類による分類

```
1180 \def\TailA{%
1181   \ifnum\@Resolution=0%普通議決
1182     \ifnum\@MeetingType=0%総会
1183       \Majority{\@Quorum}{\@NoRP}%
1184     \fi%
1185     \ifnum\@MeetingType=1%理事会
1186       \Majority{\@Quorum}{\@NoDP}%
1187     \fi%
1188     \ifnum\@MeetingType=2%常任委員会
1189       \@Resolution=7%
```

```

1190     \fi%
1191     \ifnum \@MeetingType=3%委員会
1192         \Majority{@Quorum}{@NoCP}%
1193     \fi%
1194 \fi%
1195 \ifnum \@Resolution=1%特別議決（総会）
1196 %GTorGE
1197     \@Quorum=\@NoRP%
1198     \multiply \@Quorum by 2%
1199     \advance \@Quorum by 2%
1200     \divide \@Quorum by 3%
1201     本議案は法定の加重議決に相当するため可決には総代表会員 \the \@NoRSu の%
1202     4 分の 3 以上の \the \@Quorum 名の賛成が必要である.%
1203 \fi%
1204 \ifnum \@Resolution=2%加重議決（総会）
1205 %GTorGE
1206     \@Quorum=\@NoRSu%
1207     \multiply \@Quorum by 3%
1208     \advance \@Quorum by 3%
1209     \divide \@Quorum by 4%
1210     本議案は法定の加重議決に相当するため可決には総代表会員 \the \@NoRSu の%
1211     4 分の 3 以上の \the \@Quorum 名の賛成が必要である.%
1212 \fi%
1213 \ifnum \@Resolution=3%みなし議決（総会）
1214     本議案はみなし議決であるため全代表会員の同意と監事の停止権の発動が%
1215     ないことが可決の条件である.%
1216 \fi%
1217 \ifnum \@Resolution=4%決議省略（理事会）
1218     本議案は決議省略であるため全理事の同意と監事の停止権の発動がないこと%
1219     が可決の条件である.%
1220 \fi%
1221 \ifnum \@Resolution=5%代表議決（総会）
1222 %GTorGE
1223     \@Quorum=\@NoRP%
1224     \multiply \@Quorum by 2%
1225     \advance \@Quorum by 2%
1226     \divide \@Quorum by 3%
1227     本議案は、代表会員選出議決であるため可決には出席代表会員 \the \@NoRP%
1228     の 3 分の 2 以上の \the \@Quorum 名の賛成が必要である.%
1229 \fi%
1230 \ifnum \@Resolution=6%名誉議決（総会）
1231     \ifACT%
1232         \@Quorum=\@NoRP%
1233         \multiply \@Quorum by 2%
1234         \advance \@Quorum by 2%
1235         \divide \@Quorum by 3%
1236     本議案は、名誉議決であるため可決には出席代表会員 \the \@NoRP の 3 分の 2
    以上%
1237     の \the \@Quorum 名の賛成が必要である.%
1238     \else%

```

```

1239      本議案は、名誉議決であるため可決には出席代表会員の 3 分の 2 以上の%
1240      賛成が必要である.%
1241      \fi%
1242  \fi%
1243 }%

      議案の終了を記述する.
1244 \def\TailB{%
1245 % 議案の終語である
1246 \ifLetter%
1247 \else%
1248 \Large%
1249 \\\ 投票の結果,%
1250 \ifnum\@MeetingType=2%常任委員会
1251 \advance \@aye by \@ayeB%
1252 \advance \@absention by \@absentionB%
1253 \advance \@against by \@againstB%
1254 常任委員の賛否は%
1255 賛成 \the\@aye 票 棄権 \the\@absention 票 反対 \the\@against 票である.%
1256 理事常任委員の賛否は賛成 \the\@ayeB 票 棄権 \the\@absentionB 票%
1257 反対 \the\@againstB 票 である.\.%
1258 \SWfalse%
1259 \ifnum\@aye=\@NoJP%
1260 よって満場一致で議案は可決された.%
1261 \SWtrue%
1262 \fi%
1263 \ifnum\@aye<\@NoJP%
1264 過半数の賛成が得なかったため議案は否決された.%
1265 \SWtrue%
1266 \else%
1267 出席委員の過半数 \the\@NoJP 票は得られた.%
1268 \ifnum\@ayeB<\@NoDM%
1269 出席理事常任委員の過半数 \the\@NoDM 票が得られないため議案は%
1270 否決された.%
1271 \SWtrue%
1272 \else%
1273 また出席理事常任委員の過半数以上の \the\@ayeB 票が得られたため%
1274 議案は可決された.%
1275 \SWtrue%
1276 \fi%
1277 \fi%
1278 \ifSW%
1279 \ifFreeze%
1280 \\\ 監事により議決の効力の停止が宣言されたため次に開催される理事会まで%
1281 議決の効力は停止された.%
1282 \fi%
1283 \fi%
1284 \else%常任委員会以外
1285 \ifnum\@aye>0 賛成 \the\@aye 票 \fi%
1286 \ifnum\@absention>0 棄権 \the\@absention 票 \fi%

```

```

1287     \ifnum\@against>0 反対 \the\@against 票 \fi%
1288     である.%
1289     \fi%
1290 \fi%
1291 \ifcase\@Resolution%
1292 % 普通議決 \@Resolution=0
1293 \ifcase\@MeetingType%
1294 %\@Meetingtype=0 総会%
1295 \ifLetter%
1296     \ifnum\@NoRSu=\@aye%
1297     代表会員の人数は \the\@NoRSu{}である．賛成の書面が \the\@aye%
1298     通提出された．よって議案は満場一致で可決と決した.%
1299     \else%
1300     賛成票が満場一致とならないため議案は否決された.%
1301     \fi%
1302 \else%
1303     \ifnum\@NoRP=\@aye%
1304     よって議案は満場一致で可決と決した.%
1305     \else\ifnum\@Quorum>\@aye%
1306     賛成票が可決に必要な票数に達しないため本議案は否決と決した.%
1307     \else%
1308     賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した.%
1309     \fi\fi%
1310 \fi%
1311 \or%
1312 %\@Meetingtype=1 理事会
1313 \ifnum\@NoDP=\@aye%
1314     よって議案は満場一致で可決と決した.%
1315 \else\ifnum\@Quorum>\@aye%
1316     賛成票が可決に必要な票数に達しないため本議案は否決と決した.%
1317     \else%
1318     賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した.%
1319     \fi\fi%
1320 \or%
1321 %\@Meetingtype=2 常任委員会
1322 \or%
1323 %\@Meetingtype=3 委員会
1324 \ifnum\@NoCP=\@aye%
1325     よって議案は満場一致で可決と決した.%
1326 \else\ifnum\@Quorum>\@aye%
1327     賛成票が可決に必要な票数に達しないため本議案は否決と決した.%
1328     \else%
1329     賛成票が可決に必要な票数を上回っており議案は可決と決した.%
1330     \fi\fi%
1331 \else%
1332 \fi%
1333 \or%
1334 % 特別議決（総会） \@Resolution=1
1335 \ifnum\@Quorum=\@aye%
1336     よって議案は満場一致で可決と決した.%

```

```

1337 \else\ifnum\@Quorum>\@aye%
1338 本議案は否決された.%
1339 \else%
1340 よって本議案は可決された.%
1341 \fi\fi%
1342 \or%
1343 % 加重議決（総会） \@Resolution=2
1344 \ifnum\@Quorum=\@aye%
1345 よって議案は満場一致で可決と決した.%
1346 \else\ifnum\@Quorum>\@aye%
1347 本議案は否決された.%
1348 \else%
1349 本議案は可決された.%
1350 \fi\fi%
1351 \or%
1352 % みなし議決（総会） \@Resolution=3
1353 \ifnum\@Seat=\@aye%
1354 賛成票が全代表会員 \the\@Seat 票となった.%
1355 \ifFreeze しかし監事%\@FreezeM%
1356 による議決の停止が宣言されたため%
1357 本議決の効力は停止された.%
1358 \else%
1359 監事による議決の停止の申立てもなく、本議案は可決された.%
1360 \fi%
1361 \else%
1362 議案は否決された.%
1363 \fi%
1364 \or%
1365 % 決議省略（理事会） \@Resolution=4
1366 \ifnum\@NoDSu=\@aye%
1367 全理事 \the\@NoDSu 名が賛成となり%
1368 \ifFreeze しかし監事%\@FreezeM%
1369 による議決の停止が宣言されたため本議決の効力は停止された.%
1370 \else%
1371 監事による議決の停止の申立てもなく、本議案は満場一致で可決された.%
1372 \fi%
1373 \else%
1374 議案は否決された.%
1375 \fi%
1376 \or%
1377 % 代表議決（総会） \@Resolution=5
1378 \ifnum\@aye=\@Quorum%
1379 よって議案は満場一致で可決された.%
1380 \else\ifnum\@aye<\@Quorum%
1381 議案は否決された.%
1382 \else%
1383 議案は可決された.%
1384 \fi\fi%
1385 \or%
1386 % 名誉議決（総会） \@Resolution=6

```

```

1387 \ifnum\@aye=\@Quorum%
1388 よって議案は満場一致で可決された.%
1389 \else\ifnum\@aye<\@Quorum%
1390 議案は否決された.%
1391 \else%
1392 議案は可決された.%
1393 \fi\fi%
1394 \or%
1395 % 常任委員会議決（常任委員会）\@Resolution=7
1396 \else%
1397 \fi%
1398 }%

```

16.10 議事録の全役員記名リスト印刷

`\AllOfficerKimei` 議事録の最後に議事録が適正であることを示すため、全役員が記名押印する。このマクロは総会の見なし議決と理事会の決議省略に使われる。

第1引数は開催日、第2引数は会議名称

```

1399 \def\AllOfficerKimei#1#2{%
1400 \Large%
1401 \hfill\parbox{20zw}{\hfil#1\hfill}\\
1402 \hfill\parbox{20zw}{\hfil\@nameuse{社団}\hfill}\\
1403 \hfill\parbox{20zw}{\hfil#2\hfill}\\mbox{}\\
1404 \hfill%
1405 \parbox{10zw}{議長・\@PostName\hfill}\parbox{6zw}{\@Chair\hfill}%
1406 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1407 \ifnum\@NoDSu>0%
1408 \@for\T:=\AllDList\do{%
1409 \ifthenelse{\equal\T\@Chair}{\fi%
1410 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1411 \parbox{10zw}{\@nameuse{理事職}\hfill}\parbox{6zw}{\T\hfill}%
1412 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1413 }%
1414 }
1415 \fi%
1416 \ifnum\@NoAP>0%
1417 \@for\T:=\ListAP\do{%
1418 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1419 \hfill%
1420 \parbox{10zw}{\@nameuse{監事職}\hfill}\parbox{6zw}{\T\hfill}%
1421 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1422 }
1423 \fi%
1424 \ifx\@Clerk\empty\else%
1425 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1426 \hfill%
1427 \parbox{10zw}{議事録作成者・\@ClerkPost\hfill}%
1428 \parbox{6zw}{\@ClerkName\hfill}%

```

```

1429      \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\%
1430  \fi%
1431 }%

```

16.11 議事録の理事・監事リスト印刷

\OfficerKimeiWithA 議事録の最後に議事録が適正であることを示すため、会議出席の理事、監事が記名押印をする。このマクロは、総会（見なし議決以外）、理事会（議決省略以外）、常任委員会の議事録に使われる。

第 1 引数は開催日、第 2 引数は会議名称

```

1432 \def\OfficerKimeiWithA#1#2{%
1433   \Large%
1434   \hfill\parbox{20zw}{\hfil#1\hfill}\%
1435   \hfill\parbox{20zw}{\hfil\@nameuse{社団}\hfill}\%
1436   \hfill\parbox{20zw}{\hfil#2\hfill}\%
1437   \hfill%
1438   \parbox{10zw}{議長・\@PostName\hfill}\parbox{6zw}{\@Chair\hfill}%
1439   \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\%
1440   \ifnum\@NoDP>0%
1441     \@for\T:=\ListDP\do{%
1442       \ifthenelse{\equal{T\@Chair}}{%
1443         \ifPDS\mbox{}\mbox{}\fi
1444         \hfill%
1445         \parbox{10zw}{\@nameuse{理事職}\hfill}\parbox{6zw}{T\hfill}%
1446         \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\%
1447       }
1448     }
1449   \fi%
1450   \ifnum\@NoAP>0%
1451     \@for\T:=\ListAP\do{%
1452       \ifPDS\mbox{}\mbox{}\fi
1453       \hfill%
1454       \parbox{10zw}{\@nameuse{監事職}\hfill}\parbox{6zw}{T\hfill}%
1455       \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\%
1456     }
1457   \fi%
1458   \ifx\@Clerk\empty\else%
1459     \ifPDS\mbox{}\mbox{}\fi
1460     \hfill%
1461     \parbox{10zw}{議事録作成者・\@ClerkPost\hfill}%
1462     \parbox{6zw}{\@ClerkName\hfill}%
1463     \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\%
1464   \fi%
1465 }%

```

16.12 理事会議事録記名リスト印刷

\ChairAndOther 議事録の最後に議事録が適正であることを示すため、定款 51 条により「出席した会長及び監事はこれに署名または記名・押印」する。第 1 引数は開催日、第 2 引数は会議名称

```
1466 \def\KimeiVar#1#2{%
1467   \Large%
1468   \hfill\parbox{20zw}{\hfil#1\hfill}\\
1469   \hfill\parbox{20zw}{\hfil\@nameuse{社団}\hfill}\\
1470   \hfill\parbox{20zw}{\hfil#2\hfill}\\mbox{}\\
1471   \hfill%
1472   \parbox{10zw}{議長・\@PostName\hfill}\parbox{6zw}{\@Chair\hfill}%
1473   \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1474   \ifnum\@NoAP>0%
1475     \@for\T:=\ListAP\do{%
1476       \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1477       \hfill%
1478       \parbox{10zw}{\@nameuse{監事職}\hfill}\parbox{6zw}{\T\hfill}%
1479       \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1480     }
1481   \fi%
1482   \ifPropose%
1483     \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1484     \hfill%
1485     \parbox{10zw}{提案者・\@Rank\hfill}%
1486     \parbox{6zw}{\@Proposer\hfill}%
1487     \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1488   \fi%
1489   \ifx\@Clerk\empty\else%
1490     \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1491     \hfill%
1492     \parbox{10zw}{議事録作成者・\@ClerkPost\hfill}%
1493     \parbox{6zw}{\@ClerkName\hfill}%
1494     \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1495   \fi%
1496 }%
```

16.13 議事録の理事記名リスト印刷

\OfficerKimeiVar 議事録の最後に議事録が適正であることを示すため、会議出席の理事、監事が記名押印をする。このマクロは、総会（見なし議決以外）、理事会（議決省略以外）、常任委員会の議事録に使われる。

第 1 引数は開催日、第 2 引数は会議名称

```
1497 \def\OfficerKimeiVar#1#2{%
1498   \Large%
1499   \hfill\parbox{20zw}{\hfil#1\hfill}\\
1500   \hfill\parbox{20zw}{\hfil\@nameuse{社団}\hfill}\\
```

```

1501 \hfill\parbox{20zw}{\hfil#2\hfill}\\mbox{}\\
1502 \hfill%
1503 \parbox{10zw}{議長・\@PostName\hfill}\parbox{6zw}{\@Chair\hfill}%
1504 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1505 \ifnum\@NoDP>0%
1506 \@for\T:=\ListDP\do{%
1507 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1508 \hfill%
1509 \parbox{10zw}{\@nameuse{理事職}\hfill}\parbox{6zw}{\T\hfill}%
1510 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1511 }
1512 \fi
1513 \ifx\@Clerk\empty\else%
1514 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1515 \hfill%
1516 \parbox{10zw}{議事録作成者・\@ClerkPost\hfill}%
1517 \parbox{6zw}{\@ClerkName\hfill}%
1518 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1519 \fi%
1520 }%

```

16.14 議事録の記名リスト印刷

\MemberKimei 委員会の出席委員のリストを出力する. 第 1 引数は開催日, 第 2 引数は会議名称

```

1521 \def\MemberKimei#1#2{%
1522 \Large%
1523 \hfill\parbox{20zw}{\hfil#1\hfill}\\
1524 \hfill\parbox{20zw}{\hfil\@nameuse{社団}\hfill}\\
1525 \hfill\parbox{20zw}{\hfil#2\hfill}\\mbox{}\\
1526 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1527 \@ifundefined{@NoCP}{-}{%
1528 \hfill%
1529 \parbox{10zw}{議長・\@PostName\hfill}\parbox{6zw}{\@Chair\hfill}%
1530 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1531 \ifnum\@NoCP>0%
1532 \@for\T:=\ListCP\do{%
1533 \ifx\T\@Chair\else%
1534 \ifPDS\mbox{}\\mbox{}\\fi
1535 \hfill%
1536 \parbox{10zw}{\@nameuse{委員}\hfill}\parbox{6zw}{\T\hfill}%
1537 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}\hfill}\\%
1538 \fi
1539 }%
1540 \fi%
1541 }%
1542 \normalsize%
1543 }%

```

16.14.1 議事録の末尾項目

\Tail 議事録の最終項目の作成マクロである.

```
1544 \long\def\Tail{%議事録議案書の最後の部分
1545   \mbox{\Zw{1}}\%
1546   \ifnum\@MeetingType=0%総会
1547     \ifACT%議事録
1548       \ifLetter%書面会議
1549         上記のとおり、社員総会の決議及び報告の省略を行ったので、%
1550         「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第 58 条第 1 項、第 59 条及び%
1551         同法施行規則第 11 条第 4 項に基づき、本議事録を作成し、議事録作成者が%
1552         記名押印する。\\ \mbox{}\%
1553         \LARGE%
1554         \hfill\hbox to 16zw{\hfill\@FYear 年 \@FMonth 月 \@FDay 日 \hfill}\%
1555         \hfill\hbox to 16zw{\@nameuse{社団}\hfill}%
1556         \Dskip%
1557         \hfill\parbox{20zw}{%
1558           \parbox{10zw}{議事録作成者・\@ClerkPost}%
1559           \parbox{6zw}{\@ClerkName}%
1560           \parbox{3zw}{\@nameuse{印}}\hfill}%
1561       \else%実会議
1562         \ifnum\@Resolution=3%見なし議決
1563           以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し議長、全役員が%
1564           これに記名押印する。\\%
1565           \AllOfficerKimei{\@MeetingDate}{\@MeetingTitle}%
1566       \else%見なし議決以外
1567         議長 \@Chair\Ex は、全ての議事が終了した旨確認し会議の閉会を宣言した。
1568         %
1569         \\%
1570         以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長、出席役員、%
1571         議事録作成者がこれに記名押印する。\\[1cm]
1572         \OfficerKimeiWithA{\@MeetingDate}{\@MeetingTitle}%
1573       \fi
1574     \else%議案書
1575       %議案書には結語は必要ない
1576     \fi%
1577   \else%
1578     \ifnum\@MeetingType=1%理事会
1579       \ifACT%議事録
1580         \ifLetter\relax%決議の省略
1581         \@FYear{}年 \@FMonth{}月 \@FDay{}日全理事より書面による同意書が%
1582         到着し全監事から異議の申し立てがないかった.%
1583         よって当該提案を承認可決する旨の理事会の議決があったものとみなされた.%
1584         \\[1cm]%
1585         以上のとおり、理事会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、%
1586         本議事録を作成し、定款第 51 条に定められた会長及び監事ならびに%
1587         本事項を提案した理事、議事録の作成に係わる職務を行った理事が%
1588         記名押印する。%
```

```

1589         \else%
1590             以上の決議を明確にするため，定款 51 条に従いこの議事録を作成し，%
1591             議長，出席監事，議事録作成者がこれに記名押印する．%
1592         \fi%
1593         \\mbox{}\%
1594         \Kimeivi{\@MeetingDate}{\@MeetingTitle}%
1595     \else%議案書
1596         %議案書に結語は必要ない
1597     \fi%
1598 \else%
1599     \ifnum \@MeetingType=2%常任委員会
1600         \LARGE%
1601         以上の決議を明確にするため，この議事録を作成し，議長，議事録作成者が，%
1602         これに記名押印する．%
1603         \Dskip%
1604         \hfill\hbox to 16zw{\hfill\@FYear 年 \@FMonth 月 \@FDay 日 \hfill}\%
1605         \hfill\hbox to 16zw{\@nameuse{社団}\hfill}%
1606         \Dskip%
1607         \hfill\parbox{21zw}{%
1608             \hbox{\parbox{11zw}{議長}% · \@PostName}%
1609             \parbox{6zw}{\@Chair}%
1610             \parbox{3zw}{\@nameuse{印}}\hfill}%
1611         \Dskip%
1612         \parbox{11zw}{議事録作成者}% · \@ClerkPost}%
1613         \parbox{6zw}{\@ClerkName}%
1614         \parbox{3zw}{\@nameuse{印}}\hfill}%
1615     \else%
1616         \ifnum \@MeetingType=3%一般委員会
1617             \LARGE%
1618             以上の決議を明確にするため，この議事録を作成し，議長，%
1619             議事録作成者がこれに記名押印する．%
1620             \Dskip%
1621             \hfill\hbox to 16zw{\hfill\@FYear 年 \@FMonth 月 \@FDay 日 \hfill}\%
1622             \hfill\hbox to 16zw{\@nameuse{社団}\hfill}\[1cm]%
1623             \hfill\parbox{21zw}{%
1624                 \hbox{\parbox{11zw}{議長}% · \@PostName}%
1625                 \parbox{6zw}{\@Chair}%
1626                 \parbox{3zw}{\@nameuse{印}}\hfill}%
1627             \Dskip%
1628             \parbox{11zw}{議事録作成者}% · \@ClerkPost}%
1629             \parbox{6zw}{\@ClerkName}%
1630             \parbox{3zw}{\@nameuse{印}}\hfill}%
1631         \else%
1632             %議案書に結語は必要ない
1633         \fi%
1634     \fi%
1635 \fi%
1636 \fi%
1637 \normalsize%
1638 }%

```

17 書面作成共通事項

17.1 奨励賞受賞通知

\大会名称 奨励賞受賞者への受賞通知の書面作成マクロである。研究発表した大会名称等の設定マクロである

```
1639 \namedef{大会名称}#1{\def\@Taikai{#1}}%
```

\授賞式 奨励賞の授賞式を開催する会合等の名称 (XX 大会, 日付など) 設定マクロである

```
1640 \namedef{授賞式}#1{\def\@Jyushou{#1}}%
```

\Award 受賞通知本体マクロである

```
1641 \def\Award#1#2#3{%
1642 \@nameuse{議事録}%諸元の初期化
1643 \@nameuse{理事会}%理事会の決定である
1644 \@MeetingName%
1645 %\setMeetingTitle%
1646 \large%
1647 \thispagestyle{letterhead}%
1648 \begin{center}\huge\@nameuse{社団}\\%
1649 #1 受賞通知 \end{center}%
1650 \begin{flushleft}\LARGE{#3\Ex{}}殿 \end{flushleft}%
1651 \@nameuse{社団}{ }理事会は \@MeetingDate{ }に開催された \@MeetingTitle%
1652 において, 貴殿の%
1653 \@Taikai{ }における研究発表%
1654 \begin{center}『#2{ }』 \end{center}%
1655 に対し \@nameuse{社団}{ }奨励賞規則第 4 条にもとづき選考の結果, %
1656 \@nameuse{社団}{ }#1{ }を授与することを決定いたしましたので%
1657 通知いたします. %
1658
1659 \begin{itemize}%
1660 \item 受賞式は, \@Jyushou{ }において執り行われます%
1661
1662 \item 受賞発表を論文として本会学会誌もしくは欧文誌に提出できます%
1663 \begin{enumerate}%
1664 \item 受賞発表を論文として数式処理編集委員会に提出した場合, %
1665 本会学会誌『数式処理』に受賞論文として採録されます%
1666 論文提出の期限はありませんが, 早急に提出されることを望みます%
1667
1668 \item 受賞発表を論文として欧文誌編集委員会に提出した場合, %
1669 本会欧文誌『Communications of the Japan Society for Symbolic and Algebraic%
1670 Computation』に受賞論文として採録されます%
1671 論文提出の期限はありませんが, 早急に提出されることを望みます%
1672 \end{enumerate}%
1673 \end{itemize}%
1674 \begin{flushright}\LARGE%
1675 \begin{tabular}{c}%
1676 \@Date\\%
1677 \@nameuse{社団}\\%
```

```

1678     会長 \Ex\@President\Ex\@nameuse{印}%
1679 \end{tabular}%
1680 \end{flushright}%
1681 \pagebreak%
1682 }%

```

17.2 会計監査報告書

Audit 会計監査報告書作成環境である

```

1683 \newenvironment{Audit}{\Large%
1684   \parindent=0pt%
1685   \ifPeriod \gdef\@MeetingTitle{\@KYear 年度定時社員総会}%
1686   \else \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate \@nameuse{社団}臨時社員総会}\fi%
1687   \ifNoTitle%
1688     \vspace*{-10mm}%
1689   \else%
1690     \vspace*{-30mm}%
1691   \fi%
1692   \begin{center}\Huge 会計監査報告書 \end{center}%
1693   \vspace{5mm}%
1694   \begin{flushleft}%
1695     \begin{tabular}{r}%
1696       \@nameuse{社団}\\\\
1697       \@MeetingTitle\Ex 議長 \\\
1698       \@Chair\Ex 殿 \\\
1699     \end{tabular}%
1700   \end{flushleft}%
1701   \vspace*{10mm}%
1702   \@nameuse{社団} 監事%
1703   \SWtrue%
1704   \@for\T:=\ListAP\do{%
1705     \ifSW\else{,}\fi\SWfalse%
1706     \T}%
1707   は、\@Nendo 年度における%
1708   \@nameuse{社団}の経理原票ならびに会計帳簿を精査した結果、%
1709   会計処理が適正であることを \@nameuse{社団}\@MeetingTitle に報告する。 %
1710   \begin{quote}%
1711 }{%
1712   \end{quote}%
1713   \vspace*{10mm}%
1714   \hfill\vbox{%
1715     \hbox to 15zw{\@Date\hfill}%
1716     \hbox to 15zw{\@nameuse{社団}\hfill}%
1717     \@for\T:=\ListAP\do{%
1718       \hbox{}\hbox to 15zw{監事 \Zw{1}\T\hfill\@nameuse{印}}}%
1719   \normalsize%
1720   \pagebreak%
1721 }%

```

17.3 立候補者推薦

\Recommendation 代表会員立候補者推薦状である

```
1722 \long\def\Recommendation#1#2{\Large%
1723 \begin{center}\Huge 立候補者推薦 \end{center}%
1724 \vspace*{10mm}%
1725 \begin{flushleft}%
1726 \begin{tabular}{l}%
1727 \@nameuse{社団}\\\\
1728 選挙管理委員長 #1 殿 \\[10mm]%
1729 \end{tabular}%
1730 \end{flushleft}%
1731 \@nameuse{社団}{ }会長 \@President{ } は、%
1732 代表会員選出規程第 10 条 3 項の規定にもとづき #2 を代表会員立候補者として%
1733 推薦します%
1734
1735 なお、代表会員選出規程第 11 条により、この推薦状が選挙管理委員会に%
1736 提出された時点で立候補したものととなります%
1737
1738 \begin{flushright}%
1739 \begin{tabular}{c}%
1740 \@Date\\[5mm]%
1741 \@nameuse{社団}\\\\[5mm]%
1742 会長 \Zw{1}\@President\Zw{1}\@nameuse{印}%
1743 \end{tabular}%
1744 \end{flushright}%
1745 \normalsize}%

```

17.4 推薦人免除書

\Nominaation 代表会員立候補の推薦人を免除する会長決定書の書面である。

```
1746 \long\def\Nomination#1#2{\Large%
1747 \begin{center}\Huge{}推薦人免除書 \end{center}%
1748 \vspace*{10mm}%
1749 \begin{flushleft}%
1750 \begin{tabular}{l}%
1751 \@nameuse{社団}\\\\
1752 選挙管理委員長 #1 殿 \\[10mm]%
1753 \end{tabular}%
1754 \end{flushleft}%
1755 \@nameuse{社団}{ }会長 \@President{ } は、#2 に対し%
1756 代表会員選出規程第 11 条 2 項の 2 による推薦人免除書を提出いたします%
1757
1758 なおこの書面をもって会長が立候補者に交付する推薦人免除書といたします%
1759 \begin{flushright}%
1760 \begin{tabular}{c}%
1761 \@Date\\[5mm]%
1762 \@nameuse{社団}\\\\[5mm]%
1763 会長 \Zw{1}\@President\Zw{1}\@nameuse{印}%

```

```

1764 \end{tabular}%
1765 \end{flushright}%
1766 \normalsize}%

```

17.5 委任状

`\Commission` 総会に大して代表会員が発給する委任状である。この委任状は総会のための機能である。

```

1767 \long\def\Commission#1#2{\Large%
1768 \parindent=0pt%
1769 \ifPeriod \gdef\@MeetingTitle{\@KYear 年度 \ 定時社員総会}%
1770 \else \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate 臨時社員総会}\fi%
1771 \ifNoTitle%
1772 \vspace*{-10mm}%
1773 \else%
1774 \vspace*{-30mm}%
1775 \fi%
1776 \begin{center}\Huge 委任状 \end{center}%
1777 \vspace{5mm}%
1778 \begin{tabular}{l}%
1779 \@nameuse{社団} \\\%
1780 \@MeetingTitle\Ex 議長 \\\%
1781 \@Chair\Ex 殿 \\\%
1782 \end{tabular}%
1783 \vspace*{10mm}%
1784
1785 私儀, \@MeetingDate{}に開催される \@nameuse{社団}\@MeetingTitle%
1786 を都合により欠席いたします%
1787
1788 なお当該総会における一切の議決の行使を#2 に一任いたします%
1789 \vspace*{1cm}%
1790 \begin{flushright}%
1791 \begin{tabular}{c}%
1792 \@Date\ \[5mm]%
1793 \@nameuse{社団}\ \[5mm]%
1794 代表会員 \Zw{1}#1\Zw{1}\@nameuse{印}%
1795 \end{tabular}%
1796 \end{flushright}%
1797 \begin{center}%
1798 \end{center}%
1799 \normalsize}%

```

17.6 書面評決

`\Vote` 総会における代表会員からの書面評決書面評決個々のアイテム用マクロ

```

1800 \def\vote#1{%
1801 \makebox[10cm]{第 \arabic{Jyousuu}号議案 #1}\%
1802 \refstepcounter{Jyousuu}%
1803 }

```

\Vote 書面評決の前書きと後書き用マクロ

```
1804 \newenvironment{Vote}{\Large%
1805 \parindent=0pt%
1806 \ifPeriod \gdef\@MeetingTitle{\@KYear 年度定時社員総会}%
1807 \else \gdef\@MeetingTitle{\@MeetingDate 臨時社員総会}\fi%
1808 \ifNoTitle%
1809 \vspace*{-10mm}%
1810 \else%
1811 \vspace*{-30mm}%
1812 \fi%
1813 \begin{center}\Huge 書面評決 \end{center}%
1814 \vspace{5mm}%
1815 \begin{flushleft}%
1816 \begin{tabular}{l}%
1817 \@nameuse{社団}\\%
1818 \@MeetingTitle\Ex 議長 \\%
1819 \@Chair\Ex 殿 \\%
1820 \end{tabular}%
1821 \end{flushleft}%
1822 \vspace*{10mm}%
1823 \@MeetingDate{}に開催される \@MeetingTitle{}における議決の行使を%
1824 下記のように指示いたします%
1825 \setcounter{Jyousuu}{1}%
1826 \begin{center}%
1827 }{%
1828 \end{center}%
1829 \vspace*{1cm}%
1830 \begin{flushright}%
1831 \begin{tabular}{c}%
1832 \@Date\\[5mm]%
1833 \@nameuse{社団}\\[5mm]%
1834 代表会員 \Zw{2}\@SEI \@MEI \hfill\@nameuse{印}\\%
1835 \end{tabular}%
1836 \end{flushright}%
1837 \normalsize}%

```

18 就任依頼状

18.1 就任依頼状関連マクロ

18.1.1 就任依頼状マクロ

\書面番号 学会の役職に就任を依頼する書面である。学会が発行する書面の番号である通番の

\機関名称 前に期番号が付与された番号である

\委託期間 1838 \@namedef{書面番号}#1{\gdef\@NoPaper{\@KI#1}}

1839 \@namedef{機関名称}#1{\gdef\@NameOrg{#1}}

1840 \@namedef{委託期間}#1#2{\gdef\@FM{#1}\gdef\@TO{#2}}

18.1.2 委員等委嘱承諾依頼書対象職位と氏名

\職位氏名 選任された人の職位と氏名の設定\職位と氏名\@FullN を取りまとめて設定する
1841 \@namedef{職位氏名}#1#2{\gdef\@ReqPostName{#1}\gdef\@FullN{#2}}%

18.1.3 選任された役職名

\学会役 選任された役職名を設定するマクロ
\@Yaku 1842 \@namedef{学会役}#1{\gdef\@Yaku{#1}}%

18.1.4 被選任者

\所属名
1843 \expandafter\def\csname 所属名\endcsname#1{\gdef\@Office{#1}}%

\尊称
1844 \expandafter\def\csname 尊称\endcsname#1{\gdef\@CALL{#1}}%

\自名
\@SelfCall 1845 \expandafter\def\csname 自名\endcsname#1{\gdef\@SelfCall{#1}}%

\報酬
1846 \@namedef{報酬}{\gdef\@Fee{無報酬}}%

18.1.5 任期中の会議回数

1847 \@namedef{会議数}#1{\gdef\@NoM{#1}}%

18.1.6 1回の会議時間

\時間数 選任された役職の必要な時間数を設定する
\@Ttime 1848 \@namedef{時間数}#1{\gdef\@Ttime{#1}}%

18.1.7 被選任者の職位

\職位 選任された人の職位を記述する(教授, 主幹研究員とか)
\@ReqPostName 1849 \@namedef{職位}#1{\gdef\@ReqPostName{#1}}%

18.1.8 被選任者の氏名

\氏名 氏名をそれぞれ\@FullN, \@SEI, \@MEI に設定するマクロである
\@FullN 1850 \@namedef{氏名}#1#2{\gdef\@FullN{#1#2}\gdef\@SEI{#1}\gdef\@MEI{#2}}%

\@SEI 氏名の読みをローマ字により設定する. \@EFullN, \@ESEI, \@EMEI に設定するマ
\@MEI クロである

\氏名読み 1851 \@namedef{氏名読み}#1#2{\gdef\@EFullN{#1#2}\gdef\@ESEI{#1}\gdef\@EMEI{#2}}%

18.1.9 上長職名

\上長職 上司の職名である.

```
\@Post 1852 \expandafter\def\csname 上長職 \endcsname#1{\gdef\@Post{#1}}%
```

18.1.10 上長氏名

\上長名

```
\@senior 1853 \expandafter\def\csname 上長名 \endcsname#1{\gdef\@senior{#1}}%
```

18.1.11 就任依頼状本体

就任依頼状本体である.

```
1854 \@namedef{就任依頼状}{%
1855   \hfill No.\@NoPaper\\\hfill \@Date%
1856   \begin{center}\Huge 委員等就任依頼書 \end{center}%
1857   \Large
1858   \begin{tabular}{ll}%
1859     \begin{minipage}[b]{60mm}%
1860       \@NameOrg\\\@Post\\\@senior\Ex 殿%
1861     \end{minipage}%
1862     &%
1863     \begin{minipage}{70mm}%
1864       \@nameuse{社団}\\\
1865       \@PostName\Zw{1}\@Issue\\[1ex]%
1866       〒 \ZIP\\ADDRESSA\\ADDRESSB\\
1867     \end{minipage}%
1868   \end{tabular}%
1869   %
1870   下記のとおり, \@CALL\Ex\@ReqPostName%
1871   \Ex\@FullN\Ex{}氏に \@nameuse{社団}\Ex%
1872   \@Yaku\Ex を委嘱いたしたく, 委嘱について承諾を依頼します. \\%
1873   御承諾の際は, お手数ながら同封の就任承諾書に必要事項を%
1874   記載の上御送付ください. \\%
1875   なお, このことについては本人にも別途依頼しております. %
1876   \begin{longtable}{ll}%
1877     委員名等&\parbox{90mm}{\@Yaku}\medskip\\%
1878     委嘱する方の所属&\parbox{90mm}{\@Office}\\%
1879     委嘱する方の氏名&\@ReqPostName\Ex\@FullN\\%
1880     委嘱期間&\@FM ~ \@TO\\%
1881     会議等の開催回数&\@NoM 回程度 \\%
1882     開催時間数 (1 回)&\@Ttime 時間 \\%
1883     報酬の有無&\@Fee%
1884   \end{longtable}%
1885 }%
```

18.2 就任承諾書

\ 就任承諾書 法人等の承諾書である.

```
1886 \@namedef{就任承諾書}{%
1887   \Large%
1888   \begin{center}\Huge 就任承諾書 \vspace{1cm}\end{center}%
1889   \@nameuse{社団}\%
1890   \@PostName\Zw{1}\@Issue\Zw{1}殿%
1891   \vspace{2cm}\%
1892   \@SelfCall\Ex\@ReqPostName\Ex\@FullN\Ex が \@nameuse{社団}\Ex\@Yaku\Ex に
%
1893   就任することを承諾致します. \[1cm]
1894   \hspace*{5cm}年 \hspace{2cm}月 \hspace{2cm}日 \[2cm]%
1895   \begin{flushright}%
1896     \underline{\makebox [7cm]{} }\[2cm]%
1897     \underline{\makebox [7cm]{\hfill \@nameuse{印}}}%
1898   \end{flushright}%
1899 }%
```

18.3 就任同意書

学会の役職に選任された場合の同意書の雛形である. 同意書は, 事前承諾か事後承諾かによって表示の文言が変化する.

```
1900 \@namedef{事前承諾}{\Pretrue}%

\ 事後承諾
1901 \@namedef{事後承諾}{\Prefalse}%

\ifDateShow 就任決定会議の日付を表示するかいなかを表す.
1902 \@namenewif{ifDateShow}\DateShowfalse%

\ 会議日表示 \ 会議日表示は停止条件付き就任承諾書の会議日の表示をするように設定する
1903 \@namedef{会議日表示}{\DateShowtrue}%

\ 非会議日表示 \ 非会議日表示は停止条件付き就任承諾書の会議日の表示をしないように設定する
1904 \@namedef{会議日非表示}{\DateShowfalse}%
1905 \@namedef{非会議日表示}{\DateShowfalse}%

\ 会議日非表示 旧版の \ 会議日非表示を \ 非会議日表示と同様に定義して互換性を保存する
1906 \@namedef{会議日非表示}\@nameuse{\DateShowfalse}%
1907 \@namedef{非会議日表示}\@nameuse{\DateShowfalse}%

\ 就任同意書 学会の役職の就任同意書である
1908 \@namedef{就任同意書}#1#2{%
1909   %\setMeetingTitle%
1910   \@MeetingName%
1911   \begin{center}\Huge{}就任同意書 \[20mm]\end{center}%
1912   \LARGE%
1913   私は, \ifDateShow%
```

```

1914 \@MeetingDate に \ifPre{開催される}\else{開催された}\fi%
1915 \@MeetingTitle において \@nameuse{社団}の \@Yaku に%
1916 \ifPre{選任された際には,}\else{選任されましたので,}\fi\fi%
1917 その就任を同意します. \\\[20mm]%
1918 \@Date%
1919 \begin{flushright}%
1920   \begin{tabular}{l}%
1921     \hfill{}\#2\\\[5mm]%
1922     \hfill{}\#1\Zw{2}\@nameuse{印}\Zw{2}\\\[5mm]%
1923   \end{tabular}%
1924 \end{flushright}%
1925 \@nameuse{社団}\Ex{}御中%
1926 }%

```

18.4 著作権譲渡契約書

\@TopE 著作権譲渡契約書の雛形である.

著者代表者を求めるマクロである. リスト先頭を取得しそれを代表者とする. 代表者氏名を \@TopName に格納し, その所属先を \@TopEm に格納する

```

1927 \def\@TopE#1,#2;{\xdef\@TopEm{#1}\xdef\@TopName{#2}}

```

\@TopMem リスト先頭を切り取るマクロである

```

1928 \def\@TopMem#1,#2;{\@TopE#1;}

```

\Transfer 著作権譲渡契約書の本体部分である

```

1929 \long\def\Transfer#1#2#3{%
1930 \thispagestyle{letterhead}%
1931 \large%
1932 \@TopMem#2;%
1933 \begin{center}\Huge\bf{}著作権譲渡契約書 \end{center}%
1934 \@nameuse{社団}{}著作権規定第 3 条の定めにより%
1935 以下に記す論文等の著作権を貴学会に移譲することを承諾します. %
1936 \begin{center}\Large%
1937 \begin{tabular}{|c|c|}\hline%
1938 表題&\parbox{100mm}{#1}\\\hline%
1939 著者代表者氏名&\parbox{100mm}{\@TopName}\\\hline%
1940 著者代表者所属&\parbox{100mm}{\@TopEm}\\\hline%
1941 学会誌名&\parbox{100mm}{#3}\\\hline%
1942 \end{tabular}\end{center}\mbox{}\\%
1943 署名 (複数の場合, 全員分を記載するか, 全員から権限を委任された代表者)%
1944 \begin{center}\huge\begin{tabular}{cc}%
1945 代表者住所:&\underline{\hspace*{100mm}}\\%
1946 &\underline{\hspace*{100mm}}%
1947 \end{tabular}%
1948 \end{center}%
1949 \mbox{}\\\[5mm]%
1950 \vbox{\Large%
1951 \hbox{%
1952   \hbox to 8zw{\hfill}所 属 \hfill}\hbox to 8zw{\hfill}氏 名 \hfill}%

```

```

1953 \hbox to 12zw{\hfill{}署名\hfill{}}\hbox{}%
1954 \@for\T:=#2\do{\hbox{}%
1955 \@for\I:=\T\do{\xdef\@Se{\I}\hbox to 8zw{\@Se\hfill}}}%
1956 \hbox to 12zw{\underline{\hspace*{12zw}}}\hbox{}}}%
1957 \[5mm]
1958 \hfill{}年\hspace{2zw}月\hspace{2zw}日%
1959 \normalsize}%

```

18.4.1 入会申込書

入会申込書作成マクロ群である

18.4.2 分岐の if の定義

\ifKHOME 申込書の振り分けの if の定義である原則初期値は \false である

```

\ifKORG 1960 \@namenewif{\ifKHOME}\KHOMEfalse%連絡先が自宅の場合 true である
\ifSeiK 1961 \@namenewif{\ifKORG}\KORGfalse%連絡先が所属先の場合 true である
1962 \@namenewif{\ifSeiK}\SeiKtrue%会員種別が正会員の場合 true である
\ifGaku 1963 \@namenewif{\ifGaku}\Gakufalse%会員種別が学生会員の場合 true である
\ifDSC 1964 \@namenewif{\ifDSC}\DSCfalse%取得している学位が理学である
1965 \@namenewif{\ifEng}\Engfalse%取得している学位が工学である
\ifEng 1966 \@namenewif{\ifPhD}\PhDfalse%取得している学位が PhD である
\ifPhD 1967 \@namenewif{\ifDCT}\DCTfalse%取得している学位がその他の学位である
\ifDCT

```

18.4.3 会員種別

会員の種別 (正会員, 学生会員) を設定するためのマクロである各々独立している

\正会員 ため正会員かつ学生会員のような矛盾した状態も設定できる正会員の種別を表す

\ifSeiK を true に設定する

```

1968 \@namedef{正会員}{\SeiKtrue}%

```

\学生会員 学生会員の状態を表す \ifGaku を true に設定する

```

1969 \@namedef{学生会員}{\Gakuttrue}%

```

18.4.4 連絡先

学会より郵便物などを送付するときにはどの住所に送るかを設定する送り先は自宅か所属先のどちらかであるが, データ構造として独立しているため両方であることも

\自宅 また両方とも設定しないことも可能である連絡先を自宅に設定するマクロである

```

1970 \@namedef{自宅宛}{\KHOMEtrue}%

```

\所属先 連絡先を所属先と設定するマクロである

```

1971 \@namedef{所属先}{\KORGtrue}%

```

18.4.5 自宅住所設定

\自宅住所 自宅の住所を一括して定義するマクロである。引数の意味は次の通りである

\@ZIP	第 1 引数	郵便番号	\ZIP
\@CITY	第 2 引数	市名	\CITY
\@TWN	第 3 引数	町名	\TWN
\@SAI	第 4 引数	細分	\SAI

```
1972 \@namedef{自宅住所}#1#2#3#4{
1973   \def\@ZIP{#1}\def\@CITY{#2}\def\@TWN{#3}\def\@SAI{#4}}%
```

18.4.6 所属先住所

\所属先住所 所属先住所を一括して定義するマクロである。引数の意味は次の通りである

\@EZIP	第 1 引数	郵便番号	\EZIP
\@ECITY	第 2 引数	市名	\ECITY
\@ETWN	第 3 引数	町名	\ETWN
\@ESAI	第 4 引数	細分	\ESAI

```
1974 \@namedef{所属先住所}#1#2#3#4{
1975   \def\@EZIP{#1}\def\@ECITY{#2}\def\@ETWN{#3}\def\@ESAI{#4}}%
```

18.4.7 所属先名称の設定

\所属先名称 所属先の名称，その部署名を設定するマクロである

```
\@ORG 1976 \@namedef{所属先名称}#1#2{%
\@SHO 1977   \def\@ORG{#1}\def\@SHO{#2}}%
```

18.4.8 電話番号の登録

\自宅電話 自宅の電話番号を設定するマクロである

```
\@HTEL 1978 \@namedef{自宅電話}#1{\def\@HTEL{#1}}%
```

\所属先電話 所属先の電話番号を設定するマクロである

```
\@ETEL 1979 \@namedef{所属先電話}#1{\def\@ETEL{#1}}%
```

18.4.9 役職名の設定

\役職名 所属先の役職名を設定するマクロである

```
\@YAKU 1980 \@namedef{役職名}#1{\def\@YAKU{#1}}%
```

18.4.10 卒業データ

\ 大学 卒業，在学など大学名称，学科などの設定

\@UGN	第 1 引数	名称	\UGN
\@UGFN	第 2 引数	学科名称	\UGFN
\@UGY	第 3 引数	卒業年	\UGY
\@UGM	第 4 引数	卒業月	\UGM
\@UGC	第 5 引数	状態	\UGC

1981 \@namedef{大学}#1#2#3#4#5{%

1982 \def\@UGN{#1}\def\@UGFN{#2}\def\@UGY{#3}\def\@UGM{#4}\def\@UGC{#5}}%

状態は，自由記載であるが通常は卒業，中退，在学などを記述する年，月は数値のみの記述とする

\ 博士前期 終了，在学など大学院名称，専攻などの設定

\@ZMN	第 1 引数	名称	\ZMN
\@ZMFN	第 2 引数	専攻名称	\ZMFN
\@ZMY	第 3 引数	終了年	\ZMY
\@ZMM	第 4 引数	終了月	\ZMM
\@ZMC	第 5 引数	状態	\ZMC

1983 \@namedef{博士前期}#1#2#3#4#5{%

1984 \def\@ZMN{#1}\def\@ZMFN{#2}\def\@ZMY{#3}\def\@ZMM{#4}\def\@ZMC{#5}}%

状態は，自由記載であるが通常は終了，退学，在学などを記述する年，月は数値のみの記述とする

\ 博士後期 終了，在学など大学院名称，専攻などの設定

\@KDN	第 1 引数	名称	\KDN
\@KDFN	第 2 引数	専攻名称	\KDFN
\@KDY	第 3 引数	終了年	\KDY
\@KDM	第 4 引数	終了月	\KDM
\@KDC	第 5 引数	状態	\KDC

1985 \@namedef{博士後期}#1#2#3#4#5{%

1986 \def\@KDN{#1}\def\@KDFN{#2}\def\@KDY{#3}\def\@KDM{#4}\def\@KDC{#5}}%

状態は，自由記載であるが通常は終了，退学，在学などを記述する年，月は数値のみの記述とする

18.4.11 学位

\ 理学 学位の設定である。理学，工学，PhD は別扱いであるその他の学位の場合は\ 博士

により学位名称を設定する内部では if の条件を設定する博士（理学）と理学博士を意味する。内部的には \ifDSC を true に設定する

```
1987 \@namedef{理学}{\DSCtrue}%
```

\工学 博士（工学）と工学博士を意味する。内部的には \ifEng を true に設定する

```
1988 \@namedef{工学}{\Engtrue}%
```

\PhD Ph.D を意味する。内部的には \ifPhD を true に設定する

```
1989 \def\PhD{\PhDtrue}%
```

\博士 博士の状態を表す\ifDCT を true に設定すると同時にマクロ \DCT に学位名称を定義する

```
1990 \@namedef{博士}#1{\DCTtrue\def\DCT{#1}}%
```

18.4.12 紹介者

入 会にあたって必要な紹介者の氏名を記述する

```
1991 \@namedef{紹介者}#1{\def\@Introducer{#1}}%
```

18.4.13 入会申込書の本体部分

\入会申込書 入会申込書は引数をとらず事前に設定したデータを元に整形する

```
1992 \long\@namedef{入会申込書}{%
```

未定義の場合に必要な物を \ で定義する

```
1993 \@ifundefined{FilingDate}{\def\FilingDate{\Zw{2}年\Zw{2}月\Zw{2}日}}{ }%
```

```
1994 \@ifundefined{SEI}{\def\@SEI{}}{ }%
```

```
1995 \@ifundefined{MEI}{\def\@MEI{}}{ }%
```

```
1996 \@ifundefined{ESEI}{\def\@ESEI{}}{ }%
```

```
1997 \@ifundefined{EMEI}{\def\@EMAI{}}{ }%
```

```
1998 \@ifundefined{EMAIL}{\def\@EMAIL{}}{ }%
```

```
1999 \@ifundefined{ZIP}{\def\@ZIP{}}{ }%
```

```
2000 \@ifundefined{CITY}{\def\@CITY{}}{ }%
```

```
2001 \@ifundefined{TWN}{\def\@TWN{}}{ }%
```

```
2002 \@ifundefined{SAI}{\def\@SAI{}}{ }%
```

```
2003 \@ifundefined{HTEL}{\def\@HTEL{}}{ }%
```

```
2004 \@ifundefined{ORG}{\def\@ORG{}}{ }%
```

```
2005 \@ifundefined{SHO}{\def\@SHO{}}{ }%
```

```
2006 \@ifundefined{EZIP}{\def\@EZIP{}}{ }%
```

```
2007 \@ifundefined{ECITY}{\def\@ECITY{}}{ }%
```

```
2008 \@ifundefined{ETWN}{\def\@ETWN{}}{ }%
```

```
2009 \@ifundefined{ESAI}{\def\@ESAI{}}{ }%
```

```
2010 \@ifundefined{ETEL}{\def\@ETEL{}}{ }%
```

```
2011 \@ifundefined{YAKU}{\def\@YAKU{}}{ }%
```

```
2012 \@ifundefined{UGN}{\def\@UGN{}}{ }%
```

```
2013 \@ifundefined{UGFN}{\def\@UGFN{}}{ }%
```

```
2014 \@ifundefined{UGY}{\def\@UGY{\Zw{2}}}{ }%
```

```
2015 \@ifundefined{UGM}{\def\@UGM{\Zw{2}}}{ }%
```

```

2016 \ifundefined{@UGC}{\def\@UGC{\Zw{4}}}{}%
2017 \ifundefined{@ZMN}{\def\@ZMN{}}{}%
2018 \ifundefined{@ZMFN}{\def\@ZMFN{}}{}%
2019 \ifundefined{@ZMY}{\def\@ZMY{\Zw{2}}}{}%
2020 \ifundefined{@ZMM}{\def\@ZMM{\Zw{2}}}{}%
2021 \ifundefined{@ZMC}{\def\@ZMC{\Zw{4}}}{}%
2022 \ifundefined{@KDN}{\def\@KDN{}}{}%
2023 \ifundefined{@KDFN}{\def\@KDFN{}}{}%
2024 \ifundefined{@KDY}{\def\@KDY{\Zw{2}}}{}%
2025 \ifundefined{@KDM}{\def\@KDM{\Zw{2}}}{}%
2026 \ifundefined{@KDC}{\def\@KDC{\Zw{4}}}{}%
2027 \ifundefined{@Introducer}{\def\@Introducer{}}{}%
2028 \vspace*{-5mm}%
2029 \begin{center}%
2030   {\LARGE\@nameuse{社团}入会申込書}%
2031 \end{center}%
2032 {\Large\@nameuse{社团}に入会を申し込みます.\\[5mm]%
2033 氏名 \underline{\hspace{70mm}}\hspace*{1em}\@nameuse{印}}}%
2034 {\hfill\FilingDate\Ex 提出}}%
2035 \begin{center}%
2036   \vspace*{-5mm}\Large%
2037   \begin{tabular}{|l|p{50mm}|p{50mm}|}\hline%
2038     会員種別 &\multicolumn{2}{c}{}%
2039     \ifSeiK\Maru{1}\else 1\fi. 正会員 \hspace{1cm}%
2040     \ifGaku\Maru{2}\else 2\fi. 学生会員 \hspace{1cm}%
2041     {\small (どちらかに をつけてください)}\\ \hline%
2042     氏名&\hfil 姓 (Family name)&\hfil 名 (First name)\\ \hline%
2043     漢字&\@SEI&\@MEI\\ \hline%
2044     ローマ字&\@ESEI&\@EMEI\\ \hline%
2045     通信区分 &\multicolumn{2}{c}{}%
2046     \ifKHOME\Maru{1}\else 1\fi. 自宅 \hspace{10mm}%
2047     \ifKORG\Maru{2}\else 2\fi. 勤務先 \hspace{1cm}%
2048     {(どちらかに をつけてください)}\\ \hline%
2049     電子メール&\multicolumn{2}{l|}{\@EMAIL}\\ \hline\hline%
2050     \multicolumn{3}{|c|}{自宅欄}\\ \hline%
2051     自宅住所 &\multicolumn{2}{l|}{}%
2052     \parbox{100mm}{〒 \hspace{1ex}\@ZIP\\ \@CITY \@TWN \@SAI}\\ \hline%
2053     電話番号&\multicolumn{2}{l|}{\@HTEL}\\ \hline\hline%
2054     \multicolumn{3}{|c|}{勤務先または在学校欄}\\ \hline%
2055     所属名称&\multicolumn{2}{l|}{\parbox{100mm}{%
2056       \@ORG \@SHO\mbox{}}}%
2057     \hfill{\small 所属学部・学科・研究科・研究室名まで%
2058     記入してください}}\\ \hline%
2059     所在地住所&\multicolumn{2}{l|}{\parbox{100mm}{%
2060       〒 \Zw{1}\@EZIP\\ \@ECITY \@ETWN \@ESAI}\\ \hline%
2061     電話番号&%
2062     \multicolumn{2}{l|}{\@ETEL}\\ \hline%
2063     役職名&%
2064     \multicolumn{2}{l|}{\@YAKU}\\ \hline\hline%
2065     \multicolumn{3}{|c|}%

```

```

2066      {学歴欄 \Zw{3}学部学科まで (在学・卒業予定を含む)}\\hline%
2067      学校名学科名&%
2068      \multicolumn{2}{1}{\parbox{100mm}{%
2069      \@UGN \@UGFN\hfill \@UGY 年 \@UGM 月 \@UGC}}\\hline%
2070      博士課程前期&\multicolumn{2}{1}{\parbox{100mm}{%
2071      \@ZMN \@ZMFN\hfill \@ZMY 年 \@ZMM 月 \@ZMC}}\\hline%
2072      博士課程後期&\multicolumn{2}{1}{\parbox{100mm}{%
2073      \@KDN \@KDFN\hfill \@KDY 年 \@KDM 月 \@KDC}}\\hline%
2074      博士号 &\multicolumn{2}{1}{%
2075      \ifDSC\Maru{1}\else{1}\fi. 理学 \hspace{7mm}%
2076      \ifEng\Maru{2}\else{2}\fi. 工学 \hspace{7mm}%
2077      \ifPhD\Maru{3}\else{3}\fi. Ph.D. \hspace{7mm}%
2078      \ifDCT\Maru{4}\else{4}\fi.%
2079      その他 (\ifDCT@DCT\else{\hfill}\fi)}\\hline\hline%
2080      紹介者氏名&%
2081      \multicolumn{2}{1}{\@Introducer}\\hline%
2082      \end{tabular}%
2083      \end{center}%
2084      \normalsize}%

```

18.4.14 退会届

\ 退会届 退会を申し出るための書面の雛形である

```

2085 \namedef{退会届}{%
2086   \Large%
2087   \begin{center}\Huge\@nameuse{社団}{退会届 \end{center}\mbox{}}\\%
2088   \begin{tabular}{l}%
2089     \@nameuse{社団}\\%
2090     会長 \@President 殿%
2091   \end{tabular}\hfill\\[20mm]%
2092   私儀 \@Date{}をもって \@nameuse{社団}{}を退会致したく%
2093   この書面をもってお届け致します. \\[10mm]%
2094   なおこの書面に関する連絡先は \\%
2095   \@ifundefined{@ADDRESSC}{住所 : \\@ADDRESSC}\\%
2096   \@ifundefined{@TEL}{連絡先電話番号 : \@TEL}\\%
2097   \@ifundefined{@EMAIL}{連絡先メールアドレス : \@EMAIL}\\%
2098   を利用します. \\[20mm]%
2099   \begin{flushright}%
2100     \begin{tabular}{l}%
2101       \FilingDate\\[10mm]%
2102       会員番号 \MemberNO\\[10mm]%
2103       氏名 \makebox[80mm]{\@SEI \@MEI}\Zw{1}\@nameuse{印}%
2104     \end{tabular}%
2105   \end{flushright}%
2106   \normalsize}%
2107 \makeatother
2108 </jssacformat>

```

Contents

1	はじめに	1
1.1	必要なスタイルファイル	1
1.2	ヘッダ	1
1.3	パッケージの読み込み	2
1.4	オプション引数	2
1.5	オプション宣言の終了	2
2	汎用マクロ	2
2.1	@namedef の拡張マクロ	3
2.2	リストの作成	3
2.3	四則演算等	4
2.3.1	和を求めるマクロ	4
2.3.2	差を求めるマクロ	4
2.3.3	積を求めるマクロ	4
2.3.4	商を求めるマクロ	4
2.3.5	商と余りを求めるマクロ	5
2.3.6	積算するマクロ	5
2.3.7	3 項和	5
2.3.8	過半数等の計算	5
2.4	に印を合字	6
2.5	カリグラ体と金銀の色の設定	6
3	jssacformat の初期化	6
3.1	jssac.sty で定義されているマクロの初期化	6
3.2	if の定義・初期化	6
3.2.1	議事録・議案書に関連する if 文	6
3.2.2	議事録・議案書以外の if 文	7
3.3	カウンタレジスタの定義・初期値化	7
3.3.1	jssacformat.sty における初期値	8
3.3.2	依頼状等の書面番号	10
3.4	L ^A T _E X 形式のカウンタ	10
3.5	リストの初期化	10
3.6	文字の巾・高さなど長さを定めるマクロ	11
3.6.1	日本語の巾の空白出力	11
3.6.2	文字 x の高さの空白出力	11

3.7	組版に関わるマクロ	11
3.7.1	強く水平に空白を出力	11
3.7.2	伸びる空白を出力	12
3.7.3	\ifPDS による改行	12
3.7.4	トンボにファイル名を出力	12
3.7.5	\subsection の空白の再設定	12
3.7.6	レターヘッドの横巾の設定	12
3.7.7	レターヘッド \HheadS	12
4	会議の諸元	13
4.1	会議の種類	13
4.1.1	全議員のリスト	13
4.2	議員リスト	14
4.2.1	総会議員リスト	14
4.2.2	代表会員リストの構成	14
4.2.3	理事会リスト	16
4.2.4	監事リスト	16
4.2.5	常任委員会委員リスト	17
4.2.6	一般委員会委員リスト	18
4.2.7	その他の出席者	18
4.3	会議の定数	18
4.4	年月日の設定	18
4.4.1	提出日	20
4.4.2	制定日の設定	20
4.4.3	改訂日の設定	20
4.4.4	提案日の設定	20
4.4.5	公示日の設定	20
4.4.6	議決日の設定	21
4.4.7	書面発行日設定	21
4.4.8	召集日	21
4.5	提案者の設定	21
4.6	学会特有のマクロ	21
4.6.1	会員番号	21
4.6.2	連絡先住所	22
4.6.3	連絡先電話	22
4.6.4	メールアドレス	22
4.7	学会における役職名の設定	22

4.7.1	会長氏名の設定	22
4.7.2	書面発給者設定	23
4.7.3	召集者の設定	23
4.8	期・年度の設定	23
4.8.1	\ 期の設定	23
4.9	\ 年度の設定	23
4.10	押印の設定	23
4.10.1	ダブルスペース押印	23
4.10.2	シングルスペース押印	23
4.11	seccntformat の変更	24
4.12	\section のオプション引数	24
4.13	\subsection のオプション引数	24
4.14	\section が idx を作成する	24
4.15	\subsection が idx を作成する	24
5	規則の記述	24
5.1	規則記述用共通関数	25
5.1.1	規則の条項の頭部分の表記	25
5.2	規程集のページ表記	25
5.3	定款のためのマクロ	26
5.3.1	定款のトップレベルの見出しの有無	26
5.3.2	トップレベルの項目の見出しの有無	26
5.3.3	トップレベルの見出しの読みが設定されている場合	26
5.3.4	トップレベルの見出しの読みが設定されていない場合	26
5.3.5	定款の 2nd レベルの項目設定	26
5.3.6	2nd レベルの項目の見出しの読みの有無	27
5.3.7	2nd レベルの項目の見出しの読みが設定されている	27
5.3.8	2nd レベルの見出しの項目の読みが設定されていない	27
5.3.9	定款の 3rd レベルの見出しの整形	27
5.4	一般的な規程の場合	27
6	議事録・議案書作成	27
6.1	議案書	28
6.2	議事録	28
7	議決形式の設定	28

8 対象会議	29
8.1 会議識別子の設定マクロ	29
8.2 会議通番の設定	29
8.3 議事録番号の設定	30
8.4 会議対象の宣言	30
8.4.1 総会	30
8.4.2 理事会	30
8.4.3 常任委員会	30
8.4.4 一般委員会	30
9 開催時期による区別	31
9.1 定時会議・臨時会議	31
10 議決の種類	31
10.1 普通議決	32
10.2 特別議決	32
10.3 加重議決	33
10.4 みなし議決	33
10.5 決議省略	34
10.6 代表議決	34
10.7 名誉議決	34
10.8 常任委員会議決	34
11 定足数などの計算マクロ	34
12 書記の設定	35
13 開催年度の設定	36
14 開催日の設定	36
15 開始時刻の設定	36
16 終了時刻	36
16.1 終了時刻の設定	36
16.2 開催地等	36
16.3 開催地細分の設定	36
16.4 \@PrefB で利用されるマクロ	37
16.4.1 \@TI	37

16.5 \TIL	37
16.5.1 日時の設定	37
16.5.2 役員等の全リストとその人数	39
16.6 会議の前書き, 結語を記述する	42
16.6.1 総会用	43
16.6.2 常任委員会用	47
16.6.3 一般委員会用	49
16.6.4 議事録の定形文の上書きマクロ	50
16.6.5 会議名称	50
16.6.6 議案・議事録のタイトル	51
16.7 議事録の大枠を決める	51
16.7.1 タイトルの設定	51
16.7.2 議事録の前書き	52
16.8 議案本体	52
16.8.1 議案等のトップレベル \act	53
16.8.2 オプションによる振り分け	53
16.8.3 提案者の無い議案	53
16.8.4 提案者のある議案	53
16.8.5 議題の項目 \subact の設定	53
16.8.6 提案者の有無により振り分ける	54
16.8.7 項目に提案者の無い議案	54
16.8.8 項目に提案者のある議案	54
16.8.9 議案の最下位レベルの項目である \subsubact の設定	54
16.8.10 オプションにより切り替える	54
16.8.11 提案者の無い議案	54
16.8.12 提案者のある議案	55
16.9 議論の内容の記述環境	55
16.10 議事録の全役員記名リスト印刷	60
16.11 議事録の理事・監事リスト印刷	61
16.12 理事会議事録記名リスト印刷	62
16.13 議事録の理事記名リスト印刷	62
16.14 議事録の記名リスト印刷	63
16.14.1 議事録の末尾項目	64
17 書面作成共通事項	66
17.1 奨励賞受賞通知	66
17.2 会計監査報告書	67

17.3 立候補者推薦	68
17.4 推薦人免除書	68
17.5 委任状	69
17.6 書面評決	69
18 就任依頼状	70
18.1 就任依頼状関連マクロ	70
18.1.1 就任依頼状マクロ	70
18.1.2 委員等委嘱承諾依頼書対象職位と氏名	71
18.1.3 選任された役職名	71
18.1.4 被選任者	71
18.1.5 任期中の会議回数	71
18.1.6 1 回の会議時間	71
18.1.7 被選任者の職位	71
18.1.8 被選任者の氏名	71
18.1.9 上長職名	72
18.1.10 上長氏名	72
18.1.11 就任依頼状本体	72
18.2 就任承諾書	73
18.3 就任同意書	73
18.4 著作権譲渡契約書	74
18.4.1 入会申込書	75
18.4.2 分岐の if の定義	75
18.4.3 会員種別	75
18.4.4 連絡先	75
18.4.5 自宅住所設定	76
18.4.6 所属先住所	76
18.4.7 所属先名称の設定	76
18.4.8 電話番号の登録	76
18.4.9 役職名の設定	76
18.4.10 卒業データ	77
18.4.11 学位	77
18.4.12 紹介者	78
18.4.13 入会申込書の本体部分	78
18.4.14 退会届	80

Index

Numbers written in *italic* refer to the page where the corresponding entry is described; numbers underlined refer to the code line of the definition; numbers in roman refer to the code lines where the entry is used.

Symbols	1558, 1612, 1628	801, 875, 1554,
\@ADDRESSC	\@ConvenorName	1581, 1604, 1621
. 22, 356, 357, 2095 353, 373, 374	\@Fee 1846, 1883
\@Bill 21, 352,	\@ConvenorShoku 353, 374	\@FilingDate . . . 20, 325
731, 752, 867, 1017	\@CopyrightYear . . . 191	\@FreezeM . . 1355, 1368
\@CALL 1844, 1870	\@CountDirector 711, 851	\@FullN 71, 1841, 1850,
\@CDay 347	\@DCT 78, 1990, 2079	1871, 1879, 1892
\@CITY	\@Date 18, 323,	\@HTEL
76, 1973, 2000, 2052	346, 1676, 1715,	76, 1978, 2003, 2053
\@CMonth 347	1740, 1761,	\@IDX 30, 446, 447
\@CYear 347	1792, 1832,	\@Introducer
\@Chair 35, 276,	1855, 1918, 2092	. . 1991, 2027, 2081
286, 501, 643–	\@Day 36, 344, 511	\@Issue 23,
645, 650, 813,	\@ECITY	371, 372, 1865, 1890
820, 821, 828,	76, 1975, 2007, 2060	\@Jyushou . . 1640, 1660
829, 842, 914,	\@EFullN 1851	\@KDC 77, 1986, 2026, 2073
921, 922, 929,	\@EMAI 1997	\@KDFN
979, 982, 1009,	\@EMAIL 22, 360, 361,	77, 1986, 2023, 2073
1016, 1033,	1998, 2049, 2097	\@KDM 77, 1986, 2025, 2073
1171, 1405,	\@EMEI 1851, 2044	\@KDN 77, 1986, 2022, 2073
1409, 1438,	\@ESAI	\@KDY 77, 1986, 2024, 2073
1442, 1472,	76, 1975, 2009, 2060	\@KI 23,
1503, 1529,	\@ESEI . 1851, 1996, 2044	375, 376, 445, 1838
1533, 1567,	\@ETEL	\@KYear 36, 509,
1609, 1625,	76, 1979, 2010, 2062	1685, 1769, 1806
1698, 1781, 1819	\@ETWN	\@Kokuji . . 20, 340, 341
\@Clerk 1424,	76, 1975, 2008, 2060	\@Location
1458, 1489, 1513	\@EZIP 36, 518, 548–550
\@ClerkName . 35, 508,	76, 1975, 2006, 2060	\@Lot 36, 519, 550
657, 659, 734,	\@Etime . . . 36, 517, 543	\@Lw 763
739, 744, 840,	\@FDay 337, 343,	\@MEI 71, 1834, 1850,
876, 986, 1020,	547, 738, 742,	1995, 2043, 2103
1428, 1462,	801, 875, 1554,	\@MeetingBody 705, 1080
1493, 1517,	1581, 1604, 1621	\@MeetingDate 36, 345,
1559, 1613, 1629	\@FM 1840, 1880	512, 514, 542–
\@ClerkPost	\@FMonth 343,	544, 686, 694,
. . 35, 504, 506,	547, 738, 742,	698, 702, 1565,
656, 659, 734,	801, 875, 1554,	1571, 1594,
739, 744, 840,	1581, 1604, 1621	1651, 1686,
876, 986, 1020,	\@FYear 343,	1770, 1785,
1427, 1461,	547, 738, 742,	1807, 1823, 1914
1492, 1516,		

\@MeetingName . 675, 1079, 1644, 1910	\@NoCP 18, 315, 635–637, 1041, 1042, 1324, 1531	\@NoRSu . . . 130, 318, 551, 552, 555, 601, 745, 746, 834, 1201, 1206, 1210, 1296, 1297
\@MeetingTitle . 50, 678, 683, 686, 692, 694, 698, 701, 702, 754, 814, 816, 824, 843, 847, 885, 915, 917, 930, 1010, 1021, 1045, 1089, 1090, 1092, 1097, 1099, 1565, 1571, 1594, 1651, 1685, 1686, 1697, 1709, 1769, 1770, 1780, 1785, 1806, 1807, 1818, 1823, 1915	\@NoCQ 942 \@NoCSu . . . 150, 322, 606, 607, 947, 1040 \@NoDG 140, 264, 575–577, 853 \@NoDM 940, 1002, 1268, 1269 \@NoDN 141, 579–581, 854 \@NoDP 17, 139, 271, 571–573, 623–625, 853, 854, 927, 949, 1313, 1440, 1505 \@NoDQ 138, 609, 926 \@NoDSu . . . 137, 319, 602, 604, 611, 877, 926, 945, 1366, 1367, 1407 \@NoJD 938 \@NoJG 148, 939, 949–951, 990, 991 \@NoJM 943, 1000 \@NoJP 17, 147, 310, 631, 633, 634, 937, 951, 989, 991, 1259, 1263, 1267 \@NoJQ 149, 613, 614 \@NoJSu 146, 321, 611, 945–947, 989, 1036 \@NoM 1847, 1881 \@NoOrd 151, 317, 666, 667 \@NoP 1035 \@NoPaper . . 1838, 1855 \@NoQ . . 1037, 1038, 1040 \@NoRD 135, 235, 563, 565, 566 \@NoRG 133, 212, 553, 556, 557, 618, 620, 621 \@NoRN 134, 224, 559–561 \@NoRP 132, 258, 554, 616, 622, 835, 1197, 1223, 1227, 1232, 1236, 1303 \@NoRQ 131, 608, 834	\@NoRy 136, 246, 567–569 \@ODay 338, 342, 546, 732 \@OMonth 338, 342, 546, 732 \@ORG 76, 1977, 2004, 2056 \@OYear 338, 342, 546, 732 \@Office . . . 1843, 1878 \@OverMeetingTitle 121, 437, 678, 1051, 1090 \@OverMeetingTypeHead 444, 679, 1053, 1104 \@OverPref 1112 \@PDate 335, 336 \@PMonth 335, 336 \@PYear 335, 336 \@Post . . . 72, 1852, 1860 \@PostName 22, 35, 277, 285, 362, 363, 500, 813, 820, 821, 828, 829, 842, 914, 921, 922, 929, 1009, 1016, 1033, 1405, 1438, 1472, 1503, 1529, 1608, 1624, 1865, 1890 \@PrefA . . . 722, 860, 884, 954, 1015, 1108 \@PrefB 759, 786, 870, 888, 959, 1023, 1109 \@PrefC . . . 796, 882, 909, 975, 1031, 1110 \@President 22, 276, 370, 496, 726, 862, 1678, 1731, 1742, 1755, 1763, 2090 \@ProposeDate 336, 545, 731, 751, 799, 866, 873, 954, 1017 \@Proposer 21, 351, 731, 743,
\@MeetingType 29, 122, 449, 453, 457, 462, 681, 690, 697, 700, 706, 710, 714, 717, 1182, 1185, 1188, 1191, 1250, 1293, 1546, 1578, 1599, 1616		
\@MeetingTypeHead . . 450, 454, 459, 463, 679, 974, 1106		
\@Meetingtype 1294, 1312, 1321		
\@Month 36, 344, 511, 692		
\@NameOrg . . 1839, 1860		
\@Nendo 23, 377, 378, 1707		
\@NoAG 144, 587–589, 855		
\@NoAN 145, 591–593, 856		
\@NoAP 17, 143, 297, 583– 585, 627–629, 855, 856, 950, 1416, 1450, 1474		
\@NoASu 142, 320, 603, 605, 611, 878, 946		
\@NoCM 193, 615, 941, 942		

751, 799, 866,	295, 296, 307, 308	1366, 1378,
874, 954, 1017, 1486	\@TO 1840, 1880	1380, 1387, 1389
\@ProposerDate 21	\@TWN 76, 1973, 2001, 2052	\@ayeB 483, 490, 1251,
\@Quorum 126,	\@Taikai . . . 1639, 1653	1256, 1268, 1273
613, 1038, 1042,	\@TopE . . . 74, 1927, 1928	\@evenfoot 12, 25
1197–1200,	\@TopEm 1927, 1940	\@evenrhead 12
1202, 1206–	\@TopMem . 74, 1928, 1932	\@for . . 39, 214, 225,
1209, 1211,	\@TopName . . 1927, 1939	236, 247, 281,
1223–1226,	\@Ttime . . 71, 1848, 1882	528, 1408, 1417,
1228, 1232–	\@UGC 77, 1982, 2016, 2069	1441, 1451,
1235, 1237,	\@UGFN	1475, 1506,
1305, 1315,	77, 1982, 2013, 2069	1532, 1704,
1326, 1335,	\@UGM 77, 1982, 2015, 2069	1717, 1954, 1955
1337, 1344,	\@UGN 77, 1982, 2012, 2069	\@ifnextchar 383, 384,
1346, 1378,	\@UGY 77, 1982, 2014, 2069	387, 407, 420,
1380, 1387, 1389	\@Voting 125	1113, 1133, 1145
\@REsolution 1292	\@YAKU	\@namecp . 3, 29, 204,
\@RNo 29, 445, 1104, 1106	76, 1980, 2011, 2064	205, 330, 334, 513
\@Rank . 21, 350, 731,	\@Yaku 71, 1842, 1872,	\@namedef . 98, 194–
743, 751, 799,	1877, 1892, 1915	198, 200–203,
866, 874, 1017, 1485	\@Year . 36, 344, 511, 683	261, 268, 294,
\@Representative . .	\@ZIP 76, 1973, 1999, 2052	306, 316–322,
. 206, 707	\@ZMC 77, 1984, 2021, 2071	324, 326, 331,
\@ReqPostName	\@ZMFN	335, 339, 342,
71, 1841, 1849,	77, 1984, 2018, 2071	343, 346–348,
1870, 1879, 1892	\@ZMM 77, 1984, 2020, 2071	353, 354, 356,
\@Resolution 123, 458,	\@ZMN 77, 1984, 2017, 2071	358, 362, 364–
468–470, 472–	\@ZMY 77, 1984, 2019, 2071	371, 375, 377,
478, 1181, 1189,	\@absention	379, 380, 431,
1195, 1204,	. 128, 481, 488,	436, 442–444,
1213, 1217,	1252, 1255, 1286	448, 452, 456,
1221, 1230,	\@absentionB	461, 465–467,
1291, 1334,	484, 491, 1252, 1256	472–479, 486,
1343, 1352,	\@act 53, 1113, 1123	494–497, 502,
1365, 1377,	\@actn . . . 53, 1113, 1114	509, 510, 516–
1386, 1395, 1562	\@against	519, 1049, 1112,
\@Rules 406	. 129, 482, 489,	1639, 1640,
\@SAI 76, 1973, 2002, 2052	1253, 1255, 1287	1838–1842,
\@SEI 71, 1834, 1850,	\@againstB	1846–1851,
1994, 2043, 2103	485, 492, 1253, 1257	1854, 1886,
\@SHO 76, 1977, 2005, 2056	\@aye 127, 480,	1900, 1901,
\@Se 1955	487, 1251, 1255,	1903–1908,
\@Seat . . 124, 1353, 1354	1259, 1263,	1968–1972,
\@SelfCall 71, 1845, 1892	1285, 1296,	1974, 1976,
\@Stime 36,	1297, 1303,	1978–1981,
516, 541, 543,	1305, 1313,	1983, 1985,
844, 930, 1011, 1045	1315, 1324,	1987, 1988,
\@TEL . 22, 358, 359, 2096	1326, 1335,	1990–1992, 2085
\@TMP 262,	1337, 1344,	\@nameedef 3, 28
263, 269, 270,	1346, 1353,	\@namegdef 3, 26

<code>\@namelet</code>	3, 33, 304, 305	1741,	1742,	<code>\addcontentsline</code>	..
<code>\@namenewcount</code>	3, 31, 153	1751,	1755,	411, 412,
<code>\@namenewif</code> 3,	1762,	1763,		417, 418, 1118, 1128
	32, 1902, 1960–1967	1779,	1785,	<code>\ADDRESSA</code> 1866
<code>\@nameuse</code>	... 46, 47,	1793,	1794,	<code>\ADDRESSAE</code> 185
	51–53, 56–58,	1817,	1833,	<code>\ADDRESSB</code> 1866
	61–63, 66, 67,	1834,	1864,	<code>\AllAList</code> 13, 597
	69, 72, 73, 75,	1871,	1889,	<code>\AllCList</code>	. 13, 599, 600
	77, 82, 83, 85,	1892,	1897,	<code>\AllDList</code>
	88–91, 94–96,	1906,	1907,		. 13, 596, 598, 1408
	153, 277, 285,	1915,	1922,	<code>\AllJList</code> 13
	368, 401, 552,	1925,	1934,	<code>\AllMain</code> 25, 406
	554, 556, 558,	2030,	2032,	<code>\AllOfficerKimei</code>	..
	560, 562, 564,	2033,	2087,		... 60, 1399, 1565
	566, 570, 726,	2089, 2092, 2103		<code>\AllRList</code> 13, 595
	728, 813, 816,	<code>\@namexdef</code> 3, 27	<code>\art</code> 6, 104
	824, 842, 847,	<code>\@oddfoot</code> 12	<code>\Article</code> 25, 387
	862, 864, 885,	<code>\@oddhead</code> 25	<code>\Audit</code> 67
	914, 917, 929,	<code>\@oddrhead</code> 12	<code>\author</code> 6, 106
	954, 1009, 1016,	<code>\@senior</code>	. 72, 1853, 1860	<code>\Award</code> 66, 1641
	1066, 1068,	<code>\@subact</code>	. 54, 1133, 1139		
	1069, 1095,	<code>\@subactn</code>	54, 1133, 1134		
	1121, 1131,	<code>\@subsubact</code>		
	1402, 1406,		... 55, 1145, 1151		
	1411, 1412,	<code>\@subsubactn</code>		
	1420, 1421,		... 54, 1145, 1146		
	1429, 1435,	<code>\@tempcnta</code>	36, 40, 46,		
	1439, 1445,		51–53, 56–58,		
	1446, 1454,		61–63, 66, 68,		
	1455, 1463,		69, 72, 74–76,		
	1469, 1473,		82, 84, 85, 88–91		
	1478, 1479,	<code>\@tempcntb</code>	.. 67, 68,		
	1487, 1494,		73, 74, 76–79,		
	1500, 1504,		83, 84, 211, 221,		
	1509, 1510,		232, 243, 254, 258		
	1518, 1524,	<code>\@tempcnta</code> 78		
	1530, 1536,	<code>\@tmp</code> 503, 504		
	1537, 1555,	<code>\@tmplist</code>		
	1560, 1605,		. 210, 216, 218,		
	1610, 1614,		227, 229, 238,		
	1622, 1626,		240, 249, 251, 257		
	1630, 1642,	<code>\@year</code> 20, 403, 692		
	1643, 1648,				
	1651, 1655,				
	1656, 1677,				
	1678, 1686,				
	1696, 1702,				
	1708, 1709,				
	1716, 1718,				
	1727, 1731,				

Decide (environment) <u>1157</u>	1860, 1870–	I
\DecideEnd . 1157, 1165	1872, 1879,	\I 1955
\DecideStart 1157, 1158	1892, 1925, 2034	\IDX 30, 447
\DeclareOption .. 23, 24		\idxsec ... 24, 383, 385
\definecolor .. 100, 101	F	\idxsubsec 24, 384, 386
\Delegated ... 569, 776	\ffname 405	\ifACT .. 6, 108, 760,
\DescribeMacro 671	\FileName 175	797, 886, 1088,
\devide 68	\FilingDate	1096, 1169,
\DirectorMeeting 20, 324, 325,	1231, 1547, 1579
..... 712, 858	1993, 2034, 2101	\ifcase 1291, 1293
\DIV 4, 65	\flushright . 1104, 1106	\ifChair 6, 112,
\divide 74, 95, 1200,	\Freezefalse	283, 812, 913, 978
1209, 1226, 1235	.. 111, 1122, 1132	\ifDateShow ... 73, 1913
\DIVR 5, 71	\Freezetrue 494	\ifDCT ... 75, 2078, 2079
\do ... 39, 214, 225,	G	\ifdim 532
236, 247, 281,	\Gakufalse 1963	\ifDSC 75, 2075
528, 1408, 1417,	\Gakutrue 1969	\ifEng 75, 2076
1441, 1451,	\GeneralMeeting 708, 721	\ifFreeze ... 6, 111,
1475, 1506,	\Gicho 645, 650,	1279, 1355, 1368
1532, 1704,	781, 906, 969, 1029	\ifGaku 75, 2040
1717, 1954, 1955	\Gijiroku 655,	\ifKHOME 75, 2046
\DSCfalse 1964	782, 792, 907, 970	\ifKORG 75, 2047
\DSCtrue 1987	\Gijo 557, 770	\ifLetter 6,
\Dskip ... 174, 1556,	\GijoAG ... 589, 901, 903	28, 109, 207,
1603, 1606,	\GijoAJ 629, 966	723, 730, 761,
1611, 1620, 1627	\GijoAN 593, 905	785, 798, 859,
E	\GijoAP ... 585, 780, 899	910, 1074, 1160,
\Email 22, 360	\GijoC 637, 1028	1166, 1246,
\endcsname 26–28, 30–	\GijoCSu 635, 1027	1295, 1548, 1580
32, 34, 48, 1843–	\GijoDG 577, 895	\ifLIST 7, 119
1845, 1852, 1853	\GijoDJ 625, 968	\ifNoTitle 102, 1081,
\Engfalse 1965	\GijoDN 581, 897	1687, 1771, 1808
\Engtrue 1988	\GijoDP 573, 778	\ifnum 212,
environments:	\GijoJ 631, 964	224, 235, 246,
Decide <u>1157</u>	\GijoR 616, 618	430, 468–470,
\equal 1409, 1442	\GijoRSu 620	551, 553, 555,
\Ex 11, 171, 191, 329,	\Giketubi 547, 972	557, 559, 561,
333, 403, 743,	H	563, 565, 567,
744, 799, 813,		569, 571, 573,
816, 820, 821,	\H 12, 173	575, 577, 579,
824, 828, 829,	\HEAD 12,	581, 583, 585,
842, 874, 876,	180, 182, 189, 190	587, 589, 591,
914, 917, 921,	\headclear 25, 405	593, 616, 618,
922, 929, 1009,	\headleng	620, 623, 625,
1016, 1567,	.. 12, 178, 179, 184	627, 629, 631,
1650, 1678,	\headS 12, 181	633, 635, 637,
1697, 1698,	\headsep 186	666, 681, 690,
1780, 1781,	\H1 11, 172	697, 700, 706,
1818, 1819,		710, 714, 717,
		991, 1042, 1181,

1182,	1185,	J	\ListRy 10, 160, 247, 570
1188,	1191,	\jobname 175, 406	\LISTtrue 119
1195,	1204,	\JSSAC 403	\LowNo 684, 687, 754
1213,	1217,	\Jssac 402	
1221,	1230,	\Jyousuu 10	M
1250,	1259,		\Majority 5, 93, 199,
1263,	1268,	K	209, 612, 832,
1285–1287,		\KaisaiBi 37, 544, 1024	852, 944, 948,
1296,	1303,	\KaisaiNichiji . 37,	952, 953, 1038,
1305,	1313,	541, 764, 788, 889	1183, 1186, 1192
1315,	1324,	\KHOMEfalse 1960	\Maru 2039, 2040, 2046,
1326,	1335,	\KHOMEtrue 1970	2047, 2075–2078
1337,	1344,	\KimeiVI . . . 1466, 1594	\medskip . 423, 427, 1877
1346,	1353,	\KORGfalse 1961	\MeetingDate . . . 36, 514
1366,	1378,	\KORGtrue 1971	\MeetingRecode 51, 1072
1380,	1387,	\Kou 25, 387, 388	\MeetingTitle 50
1389,	1407,	\KoujiBi 37, 337, 546, 791	\Meetingtype 1323
1416,	1440,		\MemberKimei . . 63, 1521
1450,	1474,	L	\MemberNO
1505,	1531,	\l@section . . 12, 176	. 21, 354, 355, 2102
1546,	1562,	\leavevmode 177	\MUL 4, 60
1578, 1599, 1616		\Letterfalse	
\ifOld 6, 115		. 109, 433, 439, 443	N
\ifOver		\Lettertrue . . . 442, 474	\nameuse 79
116, 676, 1087, 1103		\linebreak 522, 538, 540	\NGijoAJ 627, 965
\ifPDS 7, 118,		\List . . . 3, 35, 194–	\NGijoDJ 623, 967
174, 1410, 1418,		198, 200–203,	\NGijoJ 633, 963
1425, 1443,		266, 273, 299,	\NKou 25, 387, 391
1452, 1459,		302, 303, 312, 316	\NoAllMember . . 551, 766
1476, 1483,		\ListAG . . . 10, 167, 590	\NoDelegated . . 567, 775
1490, 1507,		\ListAN 10, 594	\NoGijo 555, 769
1514, 1526, 1534		\ListAP . . 10, 16, 17,	\NoGijoAG . 587, 900, 902
\ifPeriod		165, 297, 586,	\NoGijoAN 591, 904
6, 110, 682, 691,		630, 1417, 1451,	\NoGijoAP . 583, 779, 898
1685, 1769, 1806		1475, 1704, 1717	\NoGijoDG 575, 894
\ifPhD 75, 2077		\ListCP 10,	\NoGijoDN 579, 896
\ifPre 7, 117, 1914, 1916		18, 169, 638, 1532	\NoGijoDP . 571, 777, 893
\ifPresident . 6, 114,		\ListDG 10,	\NoMember 553, 768
275, 725, 811, 861		16, 166, 264, 578	\Nominaation 68
\ifPropose		\ListDN 10, 582	\Nomination 1746
. 6, 113, 750, 1482		\ListDP 10, 17,	\NoOnline 559, 771
\ifSeiK 75, 2039		164, 271, 281,	\NoShiji 565, 773
\ifSty 22		574, 626, 1441, 1506	\Nsec 26, 407, 414
\ifSW 7, 41, 120,		\ListJP 10,	\nsection
215, 226, 237,		17, 168, 309, 632	. 24, 381, 383, 385
248, 282, 1278, 1705		\ListRD 10, 159, 236, 564	\nsubsection
\ifthenelse . 1409, 1442		\ListRG 10,	. 24, 382, 384, 386
\Inin 40		162, 214, 558, 619	
\IninSu 40		\ListRN 10, 163, 225, 562	O
\IppanSu 666		\ListRP 10, 161, 257, 617	\OfficerKimei . 62, 1497

\OfficerKimeiWithA .	S	1532, 1533,
... 61, 1432, 1571	\Sec 26, 407	1536, 1704,
\Oldfalse 115	\section 24	1706, 1717,
\OldtmpA 529, 533	\SeiKtrue .. 1962, 1968	1718, 1954, 1955
\Online 561, 772	\setMeetingTitle ..	\Tail 64, 1544
\OnlineA 303 1645, 1909	\TailA . 1172, 1175, 1180
\OnlineD 302	\SGicho 643	\TailB . 1167, 1173, 1244
\OnlineDirector ... 16	\Shiji 563, 774	\TArticle 27, 420
\Online 代表会員 ... 14	\Shou 10	\TBox 152, 531, 532
\or 1311, 1320, 1322,	\Shoushuu 373, 790	\TDate 20
1333, 1342,	\ShowTitle ... 50, 1056	\TeianBi .. 37, 545, 971
1351, 1364,	\ShowTitleN ... 50, 1064	\TeisokuC 40, 615, 1026
1376, 1385, 1394	\ShussekiRNo ... 40, 622	\TeisokuD . 40, 609, 892
\ORGE 183, 191	\Sijisho 40	\TeisokuJ 40, 610
\Overfalse 116	\SijishoS 40	\TeisokuR . 40, 608, 767
\OverMeetingTypeHead 29	\sim 543	\TeisuA 39, 603
\Overtrue 1054	\StandingMeeting ..	\TeisuAJ 605, 961
 715, 936	\TeisuC .. 39, 607, 1025
P	\Styfalse 24	\TeisuD ... 39, 602, 891
\PDSfalse 118, 380	\Stytrue 23	\TeisuDJ 604, 962
\PDStrue 379	\SUB 4, 55	\TeisuJ ... 39, 606, 960
\Periodfalse 466	\subact 1133	\TeisuR 39, 601
\Periodtrue	\SubArt 27, 428	\textcircled 98
. 110, 434, 440, 465	\SubArtNum 10	\TI 37, 520, 542–547,
\PhD 78, 1989	\subsection 24	549, 550, 615,
\PhDfalse 1966	\subsubact ... 54, 1145	636, 643–645,
\PhDtrue 1989	\SUM 4, 50	650, 657, 659, 667
\postchaptername 25, 394	\SUMUP 5, 81	\TIL ... 37, 338, 374,
\PostDecide 1179	\SWfalse 44,	523, 558, 562,
\prechaptername 25, 393	220, 231, 242,	564, 570, 574,
\Prefalse ... 117, 1901	253, 289, 1258, 1705	578, 582, 586,
\Presidentfalse ...	\SWtrue 38,	590, 594–600,
.... 370, 495, 499	120, 213, 280,	617, 619, 626,
\Presidenttrue 114, 369	525, 1261, 1265,	630, 632, 634, 638
\Pretrue 1900	1271, 1275, 1703	\TIN 539,
\ProcessOptions ... 25		552, 554, 556,
\Proposefalse 113	T	560, 566, 568,
\Proposetrue 349	\T .. 39, 41, 42, 214,	572, 576, 580,
\protect ... 1119, 1129	216, 218, 225,	584, 588, 592,
\ps@letterhead . 12, 188	227, 229, 236,	601–609, 614,
\ps@ruleshead .. 25, 400	238, 240, 247,	621, 622, 624, 628
	249, 251, 281,	\title 6
R	286, 528, 530,	\TKou 27, 420, 421
\RDate 20	534, 1408, 1409,	\TMP .. 327, 328, 332,
\Recommendation 68, 1722	1411, 1417,	333, 339, 340, 1112
\RequirePackage . 19–21	1420, 1441,	\tmp 701,
\RGicho 644	1442, 1445,	702, 1050–1053,
\RNo 29, 445	1451, 1454,	1066, 1067, 1069
\rules 25	1475, 1478,	\tmpA 526,
\RulesTitle 12, 175	1506, 1509,	529–531, 534, 537

\tmplist	37, 41, 42, 47, 48	\ 全常任委員	13	\ 普通議決	32
\TNKou	27, 420, 425	\ 全理事	13	\ 書記	35
\Transfer	74, 1929	\ 全監事	13	\ 書面会議	28
\Tsec	26, 407, 408	\ 公示	20	\ 書面番号	70
\TSum	5, 87, 611	\ 公示日	20	\ 書面評決代表会員	14
		\ 制定日	20	\ 期	23
V		\ 加重議決	33	\ 機関名称	70
\Vote	69, 70	\ 博士	78	\ 正会員	75
\vote	1800	\ 博士前期	77	\ 氏名	71
		\ 博士後期	77	\ 氏名読み	71
Y		\ 印	6	\ 決議省略	34
\year	328,	\ 召集者	23		
	329, 333, 340, 341	\ 名誉議決	34	\ 特別議決	32, 33
		\ 報酬	71	\ 理事会	30
Z		\ 大会名称	66	\ 理事定数	18
\ZenA	39, 597	\ 大学	77	\ 理事常任委員	17
\ZenC	39, 600	\ 委任状代表会員	14	\ 理事職	22
\ZenD	39, 596	\ 委員	18	\ 理学	77
\ZenDJ	39, 598	\ 委員定数	18	\ 番	10
\ZenJ	39, 599	\ 委託期間	70	\ 発給者	23
\ZenR	39, 595	\ 学会役	71	\ 発行日	21
\ZIP	1866	\ 学会職名	22	\ 監事	16
\Zw	11	\ 学生会員	75	\ 監事定数	18
		\ 定時会	31	\ 監事常任委員	17
\ みなし議決	33	\ 尊称	71	\ 監事職	22
		\ 就任同意書	73	\ 終了時刻	36
		\ 就任承諾書	73	\ 総会	30
		\ 工学	78		
\ 一般委員会	30	\ 常任委員	17	\ 職位	71
\ 上長名	72	\ 常任委員会	30	\ 職位氏名	71
\ 上長職	72	\ 常任委員会評決結果	35	\ 臨時会	31
\ 事前承諾	73	\ 常任委員定数	18	\ 自名	71
\ 事後承諾	73	\ 常任議決	34	\ 自宅	75
\ 代表会員定数	18	\ 年度	23	\ 自宅住所	76
\ 代表会員職	22	\ 役職名	76	\ 自宅電話	76
\ 代表議決	34			\ 評決結果	34
\ 会員番号	21	\ 所属先	75	\ 議事録	28
\ 会議名称	50	\ 所属先住所	76	\ 議場代表会員	14
\ 会議日表示	73	\ 所属先名称	76	\ 議場出席理事	16
\ 会議日非表示	73	\ 所属先電話	76	\ 議案書	28
\ 会議識別子	29	\ 所属名	71	\ 議決日	21
\ 会長名	22, 35	\ 押印	23	\ 議長	35
\ 会長職	22	\ 押印短縮	23		
\ 会長非存在	22	\ 授賞式	66		
		\ 提出日	20	\ 退会届	80
\ 入	78	\ 提案日	20	\ 通常会議	28
\ 入会申込書	78	\ 提案者	21	\ 連絡先住所	22
\ 全代表会員	13	\ 改訂日	20	\ 連絡先電話	22
\ 全委員	13	\ 時間数	71		

\ 開催地	36	\ 開催年度	36	\ 非会議日表示	73
\ 開催地細	36	\ 開催日	36		
\ 開催場所	36	\ 開始時刻	36		

Change History

v0.1		v10.0	
General: Copy from jssac.dtx to js-		General: Change Recode style by	
sacformat.dtx by T.Saito	1	T.Saito	1
v0.3		v10.1	
General: Rewrite new jssacfor-		General: correct Kimei by T.Saito	1
mat.sty by T.Saito	1		